

目次

郡山市立美術館年報 平成 26 年度

目次

I 沿革・郡山市立美術館の目的と性格	2
II 展覧会事業	3
1) 常設展	4
2) 企画展	21
III 教育普及事業	48
1) アート・テーク	48
2) 講演会	49
3) 美術講座	49
4) ギャラリートーク	49
5) ワークショップ	50
6) ミュージアム・シアター	52
7) ミュージアム・コンサート	53
8) 朗読会	53
9) 吉永小百合チャリティー朗読会	53
10) 学校との連携事業	54
11) 対外協力	55
12) 図書資料・視聴覚資料	55
13) 刊行物	56
14) 寄稿及び関連記事・報道	57
IV 作品収集・保存管理事業	59
1) 新規収蔵作品等	59
2) 収蔵作品貸出状況	68
3) 収蔵作品修復状況	69
4) その他の保存管理事業	69
V 利用者数	70
1) 展覧会	70
2) 教育普及事業	71
3) 過去 5 年間の利用者数推移状況	71
4) 教育普及事業別参加者数推移状況	72
VI 管理運営	73
1) 関連法規・組織	73
2) 名簿	77
3) 建築設備概要・平面図・面積表	78
4) 利用案内	82

I 沿革・郡山市立美術館の目的と性格

1981(昭和56)年9月	美術館建設懇談会設置
1982(昭和57)年2月	美術館基本構想懇話会設置
1983(昭和58)年3月	「郡山市美術館基本構想」答申
1985(昭和60)年12月	美術品取得基金条例公布・施行
1987(昭和62)年4月	美術館設立準備室設置
1987(昭和62)年6月	郡山市立美術館建設検討委員会設置
1988(昭和63)年1月	美術館建設場所決定
1989(平成元)年11月	美術館建設設計競技審査会開催
1990(平成2)年1月	収蔵美術品特別展示開催(於:郡山市民文化センター) (株)TAK建設・都市計画研究所の設計案当選(同社に設計を委託)
1990(平成2)年3月	美術館建設基本設計完了
1990(平成2)年10月	美術館建設実施設計完了
1990(平成2)年12月	美術館建設工事着工
1992(平成4)年6月	美術館建設本体工事完了
1992(平成4)年7月	郡山市立美術館条例施行 美術館建設準備室を解散して美術館としてスタート
1992(平成4)年11月	美術館建設外構工事完了 11月21日 美術館開館

郡山市立美術館は、「市民がすぐれた美術作品に接することにより美術文化に対する深い理解と親しみを持ち、より豊かな市民生活を享受できる場とするとともに、郷土ゆかりの美術作品、国際的視野と高い水準をもった美術作品及び美術資料を収集・保存・展示して市民文化の向上を図る」という構想のもとに建設が計画された。

作品の収集は、①イギリス近代美術、②日本近代美術、③郷土ゆかりの美術、④本(版)の美術という柱をもっておこなわれている。特にイギリス近代美術について、体系的に収集したコレクションはこれまでの国内の美術館においても例を見ないもので、内外の大きな評価を得ている。

今後についても、この特色あるコレクションのいっそうの充実を図りつつ、調査研究、展示、教育普及など多彩な活動をおこなっていく。

また郡山市街から安達太良山までを一望できる緑豊かな丘陵地の自然を背景とした恵まれた立地条件を十分に生かし、多くの方々にやすらぎを与える場とするために、整備していく。

Ⅱ 展覧会事業

常設展

平成26年度 第1期 平成26年4月23日～7月13日

展示室1 人物を描く 展示室2 日本油彩画の魅力 展示室3 スウィンギン・ロンドン
展示室4-①版画雑誌の世界 展示室4-②ドレッサーと日本の美術

平成26年度 第2期 平成26年7月16日～10月19日

展示室1～展示室3 私のお気に入り、ベスト展
展示室4-①戦争と美術 展示室4-②佐藤潤四郎 クリスタルの輝き

平成26年度 第3期 平成26年10月22日～平成27年2月1日

展示室1 英国風景画の巨匠ターナー 展示室2 近代日本の美術 展示室3 秋山泰計からくり世界
展示室4-①岸田劉生とその時代 展示室4-②くらしを彩るデザイン

平成26年度 第4期 平成27年2月4日～4月26日

展示室1 描かれた理想と幻想の世界 展示室2 みづゑの魅力 展示室3 郡山ゆかりの美術
展示室4-①英国キリスト教美術 展示室4-②仏足跡と祈りの造形

企画展

平成26年4月19日～6月15日

ロバール・ドアノー写真展

平成26年6月28日～8月24日

郡山市制施行90周年・合併50年記念事業
キュー王立植物園所蔵 イングリッシュ・ガーデン 英国に集う花々

平成26年9月6日～10月26日

絵本原画展 きかんしゃトーマスとなかまたち

平成26年11月1日～12月21日

大判じ絵展

平成27年1月24日～3月22日

舟越保武彫刻展 まなざしの向こうに

1) 常設展

平成26年度 第1期 平成26年4月23日～7月13日

展示室1 人物を描く

肖像画はイギリスでは風景画と並んで特に愛好されたジャンルで、実在する人物の姿かたちだけでなく威厳や愛らしさなど、その人の内面までも映し出すことがあります。一方の風景画にも、点景に人物が描き込まれたものがあります。構図上のアクセントとして加えられた場合のほか、画面に占める大きさは小さくても、絵の主題をあらわす重要な意味を持つ場合もありま

す。また19世紀末の美術運動であったラファエル前派では、宗教や伝説から主題をとった作品も多く、時には身近な人物をモデルに神や妖精などがあらわされることがありました。

今回の展示では、こうして絵に描かれた人物像を、肖像画、点景人物、物語などの主人公といったテーマごとに並べてご覧いただけます。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ウィリアム・ホガース	サミュエル・マーティンの肖像	1758～60頃	油彩・キャンバス
ウィリアム・ホガース	『当世風結婚』第1場～第3場	1745	エッチング・紙
サー・ジョシュア・レイノルズ	キティ・フィッシャーの肖像習作	1760～62頃	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
トマス・ゲインズボロ	オース夫人の肖像	1767	油彩・キャンバス
サー・トマス・ロレンス	ラビー・ウィリアムズ牧師	1790年代初頭	油彩・キャンバス
サー・ジョン・エヴァレット・ミレイ	自画像		エッチング・紙
サー・ジョン・エヴァレット・ミレイ	ジェームズ・クラーク・フックの肖像		エッチング・紙
リチャード・ウィルソン	キケロの別荘		油彩・キャンバス
トマス・ゲインズボロ	荷馬車のいる丘陵地帯の森の風景	1745～46頃	油彩・キャンバス
ジョセフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダーブリッジ	1810	油彩・キャンバス
ジョン・マーティン	フレッシュウォーター・ベイ	1815頃	油彩・キャンバス
ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス	フローラ		油彩・キャンバス
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1868～84	油彩・キャンバス
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	『フラワーブック』より	1905	珪酸塩・紙/ポトフオリオ

5「天国の薔薇」、13「彼は来るかしら」、14「もつれた愛」、19「炎の荒野」、23「目覚めて、愛しい人よ」、26「世界の驚き」、30「サトゥルヌスの強い嫌悪」、34「白い庭」、35「甘美な草地」、38「昼と夜」

展示室2 日本油彩画の魅力

西洋の伝統的絵画技法である油彩画は、日本において、幕末に横浜や北海道にやってきた西洋人が伝えたことに始まりました。日本人にとって、遠近や陰影をつけて描いていく油彩画を学ぶことは、西洋を知ることであり、そして西洋を通して日本を知ることもでもありました。

中にはヨーロッパへ留学し、彼の地で傑作を残した画家も少なくありません。しかし、今回はあえて日本

人が描いた日本に焦点を当ててみました。

そこに見えてくるのは、どこか脂っばいながらも、日本的な油彩画とはどんなものなのか、と自問する画家たちの姿です。特に大正時代以降、印象派を経たヨーロッパの絵画をほぼ同時期に知ることができるようになると、作品には、明るい色彩のほかに、それぞれの画家の独特の筆のタッチが見られるようになります。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
山本芳翠	園田銚像	1885(明治18)	油彩・キャンバス
高橋由一	風景(烏海山)	1880年代	油彩・キャンバス
浅井 忠	収穫	1893(明治26)頃	油彩・紙、板
広瀬孝次	田園景色	1890(明治23)	油彩・キャンバス
諫山麗吉	甲州猿橋		油彩・キャンバス

作者名	作品名	制作年	技法・材質
高橋勝蔵	桃と葡萄	1909(明治42)頃	油彩・キャンバス
野崎華年	富士	1907(明治40)	油彩・キャンバス
小林万吾	朽葉の袖	1907(明治40)	油彩・キャンバス
高村真夫	風景	1903(明治36)	油彩・キャンバス
木村莊八	祖母の顔	1916(大正5)	油彩・板
中沢弘光	灯(加茂川夕涼)	1914(大正3)	油彩・キャンバス
山下新太郎	苔寺	1922(大正11)頃	油彩・キャンバス
石川寅治	房総風景	1923~24(大正12~13)頃	油彩・キャンバス
林 武	女	1932(昭和7)頃	油彩・キャンバス
中村 彝	朝顔	1923(大正12)	油彩・キャンバス
小出楠重	自画像	1918(大正7)	油彩・キャンバス
古賀春江	蝸牛のいる田舎	1928(昭和3)	油彩・キャンバス
藤島武二	「耕到天」習作	1936(昭和11)	油彩・キャンバス

展示室3 スウィング・ロンドン

イギリスでは、1950年半ば、戦後の荒廃から落ち着きを取り戻し、豊かな時代を迎えつつありました。ライフスタイルの変化にいち早く反応したのは、若者たちでした。彼らは、新しい音楽、美術、ファッションに興味を持ち、斬新で個性的なものを求めました。「スウィング・ロンドン」という新しい言葉は、『タイム』誌の1966年4月15日号から生まれました。

イギリスからは、ビートルズ、ローリング・ストーン

ズなどのロック・バンドが世界へ羽ばたきました。また、美術界では、エデュアルド・パオロツィがポップ・アートの旗手として脚光を集めました。彼の作風には、テクノロジーの進歩、大量消費社会、人間の機械化などの世相が反映されています。

イギリスの青春ともいえる、この「スウィング・ロンドン」の歴史は、1973年のオイルショックとともに幕を下ろしました。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
リチャード・ハミルトン	フラワー・ピースB、シアン版	1976	リトグラフ・紙
リチャード・ハミルトン	フラワー・ピースB、クレヨン習作	1976	リトグラフ・紙
リチャード・ハミルトン	フラワー・ピースB	1976	リトグラフ・紙
バトリック・コールフィールド	『ジュール・ラフォルグの詩(A版)』	1973	シルクスクリーン・紙／本、ポートフォリオ(6点組)
ヴィクター・バスモア	ワインレッド	1964	レリーフペインティング・パネル
ウィリアム・スコット	静物Ⅱ	1957	水彩・コラージュ・紙
ウィリアム・スコット	ホワイトボールとブラックパン	1970	シルクスクリーン・紙
サー・エデュアルド・パオロツィ	『ムーンリップス・エンパイア・ニュース』Vol.1	1967	シルクスクリーン・紙(一部アセテート)／ポートフォリオ(100点組)
サー・エデュアルド・パオロツィ	『零エネルギー実験電池』Vol.1	1970	リトグラフ、シルクスクリーン・アクリル／ポートフォリオ(6点組)
ケネス・アーミティジ	二人の人物	1971	木炭、グワッシュ、コラージュ・紙 (株)カサハラ画廊寄贈
ケネス・アーミティジ	立っている人物	1971	フォトエッチング・紙 (株)カサハラ画廊寄贈
ケネス・アーミティジ	無題	1972	シルクスクリーン・紙 (株)カサハラ画廊寄贈
ケネス・アーミティジ	四つんばいの女	1973	エッチング・紙 (株)カサハラ画廊寄贈
ケネス・アーミティジ	走っているグループ(a)	1973	鉛筆、グワッシュ、コラージュ・紙 (株)カサハラ画廊寄贈
ケネス・アーミティジ	飛び跳ねている人物	1974	シルクスクリーン、フォトエッチング・紙 (株)カサハラ画廊寄贈

展示室4-① 版画雑誌の世界

日本近代版画の発展に大きく貢献したもののひとつに版画雑誌があります。それは小規模なサークル的な同人誌から、全国の書店や通信販売などで大々的に広まったものまで様々な形がありました。そしてそれは同士による発表、研さんの場であったり、版画の普及の役割を担っていたりしました。

なかでも料治朝鳴が創刊した『白と黒』や『版芸術』は、当時すでに版画家として名をなした存在だった恩地孝四郎や平塚運一、川上澄生、前川千帆らの作品が載っていたほか、谷中安規や棟方志功などが新進の版画家として活躍するきっかけとなりました。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
恩地孝四郎	「抒情」『版芸術』創刊号より	1932(昭和7)	木版・紙
料治朝鳴	「影」『版芸術』第二号より	1932(昭和7)	木版・紙
川上澄生	「かまきり」『版芸術』第三号より	1932(昭和7)	木版・紙
深沢索一	「築地風景」『版芸術』第四号より	1932(昭和7)	木版・紙
関野準一郎	「旅役者の子」『版芸術』第六号より	1932(昭和7)	木版・紙
棟方志功	「竹と草花」『版芸術』第十二号より	1933(昭和8)	木版・紙
料治朝鳴	「あねさま」『版芸術』第十九号より	1933(昭和8)	木版・紙
前川千帆	「踊」『版芸術』第七号より	1932(昭和7)	木版・紙
	『版芸術』第五号	1932(昭和7)	木版・紙／本
	『版芸術』第八号	1932(昭和7)	木版・紙／本
	『版芸術』第九号	1932(昭和7)	木版・紙／本
	『版芸術』第十七号	1933(昭和8)	木版・紙／本
	『白と黒』創刊号	1937(昭和12)	木版・紙／本
	『白と黒』第二号	1937(昭和12)	木版・紙／本
川上澄生	「静物」『白と黒』第三号より	1937(昭和12)刊	木版・紙
畦地梅太郎	「麓」『白と黒』第四号より	1937(昭和12)刊	木版・紙
料治朝鳴	「二月堂」『白と黒』第十八号より	1931(昭和6)刊	木版・紙
横井弘三	「玩具の国」『白と黒』第三十二号より	1933(昭和8)刊	木版・紙
川西英	『港都情景』書窓版画帖十連聚其二	1941(昭和16)刊	木版・紙／本
平塚運一	『伊豆一周画詞』書窓版画帖十連聚其九	1943(昭和18)	木版・紙／本
平川清蔵	「水道橋付近」『HANGA』第五輯より	1925(大正14)刊	木版・紙
諏訪兼紀	「ポーズの後」『HANGA』第六輯より	1925(大正14)刊	木版・紙
川西英	「静物」『HANGA』第八輯より	1925(大正14)刊	木版・紙
小泉癸巳男	「山の湖水」『HANGA』第七輯より	1925(大正14)刊	木版・紙
谷中安規	鍵(詩画集の8)	1933(昭和8)	木版・紙
恩地孝四郎	Lyrique No.2 楽曲によせる抒情 ラヴェル“道化師の朝歌”	1933(昭和8)	木版・紙
水船六州	裸婦		木版・紙
横井弘三	料治朝鳴氏の家族	1940(昭和15)頃	油彩・合板

展示室4-② ドレスラーと日本の美術

スコットランドに生まれたクリストファー・ドレスラー(1834 - 1904) は、19世紀後半にイギリスのデザイナーとして活躍しました。1876(明治9)年に来日したドレスラーは、4ヶ月にわたる滞在期間中に日本各地の美術工芸品の産地を訪問し、陶磁器や金属器などを研究しています。帰国後、ドレスラーは日本の美

術工芸品からの影響を自らのデザインに生かして、斬新で独創的な作品を生み出しました。さらにドレスラーは、ロンドンに輸入会社「ドレスラー&ホーム」を1879年に設立しました。この会社を通じて、日本の美術工芸品をイギリスに輸入する仕事を始め、日本とのつながりを持ち続けたのです。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
クリストファー・ドレスラー	緑釉人物文扁壺	1879~82頃	陶器
クリストファー・ドレスラー	緑釉龍波濤文水差	1879~82頃	陶器
クリストファー・ドレスラー	黄釉竹節型小皿	1879~82頃	陶器
クリストファー・ドレスラー	緑釉植物刻文把手付花瓶	1892~95頃	陶器
クリストファー・ドレスラー	緑釉植物刻文花瓶	1892~95頃	陶器
クリストファー・ドレスラー	水差し「ラクダの背」	1879~82頃	陶器
クリストファー・ドレスラー	褐釉瓢箪型花瓶	1879~82頃	陶器
クリストファー・ドレスラー	紅地彩釉壺	1879~82頃	陶器
クリストファー・ドレスラー	彩釉水差	1879~82頃	陶器
クリストファー・ドレスラー	彩釉細首水差	1879~82頃	陶器
クリストファー・ドレスラー	色絵花鳥模様壺	1892~95頃	陶器
クリストファー・ドレスラー	色絵蝶花鳥模様瓢箪形壺	1892~95頃	陶器
クリストファー・ドレスラー	色絵金彩竹梅文水差		磁器
クリストファー・ドレスラー	染付鳥波濤文把手付鉢		磁器
クリストファー・ドレスラー	緑釉蓮花刻文皿	1879~82頃	陶器

作者名	作品名	制作年	技法・材質
クリストファー・ドレッサー	孔雀象嵌模様円形皿		銀、銅、真鍮
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック(青海波)	1879	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック 筒 円型		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	クラレット・ジャグ、黒檀把手		ガラス、金属、電気メッキ、黒檀把手
クリストファー・ドレッサー	瓶(緑色クルーサー・ガラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	蓋付きバスケット、黒檀把手	1881	金属、電気メッキ、黒檀把手
クリストファー・ドレッサー	日本風把手付き薬味入れセット		ガラス、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	柳編み把手付きケトル		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	柳編み把手付きダブルバスケット	1881	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	色絵花模様長皿とボウルのセット	1886	陶器
クリストファー・ドレッサー	ナイフとフォークのセット		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー(著)	『デザイン研究』	1874~76刊	
クリストファー・ドレッサー(著)	『装飾デザインの原理』	1874刊	
クリストファー・ドレッサー(著)	『日本 —その建築、美術、工芸』	1882刊	
	色絵龍文蓋付壺(ドレッサー旧蔵日本陶器)		陶器

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質
●1階			
三木宗策	威容抱慈(坂上田村麻呂像)	1924(大正13)	木彫
細川宗英	装飾古墳シリーズ9	1963(昭和38)	セメント
笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント
アントニー・ゴームリー	量子雲XXIII	2000	ステンレス・スチール棒
アントニー・ゴームリー	領域XIII	2000	ステンレス・スチール棒
●2階展示 ロビー			
佐藤潤四郎	陶器で仏足跡1・2/石で仏足跡		陶器/石
柳原義達	女の首	1958(昭和33)	ブロンズ
佐藤忠良	群馬の人	1952(昭和27)	ブロンズ
高田博厚	アラン像	1932(昭和7)	ブロンズ
●前庭			
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ

平成26年度 第2期 平成26年7月16日～10月19日

展示室1～3 私のお気に入り、ベスト展

平成24年に開館20周年を迎えた当館では、市民にコレクションにより親んでもらうため、4月22日から7月6日まで、近代の作品の中から人気投票を行い、その結果を平成26年度第2期常設展示室1～3で発表した。美術館側で候補作100点を選び、そのポスター(下図)をエントランスに掲示、投票所も同所に設置し

た(右下図)。観客には、1位から3位までを一枚の投票用紙(左下図、A6判)に記入してもらい、1位を3点、2位を2点、3位を1点として総計した。また、その結果と1～3位の得票内訳を『常設展示目録 第2期』と『ザ・ルーフ』Vol.45とで発表した。

私のお気に入り、ベスト展

—みなさんの投票で、展示作品が選ばれます—

投票用紙に以下の当館所蔵近代作品100点の中から好きな作品を3点選び、投票箱に投票してください。おひとりさま1回、7月6日まで。結果は7月16日から10月19日までの常設展示にて発表します。さて、あなたのお気に入りは？



<私のお気に入り、ベスト展>投票用紙

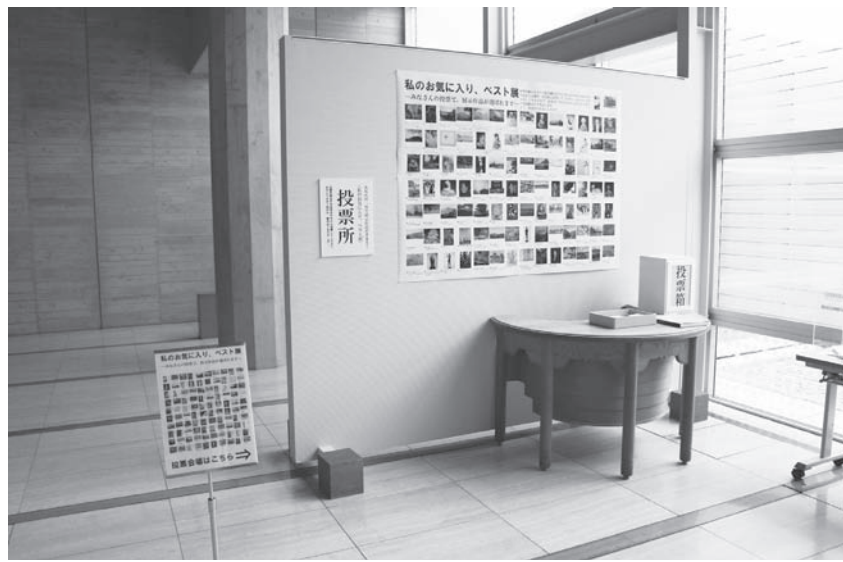
既述の当館所蔵近代作品100点の中から、あなたのお好きな作品を順番に3点選び、その番号を書いて投票箱に投票してください。
おひとりさま1回のみです。締切は7月6日。
結果は7月16日から10月19日までの常設展示にて発表します。

お好きな作品の番号	
1位	
2位	
3位	

その他お好きな当館所蔵作品があれば、わかる範囲で結構ですので、作者名とタイトルをお書きください。

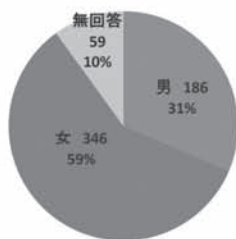
以下にもご回答ください。該当する箇所を○で囲み、()内にはご記入ください。

●性別 () 男性 () 女性 () 年齢 () 歳
 ●お住まいはどちらですか？
 () 都山市内 () 都山市以外の県内 () その他 ()

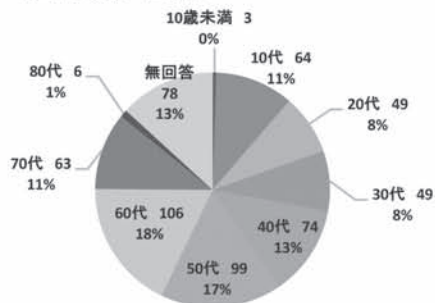


私のお気に入り、ベスト展 1~3位得票内訳

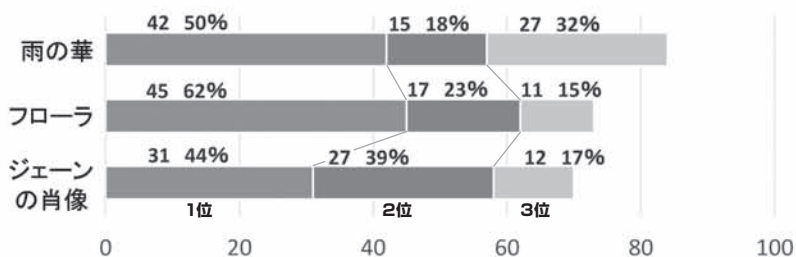
●男女比 全体(単位:人)



●年代比 全体(単位:人)

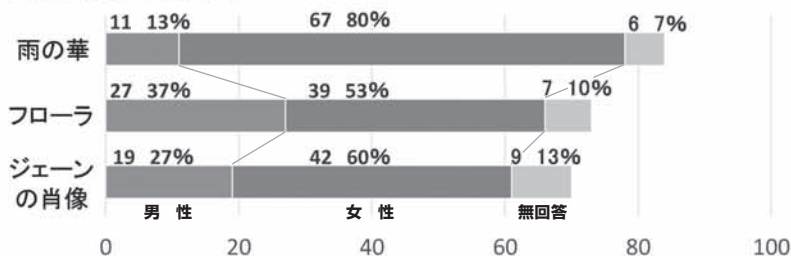


●順位の内訳(単位:票)



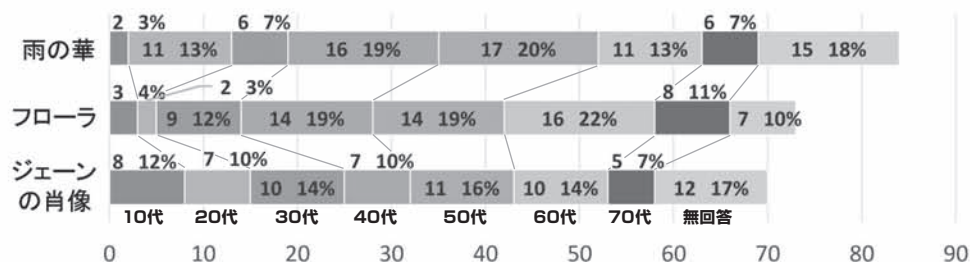
投票用紙には1位から3位まで記入されたが、ここでは、それぞれ何位の票がいくつ入ったのかを見てみる。1位に最も多く投票されたのは「フローラ」だが、総合ポイントでは2位となった。

●男女比(単位:人)



ベスト3に投票された方の男女比。「雨の華」は8割が女性で、圧倒的に女性に人気が高いことがわかる。「フローラ」はやや男性人気が高いようだ。

●年代比(単位:人)



「エグリントン伯爵、ジェーンの肖像」は、学校の見学授業で紹介される機会が多いためか10代の得票率が他の2点の倍以上あった。※10歳未満と80代以上は0票のため省略。

展示室あいさつ文

1992(平成4)年11月に開館した郡山市立美術館のコレクションは、イギリス近代美術、日本近代美術、郡山ゆかりの美術、そして本(版)の美術という4つの基本方針のもとで成り立っておりますが、現在総計2,207点を数えます。内訳は、油彩画279点、水彩・素描は397点、日本画50点、版画1,351点、彫刻40点、工芸190点となっております。

当館は一昨年に開館20周年を迎えましたが、より市民の方々に当館コレクションを知っていただき、親しんでいただく機会となるよう、今年4月22日から7月6日まで、近代の作品の中から人気投票を行いました。今回の常設展示室1～3では、その結果を実際の作品を展示することで発表します。

期間中、投票して下さった方は591人で、候補作100点の中からお気に入りの1位から3位までを記入していただきました。そこで、1位を3点、2位を2点、3位を1点として総計した結果の上位50点が今回の展示に反映されています。

通常、当館の常設展示室では部屋ごとにテーマを決めていますが、今回はほぼ得点順に展示しています。当館初めての試みですが、いつもと違う雰囲気の中で、作品の新しい魅力を発見していただければ幸いです。

投票に御協力くださった皆様には心から御礼を申し上げます。

順位	作者名	作品名	制作年	技法・材質	得点
展示室3					
1	安藤重春	雨の華	1979(昭和54)	岩絵具・紙	183
2	サー・エドワード・ゴッサー・バーン・ジョンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンバス	180
3	サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス	159
4	斎藤清	珊瑚	1955(昭和30)	木版・紙	104
5	佐藤潤四郎	オブジェ・羊	1980-82(昭和55-57)頃	ガラス/宙吹・プランツ	92
6	棟方志功	愛染菩薩図(「雨ニモ負ケズ」四韻)		墨、淡彩・紙/4点組	90
7	諫山麗吉	甲州猿橋		油彩・キャンバス	89
8	ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス	77
8	中川八郎	秋郊		水彩・紙	77
10	ジョン・マーティン	フレッシュウォーター・ベイ	1815頃	油彩・キャンバス	71
11	ダンテ・ガブリエル・ロセッティ	マドンナ・ピエトラ	1874	パステル・紙	70
12	小林万吾	朽葉の袖	1907(明治40)	油彩・キャンバス	68
13	水田荘介	青衣の女	1964(昭和39)	油彩・キャンバス	66
14	ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス	フローラ	1914頃	油彩・キャンバス	61
15	栗原忠二	ヴェニス風景	1921(大正10)	油彩・板	60
15	真野紀太郎	ウェリントン植樹園	1924(大正13)	水彩・紙	60
展示室2					
17	小出植重	自画像	1918(大正7)	油彩・キャンバス	59
18	サー・フランク・ブランギン	ヴェニス・運河	1924	油彩・キャンバス	55
19	古賀春江	蝸牛のいる田舎	1928(昭和3)	油彩・キャンバス	54
19	横井弘三	料治朝鳴氏の家族	1940(昭和15)頃	油彩・合板	54
21	リチャード・ウィルソン	キケロの別荘		油彩・キャンバス	51
22	野崎華年	富士	1907(明治40)	油彩・キャンバス	48
23	オーブリー・ビアズリー	おまえの口に口づけしたよ、ヨカナーン(オスカー・ワイルド「サロメ」挿絵、「ステューディオ」創刊号のためのブルー版)	1893	ラインブロック・紙	47
24	北川民次	アメリカ婦人とメキシコ女	1935(昭和10)(1958年補筆)	テンペラ・板	43
24	三木宗策	威容抱慈(坂上田村麻呂像)	1924(大正13)	木	43
26	岸田劉生	銀座数奇屋橋	1909(明治42)頃	油彩・板	42
26	アルバート・ジョゼフ・ムーア	黄色いマーガレット	1881	油彩・キャンバス	42
26	青津清喜	窓際	1950(昭和25)	油彩・キャンバス	42
29	石川寅治	房総風景	1923-24(大正12-13)頃	油彩・キャンバス	40
29	荻生天泉	行成卿	1932(昭和7)	岩絵具・紙/二曲一双屏風	40
29	鎌田正蔵	基地の風景(B)	1991(平成3)	アクリルキャンバス 鎌田正蔵氏寄贈	40
32	梶田半古	蝶	1907-12(明治40-45)頃	岩絵具・絹/二曲一双屏風	37
展示室1					
32	高橋勝蔵	桃と葡萄	1909(明治42)頃	油彩・キャンバス	37
32	高橋由一	風景(鳥海山)	1880代	油彩・キャンバス	37
35	ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス	36
35	藤島武二	「耕到天」習作	1936(昭和11)	油彩・キャンバス	36

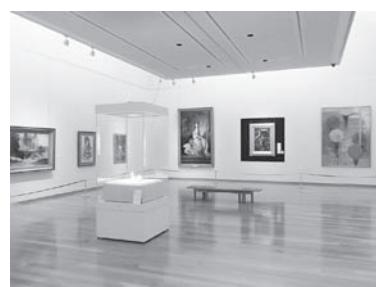
順位	作者名	作品名	制作年	技法・材質	得点
37	土橋醇	イルド・フランス	1956(昭和31)	油彩・キャンバス	35
38	五百城文哉	日光		水彩・紙	33
39	アルフレッド・ウィリアム・パーソンズ	箱根の秋		水彩・紙	31
39	広瀬孝次	田園景色	1890(明治23)	油彩・キャンバス	31
41	サー・アルフレッド・イースト	村の茶店、箱根	1889頃	水彩・紙	30
41	黒沢吉蔵	ガスタンクのある風景	1956(昭和31)	岩絵具、箔・紙黒沢吉蔵氏寄贈	30
41	高村真夫	風景	1903(明治36)	油彩・キャンバス	30
44	林武	女	1932(昭和7)頃	油彩・キャンバス	29
45	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	宮島の街並	1890	水彩・紙	28
46	彭城貞徳	雪景色		水彩・紙	26
46	山本芳翠	園田銚像	1885(明治18)	油彩・キャンバス	26
48	吉田博	ウインザー橋		水彩・紙	25
49	ジェームズ・アボット・マクニール・ホイスター	ラルエツ坊や	1859	エッチング・紙	24
49	中村彝	朝顔	1923(大正12)	油彩・キャンバス	24



常設展示室1 第32位～第49位



常設展示室2 第17位～第32位



常設展示室3 第1位～第15位

展示室4－① 戦争と美術

様々な立場で画家たちは戦争を描いてきました。

今回は、記録または戦意高揚のために新聞付録になったものをはじめとして、第二次世界大戦後の作品と一緒に展示します。

第一次世界大戦でフランスでのドイツ軍の爆撃跡を描いたネヴィンソンの「大攻撃の後」と、第二次世界

大戦で郡山市でのアメリカ軍の爆撃跡を描いた吉井忠の「敗れたる風景」に共通するのは、爆撃でできた池とともに、その風景を目の前にした画家の姿です。そこに、戦争を共通項とした社会の歪み、人間の愚かさを告発しようとした画家の姿勢を認めることができます。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
数崎芳次郎	山東省羊亭集之戦	1895(明治28)	石版・紙
高橋松亭	金州ノ占領(『奉公偉績画卷』第30図)	1896(明治29)	木版・紙
黒田清輝	旅順砲台突貫之図 (『北国新聞』明治31年12月1日号、第1926号付録)	1898(明治31)	木口木板・紙
北沢楽天	やまとひめとブリタニヤ (『時事新報』明治35年6月26日号、第6689号付録)	1902(明治35)	石版・紙
ポール・ナッシュ	夜間行軍	1918	石版・紙
ポール・ナッシュ	ドイツ製二重トーチカ、ゲルフェルト	1918	石版・紙
ポール・ナッシュ	見知らぬ海岸	1920	石版・紙
クリストファー・リチャード・ウイン・ネヴィンソン	休憩するフランス軍	1916	ドライポイント・紙
クリストファー・リチャード・ウイン・ネヴィンソン	空中で	1917	石版・紙
クリストファー・リチャード・ウイン・ネヴィンソン	4000フィートでの旋回飛行	1917	石版・紙
クリストファー・リチャード・ウイン・ネヴィンソン	ドイツ戦闘機-タウプへの急襲	1917	石版・紙
クリストファー・リチャード・ウイン・ネヴィンソン	アラスからバポームへの道	1918	石版・紙
クリストファー・リチャード・ウイン・ネヴィンソン	大攻撃の後	1918	石版・紙
吉井 忠	敗れたる風景	1946(昭和21)	油彩・キャンバス
丸樹長三郎	おろかなりし歴史	1945(昭和20)	油彩・キャンバス
牧野義雄	日本大使館から見たロンドン爆撃	1940(昭和15)	油彩・キャンバス

展示室4-② 佐藤潤四郎 クリスタルの輝き

1907(明治40)年に郡山市清水台に生まれた佐藤潤四郎は、郡山市が誇る日本のガラス工芸作家のひとりです。使いやすさを追求した結果の、決して奇をてらわない素朴な形。それは温もりと気品とを感じさせます。

今回は、彼の真骨頂であるクリスタルガラスの作品

に焦点を絞って展示します。彼は東京美術学校金工科鍛金部を卒業した後、金工家からガラス工芸家に転身しますが、中でも今回展示されている鍛鉄吹込の作品は、まさに金工家としての経験があった彼ならではの発想によるものだけといえます。鉄の枠からはみ出ようとするガラスの生氣あふれる形をお楽しみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
佐藤潤四郎	スタンドグラス・窯		スタンドグラス	小林東洋氏寄贈
佐藤潤四郎	花器 (カットグラス)	1986(昭和61)	型吹き・エッチング、カット	
佐藤潤四郎	花器 (カレット入り)		宙吹き・カレット封入	
佐藤潤四郎	花器 (グリーン)		宙吹き	
佐藤潤四郎	花器・仏足跡ロータス		宙吹き・サンドブラスト	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	植物文一輪挿し		宙吹き・グラヴェール	
佐藤潤四郎	クリスタル六角 鉢		宙吹き	
佐藤潤四郎	ブルー花器		宙吹き	
佐藤潤四郎	雲母入り花器		宙吹き・雲母封入	
佐藤潤四郎	花器・馬車に乗るガラスの神様	1973~6(昭和48~51)頃	宙吹き・サンドブラスト	(株)リタケクリスタル寄贈
佐藤潤四郎	オブジェ・これ以上芽の出ない世界		宙吹き	
佐藤潤四郎	魚(オレンジ・ブルー)		宙吹き・カレット封入	
佐藤潤四郎	舍利器		宙吹き・気泡封入、プランツ	
佐藤潤四郎	舍利器 (カレット入り)		宙吹き・カレット封入	
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺玄奘三蔵院舍利器カバー(控)No.1	1984(昭和59)	宙吹き・プランツ、雲母封入	
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺玄奘三蔵院舍利器(控)No.1	1980(昭和55)	宙吹き・カット	
佐藤潤四郎	植物文瓶		宙吹き・グラヴェール	
佐藤潤四郎	瓶・ガラスの神様		宙吹き・グラヴェール、プランツ	
佐藤潤四郎	大杯・ワインを造る		宙吹き・グラヴェール、プランツ	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	ルーマー杯(グリーン)		宙吹き・プランツ	長谷川貴子氏/石川和子氏寄贈
佐藤潤四郎	ルーマー杯・大好きな形		宙吹き・プランツ	
佐藤潤四郎	ルーマー杯・なみなみのワインを		宙吹き・グラヴェール、プランツ	
佐藤潤四郎	鍛鉄吹込花器(顔)		鍛鉄吹込	
佐藤潤四郎	鍛鉄吹込花器・灯もつけて		鍛鉄吹込	
佐藤潤四郎	オブジェ・ガラスを吹く人		鍛鉄	寄託作品
佐藤潤四郎	オブジェ・羊車		鍛鉄・ガラス	寄託作品
佐藤潤四郎	クリスタル花器		宙吹き	
各務鑑三	クリスタル花瓶《鱗影》	1970(昭和45)頃	宙吹き・気泡封入、グラヴェール	田淵十一氏寄贈
吉田丈夫	クリスタル瓶《瓢》		宙吹き	田淵十一氏寄贈

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
●1階				
細川宗英	装飾古墳シリーズ9	1963(昭和38)	セメント	細川明子氏寄贈
笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント	
アントニー・ゴームリー	量子雲XXIII	2000	ステンレス・スチール棒	
アントニー・ゴームリー	領域XIII	2000	ステンレス・スチール棒	
●2階展示 ロビー				
佐藤潤四郎	陶器で仏足跡1・2 / 石で仏足跡		陶器 / 石	寄託作品
佐藤静司	子供頭部	1955(昭和30)	木	佐藤静司氏寄贈
三坂耿一郎	まとう	1967(昭和42)	ブロンズ	
佐藤忠良	群馬の人	1952(昭和27)	ブロンズ	
●前庭				
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ	

平成26年度 第3期 平成26年10月22日～平成27年2月1日

展示室1 英国風景画の巨匠ターナー

ターナーは、ピカソと同じく早熟の画家でした。しかし、ピカソの父が美術教師だったのとは違い、ターナーの父は理髪店を営み、母は肉屋の出生でした。幼少のターナーにとっては、ロンドンにある自宅から近いテムズ川が絵の教師でした。

父が経営する理髪店の窓には息子の描いた絵を自慢

げに飾っていたそうです。ターナーの画才は、瞬く間に広まり、14歳のときには、生涯にわたって所属することになるロイヤル・アカデミーの美術学校に入学します。

その後、画風は変わってはいきませんが、風景画家を貫きました。幼少のころに見たテムズ川が彼の原風景なのかもしれません。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダーブリッジ	1810	油彩・キャンバス
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	コニストンの荒地	1797頃	水彩、鉛筆・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	サン・ゴタル峠の下り道	1848	水彩・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	橋と牛	1807	エッチング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	インヴァレアリイ・ピア、ファイン湖、朝	1811	エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ベリー・ボマロイ城(ラグラン城)	1816	エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	グラン・シャトルーズ近くの水車小屋	1816	エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	バトル修道院	1816	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ティンタージェル城、コーンウォール	1818	エッチング、ラインエングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ベン・アーサー	1819	エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	クローヴェリー湾、デヴォンシャー	1824	エッチング、ラインエングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	エディスタン灯台	1824	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ブルーアム城	1825	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	海と空の習作	1825頃	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	メッドウェイ川沿いのロチェスター	1826	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ウィットビー	1826	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	タイン川沿いのニューカースル	1826	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	スカーバラ	1826	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ドーバー海峡	1827	エッチング、ラインエングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カークストールの水門	1827	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	トットネス	1827	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	マーゲイト	1828以前	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	大洪水	1828	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ストーンヘンジ	1829	エッチング、ラインエングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カレー沖の釣船(ドーバー海峡)	1830	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ボッカチオの庭(鳥かご)	1830	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ネッカー川対岸から見たハイデルベルク	1846	エッチング、ラインエングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ランプリス湖、北ウェールズ	1834	エッチング、ラインエングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	イースト・ゲート、ウインチェルシー、サセックス		エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	エグリモント氏の為の海景画		エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	嵐		エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	橋と牛		エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	泥炭沼、スコットランド		エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ティンタジェル		エッチング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ボスカーズル		エッチング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	キャットウォーター、プリマス		メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ティーズ川の流れ、ヨークシャー		ラインエングレーヴィング・紙
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
エドワード・コラー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンバス

展示室2 近代日本の美術

明治以降、日本の美術は、ヨーロッパ絵画という異文化の輸入によって「洋画」「日本画」という区分が生まれるなど大きく変容をとげることになりました。油絵等が美術革新のひとつの道具として盛んに描かれるようになり、画家たちは日本固有の絵画の伝統と美意識を継承しつ

つ、西洋絵画の思想と表現を取り入れようとしたのです。明治から大正、昭和にかけて新しい表現様式がいくつも誕生し、日本の美術は独自の展開を遂げていきました。今回は、各時代を代表する画家たちの作品を展示します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
司馬江漢	飛鳥山図	寛政後期	油彩・絹	
高橋由一	風景(鳥海山)	1880年代	油彩・キャンバス	
浅井 忠	収穫	1893(明治26)	油彩・キャンバス	
黒田清輝	東久世伯肖像エスキース	1894(明治27)	油彩・キャンバス	
有島生馬	少女	1908(明治41)	油彩・キャンバス	
岸田劉生	銀座数寄屋橋	1909(明治42)頃	油彩・板	
木村莊八	道のある風景	1914(大正3)	油彩・キャンバス	
満谷国四郎	冬	1922(大正11)	油彩・キャンバス	
中川一政	冬の郊外(葱畑)	1918(大正7)頃	油彩・キャンバス	
南薫造	雪の日の東京	1933(昭和8)	油彩・スケッチボード	
藤島武二	「耕到天」習作	1936(昭和11)	油彩・キャンバス	
倉田白羊	みのり		水彩・紙	
小寺健吉	飯坂温泉		水彩・紙	
吉田 博	積み藁のある風景		水彩・紙	
大下藤次郎	赤城駒ヶ岳の紅葉	1907(明治40)	水彩・紙	
安井曾太郎	公園風景	1928(昭和3)	水彩・紙	
中西利雄	ヴァンスの雪	1929(昭和4)	水彩・紙	
小野竹喬	(作品)		墨具・絹	寄託作品
玉村方久斗	(作品)	1922-23(大正11-12)頃	墨具・絹	寄託作品

展示室3 秋山泰計からくり世界

白黒の反転と交錯する輪郭を駆使した画面構成によって、ユーモアとアイロニー漂う独自の表現世界を確立した版画家・秋山泰計。身近な風景や人物を力強く表現していた初期の作品でも、たとえば忙しく働く大工を下から見上げるなど、ユニークな視点が見られます。1970年代以降は「おびからくり」と名づけた

紙の造形作品を考案し、造形デザイナーとしても活躍しました。

木版画という伝統的な技法を自由に駆使して繰り広げられる秋山泰計のからくり世界。おびからくりと合わせてお楽しみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
秋山泰計	ひとり十人	1961(昭和36)	木版・紙	
秋山泰計	大工A	1963(昭和38)	木版・紙	秋山照子氏寄贈
秋山泰計	大工B	1963(昭和38)	木版・紙	秋山照子氏寄贈
秋山泰計	同行二人	1970(昭和45)	木版・紙	秋山照子氏寄贈
秋山泰計	同行二人(バリエーション)	1970(昭和45)	木版・紙	
秋山泰計	母子像	1973(昭和48)	木版・紙	
秋山泰計	母子像(バリエーション)	1973(昭和48)	木版・紙	秋山照子氏寄贈
秋山泰計	祭りの獅子(バリエーション)	1974(昭和49)	木版・紙	
秋山泰計	筋のない話(B)	1974(昭和49)	木版・紙/二曲一隻屏風	
秋山泰計	筋のない話(C)	1974(昭和49)	木版・紙/二曲一隻屏風	
秋山泰計	祭りの獅子(バリエーション)	1974(昭和49)	木版・紙	
秋山泰計	冬瓜(バリエーション)	1984(昭和59)	木版・紙	

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
秋山泰計	Uzoo・渦	1985(昭和60)	木板・紙	
秋山泰計	Zoogan・象嵌	1985(昭和60)	木板・紙	
秋山泰計	Yaoyorozoo・八百萬	1985(昭和60)	木板・紙	
秋山泰計	三部作 夢の旅(I)(群鳥)	1985(昭和60)	木板・紙	
秋山泰計	三部作 夢の旅(II)(象・鬼牡丹)	1985(昭和60)	木板・紙	
秋山泰計	三部作 夢の旅(III)(富士見逆さま)	1985(昭和60)	木板・紙	
秋山泰計	おびからくり(少女⇄サルの子)		漣彩・布、紙	三木多聞氏寄贈
秋山泰計	おびからくり(キジ⇄キツネ)		漣彩・布、紙	田口安男氏寄贈
秋山泰計	おびからくり(ウマ⇄カバン)		漣彩・布、紙	田口安男氏寄贈
秋山泰計	おびからくり(スイカ⇄ヘビ)		漣彩・布、紙	田口安男氏寄贈

展示室4-① 岸田劉生とその時代

大正時代、日本には後期印象派、フォーヴィスムといった西洋の新しい美術の流れが次々に押し寄せていました。そんな中、岸田劉生、木村莊八らが中心となって結成した草土社の画家たちは、時代に逆行するかのようによく写実に徹し、神秘的な雰囲気を漂わせる作品を描いていました。

1915(大正4)年の第1回展から1922(大正11)年の第9回展まで開催された草土社とは、その名の

とおり「草」と「土」という私たちの足元を改めて見つめ直した美術団体です。それは日本人としての表現を模索することであり、なおかつ、対象を見る自分自身、描いている自分自身を見つめ直す姿勢でもありました。

今回は、日本では工芸家として知られるバーナード・リーチから学んだエッチングなど、岸田劉生の版画にも焦点を当ててご紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
岸田劉生	天地創造(3点組)	1914(大正3)年	エッチング・紙
岸田劉生	The Earth(大地)	1915(大正4)年	木板・紙
岸田劉生	藜の像	1915(大正4)年	インク・紙
岸田劉生	男之像	1919(大正8)年	水彩・紙
岸田劉生	照子像	1920(大正9)年	水彩・紙
制作者不詳	第2回草土社美術展覧会ポスター	1916(大正5)年	木板・紙
清宮彬	第3回草土社美術展覧会ポスター	1916(大正5)年	木板・紙
清宮彬	第6回草土社美術展覧会ポスター	1918(大正7)年	木板・紙
清宮彬	第9回草土社美術展覧会ポスター	1922(大正11)年	木板・紙
岸田劉生	『劉生図案画集』(聚英閣)	1921(大正10)年	木板・紙/ポर्टフォリオ
木村莊八	櫛の見える風景	1915(大正4)年	インク、水彩・紙
木村莊八	中島君の像	1916(大正5)年	水彩・紙
河野通勢	ソロモンの裁判	1919(大正8)年	インク・紙
河野通勢	聖書	1920(大正9)年	インク・紙
バーナード・リーチ	家	1912(大正元年)	エッチング・紙
バーナード・リーチ	北京の前門	1918(大正7)年	ソフトグランドエッチング・紙

展示室4-② 暮らしを彩るデザイン

日々の生活に役立てられる器や道具たちは、用途に限らず暮らしを豊かに彩る役割も果たしています。本来工芸作品には、人々の眼を愉ませるような色やかたち、質感などと同時に実用性が求められます。すぐれた作品には、作家の個性のみならず、卓抜した技と機能美に

応じたデザインがみごとに調和しているのです。

今回は、郡山市出身のガラス工芸家佐藤潤四郎、イギリス19世紀末の工芸デザイナー、クリストファー・ドレッサーらの秀作を展示します。実際に手にした時の感触や使い心地を想像しながらご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
佐藤潤四郎	花器・灯もつけて		鍛鉄吹込
佐藤潤四郎	花器・何をしようか	1986(昭和61)	宙吹

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
佐藤潤四郎	花器・一寸考えて		宙吹	
佐藤潤四郎	花器・穴があってちょっと考えた	1980-82(昭和55-57)頃	宙吹、カット	
佐藤潤四郎	花器・アダムとイヴ		宙吹、エッチング	
佐藤潤四郎	クリスタル六角 鉢		宙吹	
佐藤潤四郎	オリンピックブルー硝子皿	1941(昭和16)頃	宙吹	
佐藤潤四郎	ルーマー杯・なみなみのワインを		宙吹・グラヴユール・プランツ	
佐藤潤四郎	ルーマー杯(グリーン)		宙吹・プランツ	長谷川貴子氏/石川和子氏寄贈
佐藤潤四郎	竹に雀文ワイングラス		宙吹・グラヴユール・プランツ	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	タンブラー		型吹、他	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	『スーパーニッカ』手吹きボトル	1962(昭和37)頃	宙吹	川崎清氏寄贈
佐藤潤四郎	ウイスキーボトル『インベリアル』		機械生産	サンロー株式会社寄贈
クリストファー・ドレッサー	花瓶(赤色クルーザ・グラス)		ガラス	
クリストファー・ドレッサー	花瓶(緑色クルーザ・グラス)		ガラス	
クリストファー・ドレッサー	クラレットジャグ(ぶどう酒用容器)		ガラス、金属、電気メッキ	
クリストファー・ドレッサー	スプーン・ウォーマー		金属、電気メッキ	
クリストファー・ドレッサー	鑲製 ティーセット	1885	銀、象牙、金メッキ	
クリストファー・ドレッサー	トーストラック(ポイントアーチ型)	1881	金属、電気メッキ	
クリストファー・ドレッサー	トーストラック	1881	金属、電気メッキ	
クリストファー・ドレッサー	レターラック(円形、可動式)		金属、電気メッキ	
クリストファー・ドレッサー	柳編み把手付きケトル		金属、電気メッキ	
クリストファー・ドレッサー	柳編み把手付きダブルバスケット	1881	金属、電気メッキ	
クリストファー・ドレッサー	塩入れとスプーン	1884	銀	
クリストファー・ドレッサー	蓋付きスプーン入れ		金属、電気メッキ、黒檀把手	
クリストファー・ドレッサー	緑釉サラダボール(サーバー付)	1879-82頃	陶器、金属、電気メッキ	
クリストファー・ドレッサー	色絵草花模文隅切角皿	1886	陶器	
クリストファー・ドレッサー	色絵花模様長皿	1886	陶器	
クリストファー・ドレッサー	ナイフとフォークのセット		金属、電気メッキ	
クリストファー・ドレッサー	金彩筒型三足花器		磁器	
クリストファー・ドレッサー	ケトルとスタンド		真鍮、銅	

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
●1階				
細川宗英	装飾古墳シリーズ9	1963(昭和38)	セメント	細川明子氏寄贈
笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント	
アントニー・ゴームリー	量子雲XXIII	2000	ステンレス・スチール棒	
アントニー・ゴームリー	領域XIII	2000	ステンレス・スチール棒	
●2階展示 ロビー				
佐藤潤四郎	陶器で仏足跡1・2/石で仏足跡		陶器/石	寄託作品
柳原義達	女の首	1958(昭和33)	ブロンズ	
佐藤忠良	群馬の人	1952(昭和27)	ブロンズ	
高田博厚	アラン像	1932(昭和7)	ブロンズ	
●前庭				
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ	

展示室1 描かれた理想と幻想の世界

ヨーロッパ西端のイギリスでは、大陸の伝統を取り入れながらも、独自の美術が展開されました。今回の展示では、イギリス近代美術において理想や幻想の世界をテーマに描かれた作品を特集します。18世紀以降にイギリスで大きく花開いた風景画では、リチャード・ウィルソンらが自然を正確に写し取るだけでなく、廃墟などの建物や宗教的な主題を実景に描

き加えたりする、理想化された風景画を描きました。一方、ジョン・マーティンなどロマン主義の画家たちによって、内なる理想世界がドラマティックに描かれました。19世紀末になると、バーン＝ジョーンズらが神話や文学を典拠に幻想性あふれる絵画美を追求し、諸芸術にも影響を与えました。こうした作品は時空を超えて、想像の世界の豊かさを今に伝えています。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ジョン・セル・コットマン	フェカンのロマネスク遺跡		鉛筆・紙
ジョン・ヴァーレー	ボントシスリット・アクアダクト	1826	水彩・紙
アレクサンダー・カズンズ	川岸に神殿のある風景		水彩・紙
リチャード・ウィルソン	キケロの別荘		油彩・キャンバス
ジョン・マーティン	フレッシュウォーター・ベイ	1815頃	油彩・キャンバス
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス
ジョン・マーティン	ミルトン『失樂園』第1巻、第2巻	1825-7	メゾチント・紙／本
ウィリアム・ブレイク	ヴァーゼル『田園詩』第1巻		木口木版・紙／本
サミュエル・パーマー	サミュエル・パーマーによるヴァーゼルの『田園詩』英語版	1883刊	エッチング・紙／本
エドワード・カルヴァート	林檎酒の宴	1828	木口木版・紙
エドワード・カルヴァート	小川	1829	木口木版・紙
エドワード・カルヴァート	貴婦人とミヤマガラス	1829	木口木版・紙
エドワード・カルヴァート	家路	1830	木口木版・紙
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
ダンテ・ガブリエル・ロセッティ	マドンナ・ビエトラ	1874	パステル・紙
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	アヴァロンにおけるアーサー王の眠り	1894	グワッシュ・紙
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1833-98	油彩・キャンバス
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	『フラワー・ブック』より	1905	リトグラフ・紙／ポートフォリオ
ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス	フローラ	1914頃	油彩・キャンバス
サー・フランク・ブランギン	花園	1900頃	油彩・板
アルバート・ジョゼフ・ムーア	黄色いマーガレット	1881	油彩・キャンバス
オーブリー・ビアズリー	おぼろの口に口づけられた、ヨカーン(オスカー・ワイルド『オム』挿絵)	1893	ラインブロック・紙

展示室2 みづゑの魅力

水彩画は、日本人にとって身近で親しみやすい絵画技法です。明治時代に日本にもたらされ、その後イギリスの水彩画家たちの来日をきっかけに広く普及しました。

「みづゑ」とも呼ばれた水彩画は、湿潤な日本の風土と調和し、四季折々の自然の美を描き表すには最適な技法ともいえるでしょう。アルフレッド・イースト

やアルフレッド・パーソンズをはじめとするイギリスの画家たちは、日本各地を旅し、風景を水彩で描きました。日本の画家たちは彼らから大きな影響を受けながら、美しい自然や農村の風景、外国の風景などを水彩画で表現したのです。画家たちの感じた風景が、やわらかな色彩と生き生きとしたタッチに表れています。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
サー・アルフレッド・イースト	雨後の傘干し	1889	水彩・紙
アルフレッド・ウィリアム・パーソンズ	鎌倉の茶店		グワッシュ・紙
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	雪の京都、祇園へゆく道	1891	水彩・紙

作者名	作品名	制作年	技法・材質
大下藤次郎	春雪の茶店		水彩・紙
大下藤次郎	舟のある風景	1906(明治39)	水彩・紙
大下藤次郎	蓮池		水彩・紙
大下藤次郎	晩秋	1908(明治41)	水彩・紙
鹿子木孟郎	綾瀬		水彩・紙
河合新蔵	ノウゼンカズラのある宿場		水彩・紙
河合新蔵	武州五日市の雪景		水彩・紙
丸山晚霞	少女のいる風景、春		水彩・紙
三宅克己	箱根		水彩・紙
五姓田芳柳(二世)	月の瀬・奥の谷		水彩・紙
五姓田芳柳(二世)	妙義山第一門		水彩・紙
中川八郎	秋の河辺		水彩・紙
中川八郎	早春		水彩・紙
吉田博	村里の子供たち(岩戸)		水彩・紙
吉田博	風景		水彩・紙
吉田博	山村風景	1896(明治29)	水彩・紙
石川欽一郎	牛荘(Newchowang)		水彩・紙
石川欽一郎	信州の田舎		水彩・紙
吉田ふじを	土間	1906(明治39)	水彩・紙
吉田ふじを	レニヤ山		水彩・紙 (有ヒノギャラリー寄贈)
真野紀太郎	ウェリントン植園	1924(大正13)	水彩・紙
南薫造	橋のある河		水彩・紙
南薫造	日没		水彩・紙
南薫造	川べりの家		水彩・紙
南薫造	教会堂		水彩・紙

展示室3 郡山ゆかりの美術

郡山市は福島県の中央に位置し、経済活動の活発さから「経済県都」と呼ばれていますが、芸術文化活動も盛んな地域であり、美術の領域においても、多くの美術家を輩出しています。

郡山市立美術館は、これまでに「郷土ゆかりの美術」

を収集の柱のひとつとして、県内はもとより、国内外で活躍する(した)郡山市とゆかりのある美術家の作品をコレクションしてきました。今回は、洋画、日本画、版画、彫刻、工芸等の様々な分野の作品を紹介します。郷土を代表する美術家たちの作品をご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
安藤重春	雨の華	1979(昭和54)	岩絵具・紙	
黒沢吉蔵	霽れる高地	1968(昭和43)	岩絵具・紙	
水田荘介	横たわる裸婦	1953(昭和28)	油彩・キャンバス	
青津清喜	枯れた花の静物	1951(昭和26)	油彩・キャンバス	
土橋醇	星雲	1963(昭和38)	油彩・キャンバス	
芳賀忠行	虚構の風景一城	1974(昭和49)	油彩・キャンバス	
鎌田正蔵	ロボット家族(B)	1982(昭和57)	アクリル・キャンバス	
佐藤昭一	シリーズ透過02	2002(平成14)	アクリル・キャンバス	
岩谷徹	春の胎動	1972(昭和47)	メゾチント・紙	
岩谷徹	秋の使者	1978(昭和53)	メゾチント・紙	
岩谷徹	月の森	1982(昭和57)	メゾチント・紙	
安部直人	Anonymous I	1995(平成7)	エッチング、メゾチント・紙	
折笠兆春	黄雲	1995(平成7)	乾漆	折笠兆春氏寄贈
三木宗策	威容抱慈(坂上田村麻呂像)	1924(大正13)	木	
三坂耿一郎	女童(めわらべ)	1974(昭和49)	ブロンズ	
佐藤静司	フルーティスト	2000(平成12)	木	佐藤静司氏寄贈

展示室4-① 英国キリスト教美術

西洋美術はキリスト教の美術とっていいほど、キリスト教は西洋の美術家にとって、主要なテーマになっています。イギリス美術にも同様のことがいえます。

18世紀に活躍したウィリアム・ブレイクは、聖書の題材を独自の解釈で視覚化した画家で、幻視的なイメージが彼の作品の特徴になっています。

また、19世紀半ばに結成されたラファエル前派は、当時のアカデミックな芸術に反抗した前衛的な美術

集団でしたが、彼らが描いた主なテーマもキリスト教でした。キリスト教は、西洋はもちろんのこと、日本でも、多くの美術家がキリスト教を題材に制作しています。彫刻家の舟越保武もそのひとりです。

ここでは、多くの美術家にとって、インスピレーションの源となっているキリスト教に着眼し、特にイギリスにおけるキリスト教美術の特色を探ります。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
トマス・ローランドソン	北ウェールズ、カマーゼンの風景、教会へ向かう人々	1790代初頭	水彩・紙
ウィリアム・ブレイク	『ヨブ記』より点	1825	ラインエングレーヴィング/ポートフォリオ
ジョン・マーティン	裁きを受けるアダムとイヴ	1833	水彩・紙
ジョン・マーティン	光の創造	1825	メゾチント・紙
ジョン・マーティン	墮落した天使たちを呼び覚ますサタン	1825	メゾチント・紙
ジョン・マーティン	ノアの大洪水	1828	メゾチント・紙
ジョン・マーティン/リチャード・ウェストール	『聖書のための挿絵』	1835	木口木版・紙/本
サー・エドワード・コッリー・バーン=ジョーンズ	キリストの昇天	1875	チョーク・墨・紙
ディエル兄弟(刻)	『ディエル兄弟の聖書ギャラリー』より4点		木口木版/ポートフォリオ
サミュエル・パーマー	クリスマス(最後の羊を囲う)	1850	エッチング・紙
スタンリー・アンダーソン	人と十字架		エッチング・紙
デイヴィッド・ジョーンズ(画・刻)	『チェスター劇『大洪水』』	1977	木口木版・紙
デイヴィッド・ジョーンズ(画・刻)	『デイヴィッド・ジョーンズの版画集(ブルーフ集)』より2点	1981	木口木版、エングレーヴィング、ドライポイント紙
エリック・ギル	聖ルカ	1922	木口木版・紙
エリック・ギル	イエズス会の殉教者	1923	木口木版・紙
エリック・ギル	ゲッセマネの園におけるキリストの苦悶	1926	木口木版・紙
エリック・ギル	エヴァ	1926	木口木版・紙
エリック・ギル	磔刑	1931	木口木版・紙

展示室4-② 仏足跡と祈りの造形

佐藤潤四郎は、晩年、奈良の薬師寺からの依頼で舍利器を制作しました。それが縁で、薬師寺に伝わる《仏足石》に刻まれた仏の足跡、「仏足跡」に興味を抱きます。以来、仏足跡は「ガラスの神様」とともに潤四郎による祈りの造形のキャラクターとしてなくてはならない存在となりました。

また、潤四郎の工芸デザイナーとしての代表作とい

われるのが「《スーパーニッカ》手吹きボトル」です。スーパーニッカは、ニッカウヰスキーの創設者・竹鶴政孝が作り上げた日本で最初の本格的ウヰスキーです。このお酒には、竹鶴を支え続け、発売の前年に亡くなった愛妻・リタへの祈りが込められていると言われています。そのなだらかな曲線を生かしたボトルのフォルムからは、柔和でぬくもりすら感じます。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
佐藤潤四郎	吹込花器・灯もつけて	1986(昭和61)	鍛鉄吹込
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺西塔舍利器(試作)	1978(昭和53)	甗 ぎ・グラヴェール
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺西塔舍利小容器(試作)		甗 ぎ・プランツ
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺支婁三藏院舍利器(控)No.1	1980(昭和55)	甗 ぎ・カット
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺支婁三藏院舍利器カバー(控)No.1	1984(昭和59)	甗 吹き・カット、プランツ、雲母封入
佐藤潤四郎	舍利器(カレット入り)		甗 吹き・カレット融着
佐藤潤四郎	デザイン・カガミクリスタル制作	1962(昭和37)頃	甗 吹き
佐藤潤四郎	『スーパーニッカ』手吹きボトル タンブラー		甗 吹き・グラヴェールなど

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
佐藤潤四郎	オブジェ・手	1984(昭和59)頃	サンドブラスト	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	オブジェ・仏足跡	1984(昭和59)頃	サンドブラスト	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	オブジェ・仏足跡ロータス	1984(昭和59)	エッチング、サンドブラスト	
佐藤潤四郎	花器・馬車に乗るガラスの神様	1973-68(昭和48-51)頃	宙吹き・サンドブラスト	
佐藤潤四郎	瓶・ガラスの神様		宙吹き・グラヴェール、プランツ	
佐藤潤四郎	花器・アダムとイヴ		宙吹き・サンドブラスト	
佐藤潤四郎	花器・仏足跡ロータス		宙吹き・サンドブラスト	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	鍛鉄吹込花器・灯もつけて	1986(昭和61)	鍛鉄吹込	
佐藤潤四郎	花器・ガラスを吹く人	1986(昭和61)	宙吹き・グラヴェール、プランツ	
佐藤潤四郎	オブジェ・鯨石	1972(昭和47)頃	宙吹き	
佐藤潤四郎	オブジェ・鯨石	1972(昭和47)頃	宙吹き・カレット封入	
佐藤潤四郎	スタンドグラス・仏足跡		ガラス・鉄	
佐藤潤四郎	陶器で仏足跡1		陶器	寄託作品

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
●1階				
細川宗英	装飾古墳シリーズ9	1963(昭和38)	セメント	細川明子氏寄贈
笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント	
アントニー・ゴームリー	量子雲XXIII	2000	ステンレス・スチール棒	
アントニー・ゴームリー	領域XIII	2000	ステンレス・スチール棒	
●2階展示 ロビー				
佐藤潤四郎	陶器で仏足跡2／石で仏足跡		陶器／石	寄託作品
北村四海	井冰鹿の娘	1917(大正6)	大理石	
柳原義達	女の首	1958(昭和33)	ブロンズ	
佐藤忠良	群馬の人	1952(昭和27)	ブロンズ	
アリストイード・マイヨール	もの思い	1930	ブロンズ	大高善二郎氏寄贈
●前庭				
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ	

2) 企画展

ロベール・ドアノー写真展 ～パリ・アルプス・幸せな時間～

会 期：平成26年4月19日(土)～6月15日(日)
主 催：郡山市立美術館
後 援：在日フランス大使館、アンステイチュ・フランセ日本
協 力：アトリエ・ロベール・ドアノー、清里 フォトアートミュー
ジウム、エールフランス航空
協 力：日本航空
観 覧 料：一般800(640)円 高校・大学生500(400)円
()内は20名以上の団体料金

趣 旨

フランス人写真家ロベール・ドアノー（1912～1994）の主要作品による個展を開催した。

ドアノーは、生来の自由な精神と「イメージの釣り人」とも評される類まれな洞察力で、日常のドラマを撮影し続けた。人々の生活や自然との関わりに大いなる喜びと好奇心を見出すドアノーの写真は、写真史上に大きな足跡を残し、世界中の人々に愛され続けている。

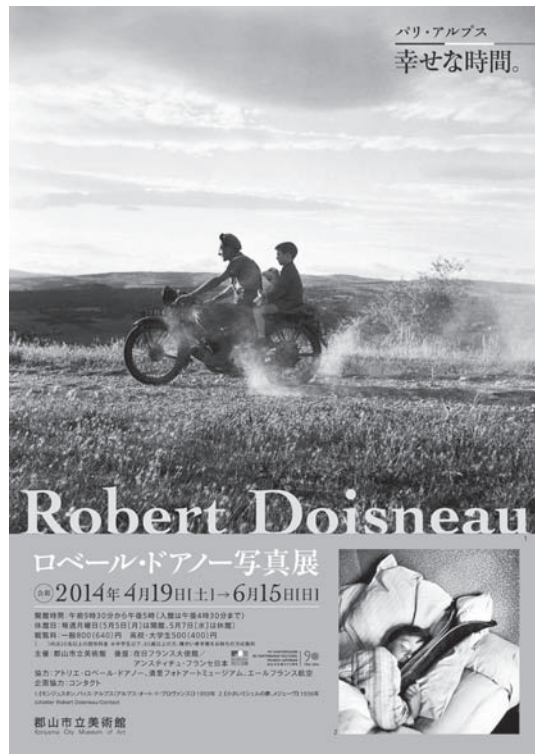
本展はアトリエ・ロベール・ドアノーおよび清里フォトアートミュージアムの協力を得て、パリをとらえた作品をはじめ、アルプスを舞台にした代表作約 150 点によって構成された。

関連行事

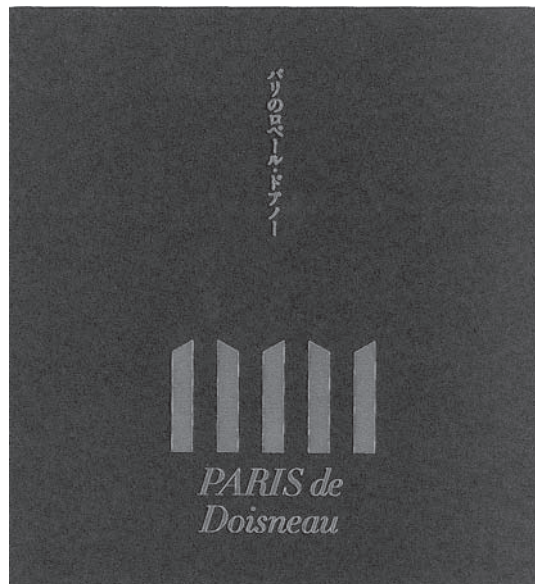
- 講演会
「ロベール・ドアノーの世界」
講師：堀江敏幸氏(作家、仏文学者)
日時：平成26年6月8日(日) 午後2時から
場所：多目的スタジオ
- ギャラリートーク
講師：杉原聡、永山多貴子(当館学芸員)
日時：平成26年5月10日(土)、6月14日(土) 午後2時から
場所：企画展示室
- 美術講座
「ロベール・ドアノーとその時代」
講師：永山多貴子(当館学芸員)
日時：平成26年5月18日(日) 午後2時から
場所：講義室
- ミュージアムシアター
「サウンド・オブ・ミュージック」
日時：平成26年5月5日(月・祝) 午後1時から
場所：多目的スタジオ

発行物

『パリのロベール・ドアノー アルプスのロベール・ドアノー』
(リーフレット)
160×160mm 20ページ
(作品図版22点)
編集：佐藤正子(株式会社コンタクト)
デザイン：おおうちおさむ



ポスター



リーフレット

発行：株式会社コンタクト
印刷製本：オノウエ印刷株式会社

関連記事

- 「郡山市立美術館 ロベール・ドアノー展」(永山多貴子)『福島民友新聞』平成26年5月2日付。
- 「パリ、アルプス 日常の幸せ」『福島民報』平成26年4月5日付。
- 「パリの日常切りとる 写真家・ドアノー展」『福島民報』平成26年4月20日付。

出品目録

NO. タイトル	技法
1 ローライフレックスを持つセルフポートレイト	ゼラチン・シルバー・プリント
2 「小さいミシェル」の夢、メジェーヴ、1936年	ゼラチン・シルバー・プリント
3 ミシェル・スラーヂュとピエレット・ド・アノー、メジェーヴ、1936年	ゼラチン・シルバー・プリント
4 山小屋の部屋、メジェーヴ、1936年	ゼラチン・シルバー・プリント
5 Tバーリフト、メジェーヴ、1936年	ゼラチン・シルバー・プリント
6 スキー教室、メジェーヴ、1936年	ゼラチン・シルバー・プリント
7 滑降、メジェーヴ、1936年	ゼラチン・シルバー・プリント
8 スキー、グローブ、ゴーグル…、メジェーヴ、1936年	ゼラチン・シルバー・プリント
9 斜面のピエレットとミシェル、メジェーヴ、1936年	ゼラチン・シルバー・プリント
10 二人の幸せなスキーヤー、メジェーヴ、1936年	ゼラチン・シルバー・プリント
11 スキーヤーたち、メジェーヴ、1936年	コンタクトシート
12 ロシュブリエンのロープウェイ、メジェーヴ、1936年	コンタクトシート
13 ワックスがけ、チロル、1946年	ゼラチン・シルバー・プリント
14 チロルへ出発、1946年4月	ゼラチン・シルバー・プリント
15 芸術家とチロルの人、チロル、1946年4月	ゼラチン・シルバー・プリント
16 窓辺の子どもたち、チロル、1946年4月	ゼラチン・シルバー・プリント
17 一列縦隊、チロル、1946年4月	ゼラチン・シルバー・プリント
18 カーブのはじまり、チロル、1946年4月	ゼラチン・シルバー・プリント
19 制御不能なデラパージュ、チロル、1946年4月	ゼラチン・シルバー・プリント
20 スキーの授業、チロル、1946年4月、オリジナルのコンタクト・プリント	コンタクトシート
21 ローアングルから見たスキーヤーたち、チロル、1946年4月	ゼラチン・シルバー・プリント
22 屈伸、チロル、1946年4月	ゼラチン・シルバー・プリント
23 Tバーリフト、チロル、1946年4月	ゼラチン・シルバー・プリント
24 フォームの練習、チロル、1946年4月	ゼラチン・シルバー・プリント
25 休憩の後で、チロル、1946年4月	ゼラチン・シルバー・プリント
26 写真のためのポーズ、チロル、1946年4月、オリジナル・コンタクト・シート	コンタクトシート
27 Tバーリフト、チロル、1946年4月、オリジナル・コンタクト・シート	コンタクトシート
28 家族のピクニック、『パリ・マッチ』誌のルポルターージュ<フランス人のヴァカンス>より、シャモニー、1959年8月	ゼラチン・シルバー・プリント
29 フレジュールのハイカー二人、『パリ・マッチ』誌のルポルターージュ<フランス人のヴァカンス>より、シャモニー、1959年8月	ゼラチン・シルバー・プリント
30 メール・ド・グラス氷河、『パリ・マッチ』誌のルポルターージュ<フランス人のヴァカンス>より、シャモニー、1959年8月	ゼラチン・シルバー・プリント
31 シムカ・アロンド54の広告のための写真、イゾアール峠(オート・アルプス)、1953年	ゼラチン・シルバー・プリント
32 シムカ・アロンド54の広告のための写真、イゾアール峠(オート・アルプス)、1953年	ゼラチン・シルバー・プリント
33 シムカ・アロンド58の広告のための写真、運転中のモリス・バケ、シャモニー、1957年	インクジェットプリント
34 『ヴォーグ』誌のためのスキースタイルのファッション写真、木製スキーの製作工場で、1950年	ゼラチン・シルバー・プリント
35 『ヴォーグ』誌のためのスキースタイルのファッション写真、木製スキーの製作工場で、1950年	ゼラチン・シルバー・プリント
36 『ヴォーグ』誌のためのスキースタイルのファッション写真、木製スキーの製作工場で、1950年	ゼラチン・シルバー・プリント
37 松明を取り巻く輪、ラフレール、1957年冬	ゼラチン・シルバー・プリント
38 ホテル・ユンブロ、ラフレール、1957年冬	ゼラチン・シルバー・プリント
39 シャルル・フィゴン、ラフレール、1956年冬	ゼラチン・シルバー・プリント
40 雪男に扮したジョルジュ・ジョアネ、ラフレール、1957年冬	ゼラチン・シルバー・プリント
41 松明を取り巻く輪、ラフレール、1957年冬、オリジナル・コンタクト・シート	コンタクトシート
42 フィゴン氏と子どもたち、ラフレール、1957年冬、オリジナル・コンタクト・シート	コンタクトシート
43 ペテイシェ湖のアシにできた霧氷、サン・テオフィール、ラフレール、1957年冬、オリジナル・コンタクト・シート	コンタクトシート
44 ヴァカンス中の子どもたち、ラフレール、1957年冬、オリジナル・コンタクト・シート	コンタクトシート
45 競争、ラフレール、1956年冬	ゼラチン・シルバー・プリント
46 スキー、ラフレール、1957年冬	ゼラチン・シルバー・プリント
47 雪の風景、ラフレール、撮影年不明	コンタクトシート
48 ラフレールの原、ラフレール、1957年冬	コンタクトシート
49 ラフレールの原にあるナポレオン1世の騎馬像、1960年冬	ゼラチン・シルバー・プリント
50 フィゴン氏の帽子、ラフレール、1960年冬	コンタクトシート
51 コート掛けによるコンポジション、ラフレール、1960年冬	コンタクトシート
52 小さな小間物屋、ラフレール、1962年冬	ゼラチン・シルバー・プリント

53	マドモワゼル・ギャグニエールと彼女の小間物屋、ラフレール、1961年冬	ゼラチン・シルバー・プリント
54	除雪車、ラフレール、1962年冬	ゼラチン・シルバー・プリント
55	ラフレールとグラン・セール、1952年冬	ゼラチン・シルバー・プリント
56	雪上バイク、ラフレール、1964年冬。1965年のドアノーマのクリスマスカードに使用された写真	ゼラチン・シルバー・プリント
57	道、ラフレール、1957年冬	ゼラチン・シルバー・プリント
58	「砂丘」にて、ラフレール、1956年冬	ゼラチン・シルバー・プリント
59	ホテル・ユンプロのピエレットとロバールドアノー、ラフレール、1964年冬 撮影高田美	ゼラチン・シルバー・プリント
60	コンサート観客の到着、シャモニー、1957年 白い背景に複製した人物像を貼り付けていった	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴァインテージ 18×24)
70	シリーズを、1981年に出版された写真集『チェロと暗箱のためのバラード』で「モーリス・バケと音楽好きのスキーマー」というタイトルで発表した。	
71	氷河の上のコンサート、シャモニー、1957年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴァインテージ 18×24)
72	モーリス・バケ、バランスへの挑戦、シャモニー、1957年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴァインテージ 18×24)
73	モーリス・バケ、キノコ岩の上で、シャモニー、1957年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴァインテージ 18×24)
74	モーリス・バケ、勝ちほこった登山、シャモニー、1957年6月	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴァインテージ 18×24)
75	モーリス・バケ、メールド・グラス氷河のための独奏、シャモニー、1957年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴァインテージ 18×24)
76	モーリス・バケ、「チェロは2つの翼を得る」、シャモニー、1957年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴァインテージ 18×24)
77	モーリス・バケ、「氷河の胸」、フォトモンタージュ、1967年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴァインテージ 18×24)
78	ピエレットとミシェル、メジェーヴ、1936年、『ルギヤール』誌130号、1948年1月、1947年にサン・ヴェラン(オート・アルプス)で撮影されたルポルタージュ特集紹介のために、雑誌が表紙に選んだ写真は12年前に<オート・サヴォワ>で撮影された写真だった!	雑誌資料
79	ベルヴィルからチロルへ、『ルギヤール』誌38号、1946年4月26日、観光と労働協会によって組織された若い労働者のための観光滞在ルポルタージュ	雑誌資料
80	フィゴン氏と子どもたち、『クレール・フォワイエ』(1956年2月号)表紙、ドアノーがラフレールで撮影した写真を複製したもの	雑誌資料
81	『ヴォーグ』誌のスキー・ファッション特集号、1951年12月号、この表紙はドアノーの写真の複製したものだが、プリントは発見されていない。	雑誌資料
82	1958年のシムカ・アロンドの折込広告	資料
83	1963年のクリスマス・カード、ラフレールで撮影	クリスマスカード
84	1961年のクリスマス・カード、ラフレールで撮影	クリスマスカード
85	モーリス・バケとロバールドアノー共著、『チェロと暗箱のためのバラード』、パリ、エルシェール社刊、1981年	書籍
86	夜明け、あるいは星々の黄昏!1947年、サン・ヴェランのラボでレタッチされた写真、当初、夜明けの写真を取るために、暗い効果を出すため露出オーバーで空を撮影した。現像液と定着液に浸し乾燥させてから、針を使って空に穴を開けた。	ゼラチン・シルバー・プリント
87	村の通り、サン・ヴェラン、1947年	ゼラチン・シルバー・プリント
88	選択、サン・ヴェラン、1947年	ゼラチン・シルバー・プリント
89	往診、サン・ヴェラン、1947年	ゼラチン・シルバー・プリント
90	散歩、サン・ヴェラン、1947年	ゼラチン・シルバー・プリント
91	泉のスキーマー、サン・ヴェラン、1947年	ゼラチン・シルバー・プリント
92	子ヤギの瀉血、サン・ヴェラン、1947年	ゼラチン・シルバー・プリント
93	パンの焼き上がり、サン・ヴェラン、1947年	ゼラチン・シルバー・プリント
94	靴の修理屋、サン・ヴェラン、1947年	ゼラチン・シルバー・プリント
95	夜の集い、サン・ヴェラン、1947年	ゼラチン・シルバー・プリント
96	夜食の時間、サン・ヴェラン、1947年	ゼラチン・シルバー・プリント
97	農家の家族と動物たちとの共同生活、サン・ヴェラン、1947年	ゼラチン・シルバー・プリント
98	牛乳の計量、サン・ヴェラン、1947年	ゼラチン・シルバー・プリント
99	税関吏、サン・ヴェラン、1947年	ゼラチン・シルバー・プリント
100	馬具製造人、サン・ヴェラン、1947年	ゼラチン・シルバー・プリント
101	主任司祭、サン・ヴェラン、1947年	ゼラチン・シルバー・プリント
102	乳製品製造業者、サン・ヴェラン、1947年	ゼラチン・シルバー・プリント
103	教室の先生と小間物屋、サン・ヴェラン、1947年	ゼラチン・シルバー・プリント
104	羊の群れの中に迷い込んだシムカ・マルリー、移牧、1958年	ゼラチン・シルバー・プリント
105	橋を渡る羊の群れ、移牧、1958年	ゼラチン・シルバー・プリント
106	雄ラバの鞍に詰まれる生まれたばかりの子羊、移牧、1958年	ゼラチン・シルバー・プリント
107	母親に返される子羊、移牧、1958年	ゼラチン・シルバー・プリント
108	道中の障害、移牧、1958年	ゼラチン・シルバー・プリント
109	野営、移牧、1958年	ゼラチン・シルバー・プリント
110	バルジュモン(ヴァール)の通過、1958年	ゼラチン・シルバー・プリント
111	お弁当、移牧、1958年	ゼラチン・シルバー・プリント

112	羊の群れを率いるジャック・ロビオン、移牧、1958年	ゼラチン・シルバー・プリント
113	バルジュモン(ヴァール)からの出発、1958年	ゼラチン・シルバー・プリント
114	斜面、移牧、1958年	ゼラチン・シルバー・プリント
115	オートバイの上の三人、モンジュスタン、バス・アルプス(アルプス・ド・オート・プロヴァンス)、1959年	ゼラチン・シルバー・プリント
116	花嫁のリボン、1951年	ゼラチン・シルバー・プリント
117	カップル、ラベ岸、1951年 (ラベ岸通りの夫婦)	ゼラチン・シルバー・プリント
118	ギャラリー・ロミの画廊、セーヌ通り、1948年 (セーヌ通りのロミ画廊)	ゼラチン・シルバー・プリント
119	芸術橋の上のフォックス・テリア、1953年 (ボン・デ・ザールのフォックス・テリア)	ゼラチン・シルバー・プリント
120	ジャン・ティンゲリー、芸術家の肖像、1959年 (ティンゲリー)	ゼラチン・シルバー・プリント
121	エペール広場の子どもたち、1957年	ゼラチン・シルバー・プリント
122	チェスをするサヴィニャック、1950年	ゼラチン・シルバー・プリント
123	ピカソのパン、1952年	ゼラチン・シルバー・プリント
124	ル・コルビジエ、1944年	ゼラチン・シルバー・プリント
125	かがんで口づけ、1950年 (隠れキス)	ゼラチン・シルバー・プリント
126	アトリエのアルベルト・ジャコメッティ、1957年 (アルベルト・ジャコメッティ)	ゼラチン・シルバー・プリント
127	ジャン・アルブ、1958年	ゼラチン・シルバー・プリント
128	カフェ「ノワール・エ・ブラン(黒と白)」、ジョヴァンヴィル・ル・ボン、1948年 (カフェ「黒と白」)	ゼラチン・シルバー・プリント
129	ニコル・クールセル、1949年	ゼラチン・シルバー・プリント
130	ハレ氏の回転木馬、1955年	ゼラチン・シルバー・プリント
131	ノリ市庁舎前のキス、1950年	ゼラチン・シルバー・プリント
132	ジョルジュ・ブラック、1953年	ゼラチン・シルバー・プリント
133	新郎新婦の逃亡、1951年 (新婚夫婦の脱走)	ゼラチン・シルバー・プリント
134	厳正な親密さ、モンルージュ、1945年 (内輪の結婚式)	ゼラチン・シルバー・プリント
135	牛乳を買いに行く子どもたち、1932年 (ミルクを買いに行く子どもたち)	ゼラチン・シルバー・プリント
136	自分の作品に囲まれたフェルナン・レジェ、1954年 (アトリエのフェルナン・レジェ)	ゼラチン・シルバー・プリント
137	デュビュッフェのバレット、1951年	ゼラチン・シルバー・プリント
138	ジャック・タチの自転車、1949年 (タチの自転車)	ゼラチン・シルバー・プリント
139	炭拾いをする子ら、1945年 (石炭拾い)	ゼラチン・シルバー・プリント
140	「オー・ボン・コワン」、1945年	ゼラチン・シルバー・プリント
141	ノリ祭のラスト・ワルツ、1949年 (ラスト・ワルツ)	ゼラチン・シルバー・プリント
142	ポロネグを持つ恋人たち、1950年 (葱と恋人たち)	ゼラチン・シルバー・プリント
143	シャベル通りの犬、1953年	ゼラチン・シルバー・プリント
144	学校の情報、1956年 (情報集め)	ゼラチン・シルバー・プリント
145	兄弟、ドクトゥール・ルセーヌ通り、1934年 (兄弟)	ゼラチン・シルバー・プリント
146	初めての先生、1955年	ゼラチン・シルバー・プリント
147	ローラー・スケートを履いた子どもたち、1949年	ゼラチン・シルバー・プリント
148	蝶々エリの子ども、1945年 (飛び回る子ども)	ゼラチン・シルバー・プリント
149	ポブラ砦、1934年 [ラ・ポテルヌ・デ・アブリエ通り]	ゼラチン・シルバー・プリント
150	逆立ち、1934年	ゼラチン・シルバー・プリント
151	1、ボーリングのピン、アネットとフランシーヌ	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴァインテージ)
152	2匹の子猫	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴァインテージ)
153	3羽のアヒルの子	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴァインテージ)
154	4羽のウサギ	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴァインテージ)
155	5疋のカタツムリ	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴァインテージ)
156	6艘の小船、アネットとフランシーヌ	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴァインテージ)
157	アクロバットを演じる7人の子どもたち	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴァインテージ)
158	プティエの教会前のフランシーヌと8個の風船	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴァインテージ)
159	エッフェル塔の前の9人の水夫	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴァインテージ)
160	10本の指とボール	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴァインテージ)
161	アネットのお誕生日のローソク、5月31日	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴァインテージ)
162	草むらの復活祭の12個の卵	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴァインテージ)
163	「1,2,3,4,5」糞	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴァインテージ)
164	「1,2,3,4,5」糞	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴァインテージ)

郡山市制施行90周年・合併50年記念事業

キュー王立植物園所蔵

イングリッシュ・ガーデン 英国に集う花々

会 期：平成26年6月28日(土)～8月24日(日)
 主 催：郡山市立美術館
 後 援：プリティッシュ・カウンシル
 協 力：日本航空
 企画協力：株式会社ブレントラスト
 観 覧 料：一般1,000(800)円 高校・大学生500(400)円
 ()内は20名以上の団体料金

趣 旨

イングリッシュ・ガーデンは、18世紀以来盛んになった海洋貿易に支えられ、豊かな発展をとうげた。英国にもたらされた世界各地の植物たちが庭をさまざまに彩り、人々の観賞熱が高まると、観察に基づく精緻さと芸術性が融合した植物画がさかんに描かれるようになった。本展では、世界屈指の植物園で世界遺産に登録されているキュー王立植物園所蔵の貴重な植物画や標本をはじめ、自然や植物をイメージの源泉とする優れた工芸品を出品した。

また、会期中の8月12日～24日には、一般からガーデン写真を募集し展示室前ギャラリーに展示した(32点)。

関連行事

○講演会

「キュー王立植物園と植物画の歴史」
 講師：大場秀章氏(理学博士・東京大学名誉教授)
 日時：平成26年8月17日(日) 午後2時から
 場所：多目的スタジオ

○ギャラリートーク

講師：富岡進一、永山多貴子(当館学芸員)
 日時：平成26年7月12日(土)、8月16日(土) 午後2時から
 場所：企画展示室

○美術講座

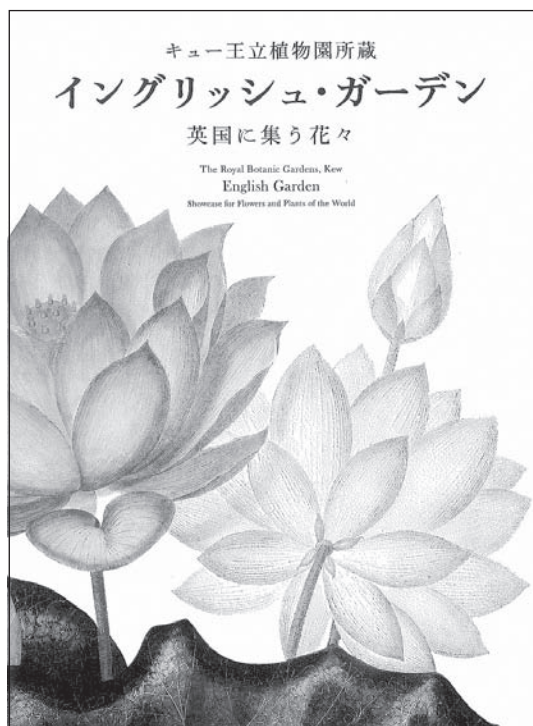
「イングリッシュ・ガーデンに魅せられた人々」
 講師：永山多貴子(当館学芸員)
 日時：平成26年8月23日(日) 午後2時から
 場所：講義室

○ミュージアムシアター

- ・「ラヴェンダーの咲く庭で」
 日時：平成26年7月6日(日) 午後2時から
 場所：多目的スタジオ
- ・「秘密の花園」
 日時：平成26年7月20日(日) 午後2時から
 場所：多目的スタジオ
- ・「英国式庭園殺人事件」
 日時：平成26年8月24日(日) 午後2時から
 場所：多目的スタジオ



ポスター



カタログ

発行物

『キュー王立植物園所蔵 イングリッシュ・ガーデン 英国に集う花々』カタログ
 255×185mm 160ページ(カラー作品図版155点)

著：

スチュアート・デュラント(建築・デザイン史家)
 クリストファー・ミルズ(キュー王立植物園 ライブラリー・アンド・アーカイヴ部門長)
 大場秀章(東京大学名誉教授)
 学術監修:大場秀章
 編集:株式会社ブレントラスト、株式会社求龍堂
 発行:イングリッシュ・ガーデン出版委員会
 製作:茂木光治(求龍堂)
 デザイン:近藤正之(求龍堂)
 印刷・製本:株式会社東京印書館

内容:

「キュー王立植物園の美術コレクション」クリストファー・ミルズ
 「イントロダクション」スチュアート・デュラント
 「キューが先導した多様性を知る楽しみ」大場秀章
 「第1章 植物への夢と憧れ」、「第2章 世界の草花を求めて」、「第3章 花に魅せられたデザイナーたち」、「第4章 エピソード」、図版リスト

関連記事

- 「英国庭園の花 アートで紹介」『福島民報』平成26年6月23日付。
- 「貴重で緻密な植物画 郡山市立美術館で企画展」『福島民友新聞』平成26年6月29日付。
- 「郡山市立美術館 企画展始まる」『福島民報』平成26年6月30日付。
- 「キュー王立植物園所蔵 イングリッシュ・ガーデン 英国に集う花々【上】」(永山多貴子)『福島民友新聞』平成26年7月4日付。
- 「キュー王立植物園所蔵 イングリッシュ・ガーデン 英国に集う花々【下】」(富岡進一)『福島民友新聞』平成26年7月11日付。
- 「市立美術館 英国の庭企画展 入場者1万人達成」『福島民友新聞』平成26年8月15日付。
- 「イングリッシュ・ガーデン展 1万人目に小野君ら」『福島民報』平成26年8月17日付。
- 「企画展で講演会 英国植物園の歴史学ぶ」『福島民友新聞』平成26年8月19日付。
- 「ハーブの魅力を紹介」『福島民報』平成26年8月19日付。



ガーデン写真大募集
 展示期間：8月12日～24日
 会場：企画展示室前ギャラリー

出品目録

NO.	作家名	作品名	制作年	技法、素材	サイズ(cm)	所蔵
第1章 植物への夢と憧れ						
1-1 植物画の夜明け						
1	作者不詳 / バシリウス・ベスラーの委託による	オオカンユリ(ユリ科) (『アイヒシュテット庭園植物誌』より)	1613	エングレーヴィング	55.5×46.1×6.0(書籍)	キュー王立植物園
2	作者不詳 / バシリウス・ベスラーの委託による	ヒマワリ(キク科) (『アイヒシュテット庭園植物誌』より)	1613	エングレーヴィング	56.0×47.0×6.1(書籍)	キュー王立植物園
3	作者不詳 / バシリウス・ベスラーの委託による	カーネーション(ナデシコ科)、3つの栽培品種、I 八重咲きの白色花II 八重咲き弁片細裂の濃赤色花III 八重咲きで紅紫色花 (『アイヒシュテット庭園植物誌』より)	18世紀頃	銅版手彩色	55.5×44.6	キュー王立植物園
4	作者不詳 / バシリウス・ベスラーの委託による	I 白色八重咲きの花をもつバラ属の一種(バラ科):II コミヤマカタバミ(カタバミ科):III カタバミ(カタバミ科) (『アイヒシュテット庭園植物誌』より)	18世紀頃	銅版手彩色	52.9×43.9	キュー王立植物園
5	シモン・ピーターズ・ヴェルレスト	チャボリンドウ(リンドウ科)	17世紀後半	水彩、ヴェラム	16.5×14.5	キュー王立植物園
6	シモン・ピーターズ・ヴェルレスト	チューリップ(ユリ科)	17世紀後半	水彩、ヴェラム	19.5×21.5	キュー王立植物園
7	マリア・シビラ・メリアン	サクラソウ類(サクラソウ科)	1670年代頃	水彩、ヴェラム	34.0×26.5	キュー王立植物園
8	セバスチャン・シューデル	ラッパズイセン(ヒガンバナ科) (『カレンダリウム』より)	17世紀初頭	水彩、紙	16.5×10.0	キュー王立植物園
9	セバスチャン・シューデル	サンシキスミレ(スミレ科)、ヒアシンズ(キジカクシ科)、ソラマメ(マメ科)、アラセイトウの一種(アブラナ科)、他 (『カレンダリウム』より)	17世紀初頭	水彩、紙	17.9×15.0	キュー王立植物園
10	セバスチャン・シューデル	マルタゴン・リリー(ユリ科)とクロアザミ(キク科)、他 (『カレンダリウム』より)	17世紀初頭	水彩、紙	18.2×15.0	キュー王立植物園
11	セバスチャン・シューデル	キンギョウソウの一種(オオバコ科)、ホタルブクロの一種(キキョウ科)、フウロソウの一種(フウロソウ科)、他 (『カレンダリウム』より)	17世紀初頭	水彩、紙	15.3×11.3	キュー王立植物園
12	作者不詳	重弁のアネモネ(キンポウゲ科)	17世紀	水彩、紙	24.0×19.0	キュー王立植物園
13	作者不詳	チューリップ(ユリ科)と重弁のアネモネ(キンポウゲ科)	17世紀	水彩、紙	21.5×33.0	キュー王立植物園
14	作者不詳	ザクロ(ミソハギ科)	17世紀頃	水彩、ヴェラム	35.1×24.4	キュー王立植物園
1-2 18世紀の植物画家たち						
15	ゲオルク・ディオニシウス・エーレット	チューリップ「バケットリゴ-オプチムス」(ユリ科)	1740	水彩、アラビアガム、ヴェラム	48.2×30.7	キュー王立植物園
16	ゲオルク・ディオニシウス・エーレット	イリス・ブルボサ(アヤメ科)	1757	グアッシュ、ヴェラム	49.5×35.0	キュー王立植物園
17	ゲオルク・ディオニシウス・エーレット	グラウキウム・フラウム(ケシ科)	1764	水彩、ヴェラム	25.5×17.3	キュー王立植物園
18	ゲオルク・ディオニシウス・エーレット	キツネノテブクロ、別名ジギタリス(オオバコ科)	18世紀中頃	グアッシュ、ヴェラム	47.2×33.7	キュー王立植物園
19	フランツ・アンドレアス・パウアー	ゴクラクチョウカの一種(ゴクラクチョウカ科)	1818	石版手彩色、紙	55.5×41.0	キュー王立植物園
20	フェルディナント・ルース・ノヴァー	フレンチラベンダー(シソ科)	18世紀後半	銅版手彩色	47.7×31.7	キュー王立植物園
21	シデナム・ティースト・エドワーズ	ホザキアヤメの一種(アヤメ科)	1807	水彩、紙	22.3×18.4	キュー王立植物園
22	シデナム・ティースト・エドワーズ	ボタン(ボタン科)	1809	水彩、紙	23.3×29.8	キュー王立植物園
23	シデナム・ティースト・エドワーズ	ブルンスウィギア・ファルカタ(ヒガンバナ科)	1812	水彩、紙	25.5×32.0	キュー王立植物園
24	シデナム・ティースト・エドワーズ	ペオニア・ダウリカ(ボタン科)	1812	水彩、紙	22.7×18.5	キュー王立植物園
25	マーガレット・ミーネ	トラデスカンティア・スパタケア、スパイダーウオート(ツユクサ科)	1780頃	水彩、ヴェラム	54.4×38.5	キュー王立植物園
26	マーガレット・ミーネ	オウシュウグリ(ブナ科)	1783	水彩、ヴェラム	35.4×24.7	キュー王立植物園
27	マーガレット・ミーネ	ダリア属(キク科)	1790頃	水彩、ヴェラム	41.0×33.5	キュー王立植物園
28	ジャン・ガブリエル・プレートル	タイサンボク(モクレン科)	1800頃	水彩、紙	36.0×28.0	キュー王立植物園
29	ジャン・ガブリエル・プレートル	ピワ(バラ科)の果実の横断面	1822	水彩、紙	35.0×25.3	キュー王立植物園
30	カンパニースクール	ピロウの一種、リグリスナ・マウリティアナ(ヤシ科)	18世紀後半	水彩、紙	58.7×54.6	キュー王立植物園
31	カンパニースクール	ケシの一種、ハバウエル・ブラクテアトゥム(ケシ科)	18世紀後半	水彩、紙	56.0×39.6	キュー王立植物園
32	カンパニースクール	バラの一種(バラ科)	1800頃	水彩、紙	45.0×28.5	キュー王立植物園
33	ラムゼイ・リチャード・ライナグル、エイブラハム・ベザー	セレニケレウス・グランディフロルス、園芸名 大輪柱(サボテン科) (R. J. ソーントン編『フローラの神殿』より)	1800	銅版、紙	53.0×43.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
34	ピーター・ヘンダーソン	ニワシロユリ (R. J. ソーントン編『フローラの神殿』より)	1800	銅版、紙	54.0×43.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
35	ピーター・ヘンダーソン	ゲットウ (R. J. ソーントン編『フローラの神殿』より)	1801	銅版、紙	52.0×40.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ

NO.	作家名	作品名	制作年	技法、素材	サイズ(cm)	所蔵
36	ピーター・ヘンダーソン	カタクリモドキ(サクラソウ科) (R. J. ソーントン編『フローラの襪』より)	1801	銅版、紙	54.0×41.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
37	シデナム・ティースト・エドワーズ	ヒヤシンス(キジカクシ科) (R. J. ソーントン編『フローラの襪』より)	1801	銅版、紙	54.0×45.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
38	ピーター・ヘンダーソン	ロドデンドロン・ボンテイクム(ツツジ科) (R. J. ソーントン編『フローラの神殿』より)	1802	銅版、紙	52.5×41.5	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
39	ピーター・ヘンダーソン	オオミノトケイソウ(トケイソウ科) (R. J. ソーントン編『フローラの神殿』より)	1802	銅版、紙	58.0×42.5	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
40	ピーター・ヘンダーソン	カーネーション類(ナデシコ科) (R. J. ソーントン編『フローラの襪』より)	1803	銅版、紙	55.0×40.5	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
41	ピーター・ヘンダーソン	ハスとキバナハス(ハス科) (R. J. ソーントン編『フローラの襪』より)	1804	銅版、紙	54.0×44.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ

第2章 世界の草花を求めて

2-1 発見の旅

42	ジェームズ・ギルロイ	ジョセフ・バンクス脚、いも虫から生まれたばかりのチョウに擬して描かれている	1795	エッチング、紙	35.5×26.2	キュー王立植物園
43	ニコロ・シヤボネッティ	ジョセフ・バンクスの肖像	1812	ラインエングレーヴィング、紙	46.6×39.0	キュー王立植物園
44	アレクサ・ヒストリカル・エディンズ	バンクシア・セラタ(ヤマモガシ科) (『バンクス植物図譜』より)	1985頃	ラインエングレーヴィング、紙	71.2×56.0	キュー王立植物園
45	アレクサ・ヒストリカル・エディンズ	オオハマボウ亜種 ハスタウス(アオイ科) (『バンクス植物図譜』より)	1985頃	ラインエングレーヴィング、紙	71.2×56.0	キュー王立植物園
46	エラズマス・ダーウィン	『植物の園』	1791-1794	書籍	23.0×28.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
47	ウエッジウッド社	陶器皿:スイレン(ダーウィン・サービスから)	1808-1811	陶	25.0(直径)	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
48	チャールズ・ロバート・ダーウィン	ガヴィエア・パタゴニカ(ラン科)	1860年代頃	黒鉛、紙	15.2×11.0	キュー王立植物園
49	チャールズ・ロバート・ダーウィン	『種の起源』(第6版)	1886頃	書籍	20.4×13.2	キュー王立植物園
50	チャールズ・ロバート・ダーウィン	書簡(ダーウィンからジョセフ・フッカー宛)	1879年10月7日	書簡	12.6×20.3	キュー王立植物園
51	アルフレッド・ラッセル・ウォレス	書簡(アルフレッド・ラッセル・ウォレスからウィリアム・ターナー・ティスルトン=ダイアー宛、種の依頼)	1892年7月7日	書簡	22.7×17.2	キュー王立植物園
52	ジョアンナ・ラングホーン	〈ダーウィンの土手〉のためのコラージュ	2004	コラージュ	37.0×57.0	ジョアンナ・ラングホーン
53	ジョアンナ・ラングホーン	ダーウィンの土手	2004-2014	水彩、グアッシュ、鉛筆、ペント紙	37.0×56.5	ジョアンナ・ラングホーン
54	ウィリアム・ウォーカー	ヒマラヤのシヤクナゲ林中のジョセフ・フッカー博士	1854	メグゼイント、紙	70.4×57.7	キュー王立植物園
55	ジョセフ・ダルトン・フッカー、ウォルター・フッド・フィッチ	ジョセフ・フッカーのヒマラヤ・ノート、44丁のスケッチ。チョゲルマ峠ならびに透から	1848(フッカー) / 1850頃 (フィッチ)	黒鉛、紙(フッカー) / 水彩、紙(フィッチ)	64.1×49.2 (台紙)	キュー王立植物園
56	ジョセフ・ダルトン・フッカー、ウォルター・フッド・フィッチ	ジョセフ・フッカーのヒマラヤ・ノート、44丁のスケッチ	1848(フッカー) / 1850頃 (フィッチ)	黒鉛、紙(フッカー) / 水彩、紙(フィッチ)	64.1×49.2 (台紙)	キュー王立植物園
57	ジョセフ・ダルトン・フッカー、ウォルター・フッド・フィッチ	ジョセフ・フッカーのヒマラヤ・ノート 76丁からスケッチならびに印刷図	1848(フッカー) / 不詳(フィッチ他)	鉛筆、水彩、紙(フッカー) / 版画、紙(フィッチ他)	64.1×49.2 (台紙)	キュー王立植物園
58	アーロン・アロウスマス	世界海図	1811	印刷、紙(画布に貼付)	260.0×155.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
59	ジュリア・マーガレット・キャメロン	チャールズ・ダーウィンの肖像	1868	写真	68.5×60.0	キュー王立植物園

2-2 『カーティス・ボタニカル・マガジン』

60	シデナム・ティースト・エドワーズ	ヨウラクユリ(ユリ科)	1809	黒鉛、水彩、紙/エングレーヴィング、紙	22.5×18.1(140-147) / 22.0×12.0(版画)	キュー王立植物園
61	シデナム・ティースト・エドワーズ	センコウハナビ(ヒガンバナ科)	1818	黒鉛、水彩、紙	22.6×30.5	キュー王立植物園
62	ジョン・カーティス	ツバキ(ツバキ科)	1825	黒鉛、水彩、紙	31.2×24.7	キュー王立植物園
63	ウォルター・フッド・フィッチ	ニンファエア・ルブラ(スイレン科)	1852	黒鉛、水彩、紙	28.8×23.6	キュー王立植物園
64	ウォルター・フッド・フィッチ	ローザ・アマビリス(バラ科)	1852	黒鉛、水彩、紙	23.8×14.6	キュー王立植物園
65	ウォルター・フッド・フィッチ	シンビディウム・フックリアスム(ラン科)	1855	黒鉛、水彩、紙	30.0×25.0	キュー王立植物園
66	マチルダ・スミス	アカバナの一種、エピロビウム・オブコルダトゥム(アカバナ科)	1899	黒鉛、水彩、紙 / 石版、紙	24.8×17.1(140-147) / 25.3×15.7(版画)	キュー王立植物園
67	マチルダ・スミス	トロロアオイ(アオイ科)	1901	黒鉛、水彩、紙	24.8×30.8	キュー王立植物園
68	ウィリアム・カーティス編	『カーティス・ボタニカル・マガジン』1巻	1787	銅版手彩色	24.5×15.5×3.0	キュー王立植物園
69	ウィリアム・ジャクソン・フッカー編	『カーティス・ボタニカル・マガジン』54巻 (ウィリアム・ジャクソン・フッカー編による最初の巻)	1827	銅版手彩色	24.0×15.5×3.0	キュー王立植物園
70	ジョセフ・ダルトン・フッカー編	『カーティス・ボタニカル・マガジン』130巻 (ジョセフ・ダルトン・フッカー編による最終巻)	1904	銅版手彩色	25.5×17.0×3.2	キュー王立植物園

2-3 科学技術と園芸

71	トマス・エレビー	ジョセフ・バンクスの肖像	1843頃	油彩、画布	92.0×71.0	キュー王立植物園
72	ガブリエル・カレルリ	チャッツワースハウスの温室	1847	鉛筆、水彩、紙	41.0×52.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ

NO.	作家名	作品名	制作年	技法、素材	サイズ(cm)	所蔵
73	デシマス・バートン	パームハウスの設計図	1850年代	建築図面	50.7×62.7	キュー王立植物園
74	ジョセフ・ナッシュ	水晶宮の内部 (『1851年第1回ロンドン万国博覧会 図版コレクション』より)	1851	印刷、紙	48.0×63.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
75	ジョセフ・ナッシュ	開幕 (『1851年第1回ロンドン万国博覧会 図版コレクション』より)	1851	印刷、紙	48.0×63.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
76	デイヴィット・ロバーツ	女王陛下を待ちながら (『1851年第1回ロンドン万国博覧会 図版コレクション』より)	1851	印刷、紙	63.0×48.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
77	作者不詳	水晶宮外観 (『1851年第1回ロンドン万国博覧会 図版コレクション』より)	1851	印刷、紙	48.0×63.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
78	ウォルター・フッド・フィッチ	オオオニバス(スレイン科)葉裏面の葉脈	1851	鉛筆、水彩、紙	46.5×36.0	キュー王立植物園
79	ウォルター・フッド・フィッチ	トウツバキ(ツバキ科)	1857	水彩、紙	31.0×24.7	キュー王立植物園
80	ジョセフ・バクストン編	『バクストン植物学雑誌』10巻	1843	雑誌	23.6×17.3×4.0	キュー王立植物園

2-4 19世紀とキュー王立植物園

81	スピリディオネ・ガンバルデラ	ウィリアム・ジャクソン・フッカーの肖像	1843頃	油彩、画布	32.7×27.5	キュー王立植物園
82	ウィリアム・ジャクソン・フッカー	グラディオラスの一種、グラディオルス・プシタキヌス(アヤメ科)	1830	鉛筆、水彩、紙	27.0×23.1	キュー王立植物園
83	ウィリアム・ジャクソン・フッカー	テッポウユリの変種か?(ユリ科)	19世紀初頭	水彩、紙	50.5×38.0	キュー王立植物園
84	ウィリアム・ジャクソン・フッカー	フロックス・ロゼア(ハナシノブ科)	19世紀初頭	水彩、紙	45.4×36.9	キュー王立植物園
85	トマス・ウルナー、ウェッジウッド社	ウィリアム・ジャクソン・フッカー卿(ウェッジウッドのメダリオン)	1866	陶(ジャスパーウェアか)	32.4×27.0(楕円)	キュー王立植物園
86	ジョサイア・ウェッジウッド、トマス・ベントレー	カール・フォン・リンネ(ウェッジウッドのメダリオン)	1777	陶(ジャスパーウェア)	15.0×13.0(楕円)	キュー王立植物園
87	E・クック	ジョセフ・ダルトン・フッカー卿の肖像	1909	油彩、画布	39.5×33.0	キュー王立植物園
88	ジョセフ・ダルトン・フッカー	ロドデンドロン・アルゲンテウム(ツツジ科)	1848頃	黒鉛、水彩、紙	27.0×20.5	キュー王立植物園
89	ジョセフ・ダルトン・フッカー	ロドデンドロン・キンナバリウム(ツツジ科)	1848頃	黒鉛、水彩、紙	29.1×23.1	キュー王立植物園
90	ジョセフ・ダルトン・フッカー	ロドデンドロン・ファルコネリ(ツツジ科)	1848頃	黒鉛、水彩、紙	29.5×23.8	キュー王立植物園
91	ウォルター・フッド・フィッチ	ロドデンドロン・ファルコネリ(ツツジ科)	1856	黒鉛、水彩、紙	28.6×23.2	キュー王立植物園
92	ウォルター・フッド・フィッチ	ロドデンドロン・フックери(ツツジ科)	1856	黒鉛、水彩、紙/石版、紙	25.2×18.4(トローイング)/24.9×15.5(版画)	キュー王立植物園
93	ウォルター・フッド・フィッチ	シコンノボタン(ノボタン科)	1868	黒鉛、水彩、紙	31.3×25.2	キュー王立植物園
94	ウォルター・フッド・フィッチ	クリサンテムム・カタナンケ(キク科)	1874	黒鉛、水彩、紙/石版、紙	24.3×12.8(トローイング)/23.3×12.9(版画)	キュー王立植物園
95	ピエール=ジョセフ・ルドゥーテ	ナラ属(ブナ科)の堅果	1770年代	ペン、インク、網目紙	21.9×26.3	キュー王立植物園
96	ピエール=ジョセフ・ルドゥーテ	ホワイトオーク(ブナ科)	1770年代	ペン、インク、網目紙	33.7×25.1	キュー王立植物園
97	フランソワ・ストルバン	プロメリア・アガウォイデス(バイナツプル科)	19世紀中頃	黒鉛、水彩、紙	70.5×104.0	キュー王立植物園
98	フリッツェ・クロニエ	サクラノウ・オーリキュラ栽培新種群	1839	水彩、鉛筆、ヴェラム	38.0×29.8	キュー王立植物園
99	カンパニースクール	ヒマワリ(キク科)	1800頃	水彩、賽の目紙	43.0×28.0	キュー王立植物園
100	ウォルター・フッド・フィッチ	ロドデンドロン・アルゲンテウム(ツツジ科)		石版、紙	48.2×32.2	キュー王立植物園
101	ウォルター・フッド・フィッチ	ロドデンドロン・ファルコネリ(ツツジ科)		石版、紙	46.5×31.5	キュー王立植物園

2-5 ヴィクトリア時代の女性旅行家 マリアン・ノース

102	マリアン・ノース	河岸に生えるパピルス(カヤツリグサ科)	1870頃	油彩、厚紙	33.3×21.7	キュー王立植物園
103	マリアン・ノース	ロイヤル・パーム・アヴェニュー(リオデジャネイロ、ボタフォゴ植物園)	1872頃	油彩、厚紙	29.1×50.8	キュー王立植物園
104	マリアン・ノース	カナリア諸島テネリフェ島	1875頃	油彩、厚紙	29.1×50.8	キュー王立植物園
105	マリアン・ノース	グレート・バシフィック鉄道の雪崩除け覆道(カリフォルニア)	1875頃	油彩、厚紙	12.9×22.7	キュー王立植物園
106	マリアン・ノース	知恩院の鐘(京都)	1875頃	油彩、厚紙	35.5×25.5	キュー王立植物園
107	マリアン・ノース	クラカタウ火山(ジャワ島)	1876頃	油彩、厚紙	17.6×25.2	キュー王立植物園
108	マリアン・ノース	井戸(セイロン(現在のスリランカ))	1877頃	油彩、厚紙	25.6×25.2	キュー王立植物園
109	マリアン・ノース	キバンジロウ(フトモモ科)	1870頃	油彩、厚紙	16.4×10.4	キュー王立植物園
110	マリアン・ノース	ダーズリンからカンチェンジュンガ山を望む(インド、西ベンガル)	1878	油彩、厚紙	33.5×46.0	キュー王立植物園
111	マリアン・ノース	クック・ニンブラ(オーストラリア、クイーンズランド)	1880	油彩、厚紙	16.4×25.5	キュー王立植物園
112	マリアン・ノース	チリマツ(ナンヨウスギ科)の雄性毬果(松かさ)	1884	油彩、厚紙	35.5×50.9	キュー王立植物園
113	マリアン・ノース	メキシコのピンボンノキ(アオイ科)	1880年代	油彩、厚紙	50.9×35.5	キュー王立植物園
114	マリアン・ノース	英国グロスターシャー州アルダリーにある山荘と庭	1887	油彩、厚紙	24.8×35.3	キュー王立植物園
115	マリアン・ノース	アルダリーの庭園	1887	油彩、厚紙	31.0×50.6	キュー王立植物園
116	マリアン・ノース	山門からの眺め(京都)	1880	油彩、厚紙	17.3×23.7	キュー王立植物園

NO.	作家名	作品名	制作年	技法、素材	サイズ(cm)	所蔵
第3章 花に魅せられたデザイナーたち						
3-1 装飾芸術 自然を暮らしに						
117	オーガスタス・ウェルビー・ノースモア・ビュージン	『花模様の装飾』	1849	多色石版、紙	33.0×27.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
118	オーガスタス・ウェルビー・ノースモア・ビュージン	タイル〈花と花瓶〉(ミントン社製作)	1850頃	陶	20.0×20.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
119	ジョン・ラスキン	『建築の七灯』	1849	印刷、紙	26.0×18.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
120	クリストファー・ドレッサー	オーウェン・ジョーンズ『装飾の文法』より	1856	多色石版、紙	51.0×33.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
121	クリストファー・ドレッサー	『植物学の手引き』	1860	印刷、紙	17.5×10.5	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
122	クリストファー・ドレッサー	タイル〈鳥と花〉(ミントン社製作)	1870頃	陶	20.0×20.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
123	クリストファー・ドレッサー	タイル〈蝶と植物〉	1870頃	陶	20.0×20.0	スチュアート・デュラント
124	クリストファー・ドレッサー	ガーデンチェア(ユリのパターン)	1870頃	鑄鉄、木	90.0×62.0×60.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
125	クリストファー・ドレッサー	『デザイン研究』	1875	多色石版、紙	31.0×42.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
126	ウィリアム・モリス	果物(またはザクロ)	1866	壁紙(木版刷り、紙)	99.0×132.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
127	ウィリアム・モリス	チュウリップ	1875頃	テキスタイル(木版刷り、綿)	92.0×72.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
128	ウィリアム・モリス	タイル〈ロンデン〉、デルフト製素焼地への釉	1875頃	手彩色、陶	15.0×15.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
129	ウィリアム・モリス	タイル(2枚組)、デルフト製素焼地への釉	1875頃	手彩色、陶	25.0×12.5	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
130	ウィリアム・モリス	タイル〈枝〉、下絵装飾	1880頃	手彩色、陶	15.0×15.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
131	ウィリアム・モリス	サマードレス 〈イチゴ・薔薇 柄のテキスタイルによる〉	1883(テキスタイルデザイン)、1920年代(ドレス制作)	木版刷り、綿	110.0(丈)	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
132	ウィリアム・モリス	ガーデン・チュウリップ	1885	壁紙(木版刷り、紙)	85.0×52.0	個人蔵
133	ウィリアム・モリス	黄金の枝	1888頃(デザイン)	テキスタイル(絹、麻)	196.0×166.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
134	モリス商会	暖炉衝立	1900頃	絹、麻、マホガニー	100.0×120.0×19	個人蔵
135	ウィリアム・ド・モーガン	タイル〈BBB〉	1872-1882頃	手彩色、陶	15.0×15.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
136	ウィリアム・ド・モーガン	タイル〈ベッドフォード・パーク・デイジー〉	1872-1882頃	手彩色、陶	15.5×15.5	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
137	ウィリアム・ド・モーガン	タイル	1872-1881頃	手彩色、陶	15.5×15.5	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
138	ウィリアム・ド・モーガン	タイル〈バラ格子〉	1882-1888頃	手彩色、陶	15.5×15.5	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
139	ウィリアム・ド・モーガン	タイル〈ベッドフォード・パーク・アネモネ〉	1882-1888頃	手彩色、陶	15.5×15.5	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
140	ウィリアム・ド・モーガン	タイル〈アマドコロ〉	1882-1888頃	手彩色、陶	15.3×15.3	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
141	ウィリアム・ド・モーガン	タイル	1882-1888頃	手彩色、陶	15.5×15.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
142	ウィリアム・ド・モーガン	タイル〈ベッドフォード・パーク・デイジー〉	1882-1888頃	手彩色、陶	15.5×15.5	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
143	ウィリアム・ド・モーガン	タイル〈カーネーション〉	1888-1898	手彩色、陶	15.5×15.5	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
144	フレデリック・エドワード・ヒューム	『植物のかたち』	1868	印刷、紙	30.0×22.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
145	ウォルター・クレイン	『夏の女王、あるいは百合と薔薇の旅』	1891	多色石版、紙	28.5×21.0	個人蔵
146	ウォルター・クレイン	『花の饗宴』	1895	多色石版、紙	26.0×19.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
147	ケイト・グリーナウェイ	『窓の下で』	1878	多色木口木版、紙	24.0×19.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
148	ケイト・グリーナウェイ、マルズ・バーネット・フォスター	『子ども的一天』	1881	多色木口木版、紙	25.0×22.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
149	ウィリアム・アーサー・スミス・ベンソン	オイルランプ	1895頃	銅、真鍮	87.0×29.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
150	チャールズ・フランシス・アンズリー・ヴァイジー	カーペットのためのデザイン(ガーデンデザイン)	1900頃	水彩、厚紙	79.0×69.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
151	チャールズ・フランシス・アンズリー・ヴァイジー	カーペットのためのデザイン(チュウリップとケシ)	制作年不詳	水彩、厚紙	46.0×30.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
152	ジョン・ヘンリー・ダール	斜紋トレイル	1899頃(デザイン)	テキスタイル(羊毛)	205.0×158.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
153	ジョン・ヘンリー・ダール	セラランダイン	1896	壁紙(木版刷り、紙)	73.0×55.6	個人蔵
154	ジョン・ヘンリー・ダール	花づくし	1912-1914	テキスタイル(羊毛)	137.0×80.0	個人蔵
155	メイ・モリス	スイカズラ	1883	壁紙(木版刷り、紙)	90.0×54.5	個人蔵
156	ウェッジウッド社、トマス・アレン	審美様式のオイルランプ	1880頃	陶、真鍮	33.0×16.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
157	ウェッジウッド社、エリック・ラザリウス	饗宴 セット 〈ガーデン〉シリーズ	1937頃	陶	-	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
158	作者不詳	審美様式の花柄テキスタイル	1890頃	テキスタイル(絹)	48.0×45.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
159	ウィリアム・アーサー・スミス・ベンソン	ベンソンの自宅写真 アルバム	1895頃	写真 アルバム	-	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
3-2 “イングリッシュ・ガーデン”のバイオニア ガートルード・ジーキル						
160	ガートルード・ジーキルによるとされる	ガーデン・ポット	1900頃	テラコッタ	38.0×48.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
161	ジョージ・サミュエル・エルグッド	ヒマワリ	1909	襷形、紙	24.5×17.5	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ
162	ジョージ・サミュエル・エルグッド	ヘレフォード州クレデン・ミル付近の別荘	1913	襷形、紙	26.0×38.0	マイケル&マリコ・ホワイトウェイ

NO.	作家名	作品名	制作年	技法、素材	サイズ(cm)	所蔵
-----	-----	-----	-----	-------	---------	----

第4章 エピローグ

キューにおける 20-21 世紀の植物

163	リュシアン・ピサロ	リッチモンド橋	1935	油彩、画布	47.0×37.0	キュー王立植物園
164	リアン・スネリング	バミアンテ・ベルウィアナ(ヒガンバナ科)	1933	水彩、紙	25.2×35.3	キュー王立植物園
165	ステラ・ロス＝クレイグ	クロクス・スディフォルス(アヤメ科)	1947	水彩、紙	30.2×22.6	キュー王立植物園
166	マーガレット・ミー	ヘリコニア・アデアアナ(オウムバナ科)	1981	水彩、紙	65.8×48.5	キュー王立植物園
167	マリー・グリアソン	ドリアンテス・パルメリ(ドリアンテス科)	1966	水彩、紙	52.5×38.7	キュー王立植物園
168	マーガレット・ストーンズ	シナユリノキ(モクレン科)	1980	水彩、紙	27.8×19.0	キュー王立植物園
169	アン・V. ウェブスター	ヒイラギモチ(モチノキ科)	20世紀中頃	水彩、紙	34.4×24.0	キュー王立植物園
170	バンドラ・セラーズ	ムラサキクンシラン(ムラサキクンシラン科)	1989	水彩、紙	45.5×66.0	キュー王立植物園
171	バンドラ・セラーズ	マツユキソウ(ヒガンバナ科)	2004	水彩、紙	27.5×20.8	キュー王立植物園
172	ジョアンナ・ラングホーン	フリティラリア・ウスリエンス(ユリ科)	2006	水彩、紙	25.5×17.2	キュー王立植物園
173	小林路子	アミガサタケ(アミガサタケ科)	2008頃	水彩、紙	33.1×24.1	キュー王立植物園
174	クリスタベル・キング	イリス・ダンフォルディアエ(アヤメ科)	1990	水彩、紙	27.1×18.6	キュー王立植物園
175	クリスタベル・キング	ムスカリ・アウケリ(キジカクシ科)	2002	水彩、紙	32.2×24.6	キュー王立植物園
176	ルーシー・T. スミス	エンケファラルトス・アツテンスティニイ(ザミア科)	2000頃	水彩、紙	49.0×40.0	キュー王立植物園
177	レイチェル・ペダー＝スミス	マメ科の種子を用いた作画	2004	水彩、紙	56.0×76.0	キュー王立植物園

特別出品

178		バラの一種、ローザ・ヒブリダのおし葉標本	1867	おし葉標本	41.0×25.0	キュー王立植物園
179		バラの栽培種、ローザ・ハイアワサのおし葉標本	1918	おし葉標本	42.0×26.5	キュー王立植物園

絵本原画展 きかんしゃトーマスとなかまたち

会 期：平成26年9月6日(土)～10月26日(日)
 主 催：郡山市立美術館、読売新聞社、福島民友新聞社、福島中央テレビ、美術館連絡協議会
 企画協力：渋谷出版企画
 協 賛：ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜
 協 力：ヒット・エンタテインメント、ソニー・クリエイティブプロダクツ、ポプラ社、小学館
 観 覧 料：一般500(400)円 高校・大学生300(240)円
 ()内は20名以上の団体料金

趣 旨

世界中で愛されている「きかんしゃトーマス」シリーズは、ウィルバート・オードリー牧師の原作を、3組4人の画家によって原画が描き継がれた名作絵本。のちにテレビで人形アニメーション番組が作られ、日本でも広く知られるようになり、現在も人気が高い。その絵本原画 340 点を中心に、テレビシリーズの撮影に使用された機関車のモデル車両なども展示して、「きかんしゃトーマスとなかまたち」の世界を紹介する企画展。

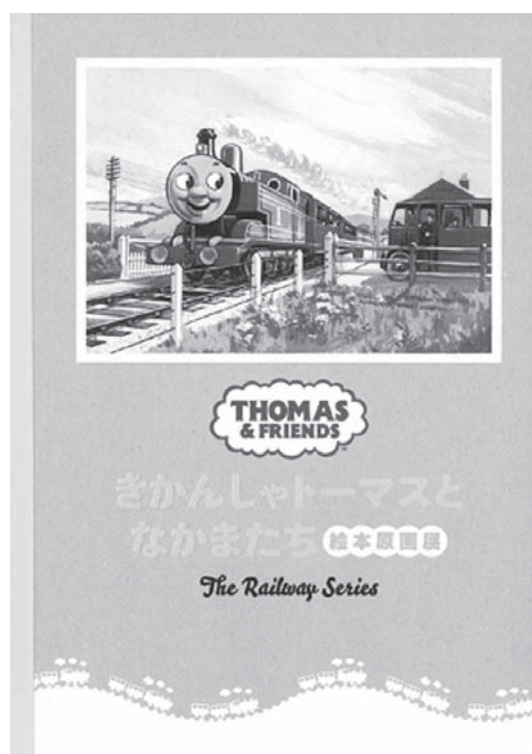
また、郡山市ふれあい科学館では、同時イベントとして「トーマス in ふれあい科学館鉄道ジオラマ」を開催した(9月6日～10月3日)

関連行事

- 朗読会
 出演：菅佐原隆幸氏(福島中央テレビアナウンサー)
 日時：平成26年9月28日(日) 午前11時から・午後2時から
 場所：多目的スタジオ
- ギャラリートーク
 講師：中山恵理・菅野洋人(当館学芸員)
 日時：平成26年9月6日(土)・10月18日(土) 午後2時から
 場所：企画展示室
- 美術講座
 「トーマスとイギリス」
 講師：菅野洋人(当館学芸員)
 日時：平成26年10月4日(土) 午後2時から
 場所：講義室
- 美術講座
 「郡山市立美術館的トーマスの楽しみ方」
 講師：中山恵理(当館学芸員)
 日時：平成26年10月25日(土) 午後2時から
 場所：講義室
- 映画会
 ・「きかんしゃトーマス魔法の線路」
 日時：平成26年9月15日(月・祝) 午後2時から
 場所：多目的スタジオ
 ・「きかんしゃトーマスみんなつまれ!しゅっぱつしんこう」
 日時：平成26年9月23日(火・祝) 午後2時から
 場所：多目的スタジオ
 ・「劇場版トーマスをすくえ!!ミステリーマウンテン」



ポスター



図録

日時:平成26年10月13日(月・祝)午後2時から
場所:多目的スタジオ

発行物

図録

本体:240×175mm 128ページ(図版52点)
カバーファイル:297×220mm、内側ポケット付
監修:ソニー・クリエイティブプロダクツ、渋谷出版企画
協力:ポプラ社
編集:柴田こずえ 編集協力:吉本万哉 デザイン:一瀬貴之
印刷・製本:サンエムカラー 発行所:サンエムカラー
内容:主催者 あいさつ／クリストファー・オードリーさんからのメッセージ／ようこそぼくたちの世界へ／第1章「汽車のえほん」／第2章「新たな旅立ち」／第3章「トーマス誕生秘話」

関連記事

- 中山恵理「郡山市立美術館であす開幕 トーマスたちの表情注目」、『福島民友新聞』平成26年9月5日付。
- 「トーマスの世界堪能 絵本原画展が開幕」、『福島民友新聞』平

成26年9月7日付。

- 「絵本原画や車両紹介 郡山で「トーマス」展」、『読売新聞』福島県版、平成26年9月7日付。
- 「トーマスの世界味わって 絵本原画展始まる」、『福島民報』平成26年9月8日付。
- 「みんゆうジュニア情報局 トーマスに会えたよ」、『福島民友新聞』平成26年9月13日付。
- 中山恵理「『きかんしゃトーマス』原画展(上)3組4人の画家 描き継ぐ」、『読売新聞』福島県版、平成26年9月25日付。
- 中山恵理「『きかんしゃトーマス』原画展(中)揺れる水面 色鮮やかに」、『読売新聞』福島県版、平成26年9月26日付。
- 中山恵理「『きかんしゃトーマス』原画展(下)豊かな自然 趣深く描写」、『読売新聞』福島県版、平成26年9月27日。
- FCT菅佐原アナ 絵本のトーマス朗読」、『福島民友新聞』平成26年9月30日付。

テレビ放映

- 「水曜中継UP! 絵本原画展きかんしゃトーマス」福島中央テレビ「ゴジてれChu水曜」平成26年9月10日。



トーマス in ふれあい科学館鉄道ジオラマ
展示期間:9月6日～10月3日 会場:郡山市ふれあい科学館

出品目録

原画

NO.	掲載	シリーズ名	物語のタイトル	絵本掲載 ページ	NO.	掲載	シリーズ名	物語のタイトル	絵本掲載 ページ
1		3だいの機関車	エドワードのたのしい1日	5	55				43
2				7	56				45
3				9	57				47
4				11	58		トーマスとパーティー		49
5				13	59				51
6				15	60				53
7				17	61				55
8			なさないヘンリー	35	62				57
9				37	63				59
10				39	64				61
11				41	65				63
12				43	66	やっかいな機関車	ヘンリーとサーカスのぞう		5
13				45	67				7
14				47	68				9
15	機関車トーマス		トーマスとゴードン	5	69				11
16				7	70				13
17				9	71				15
18				11	72				17
19				13	73		やっかいな3だいの機関車		33
20				15	74				35
21				17	75				37
22			トーマスの列車	35	76				39
23				37	77				41
24				39	78				43
25				41	79				45
26				43	80				47
27				45	81	みどりの機関車ヘンリー	ヘンリーとフライングキッパー号		17
28				47	82				19
29	赤い機関車ジェームス		ジェームスとシルクハット	5	83				21
30				7	84				23
31				9	85				25
32				11	86				27
33				13	87				29
34				15	88				31
35				17	89	機関車トビーのかつやく	トビーとふとっちょのしんし		5
36	がんばれ機関車トーマス		トーマスと車しょう	5	90				7
37				7	91				9
38				9	92				11
39				11	93				13
40				13	94				15
41				15	95				17
42				17	96				19
43			トーマスのさかなつり	19	97		トーマスとおまわりさん		21
44				21	98				23
45				23	99				25
46				25	100				27
47				27	101				29
48				29	102				31
49				31	103				33
50				33	104				35
51			トーマスとテレンスとゆき	35	105		キンドリーふじんのクリスマス		49
52				37	106				51
53				39	107				53
54				41	108				55

NO.	掲載シリーズ名	物語のタイトル	絵本掲載ページ	NO.	掲載シリーズ名	物語のタイトル	絵本掲載ページ
109			57	165			35
110			59	166		パーシーとハロルド	37
111			61	167			39
112			63	168			41
113	大きな機関車ゴードン	ゴードンの勝線	5	169			43
114			7	170			45
115			9	171			47
116			11	172			49
117			13	173	8だいの機関車	とびこんだパーシー	5
118			15	174			7
119			17	175			9
120		トーマスのちんまつ	35	176			11
121			37	177			13
122			39	178			15
123			41	179			17
124			43	180			19
125			45	181		ゆうめいになったゴードン	21
126			47	182			23
127			49	183			25
128		ペンキとおめし列車	51	184			27
129			53	185			29
130			55	186			31
131			57	187			33
132			59	188			35
133			61	189	ダックとディーゼル機関車	ディーゼル機関車のディーゼル	21
134			63	190			23
135	青い機関車エドワード	エドワードとトレバー	33	191			25
136			35	192			27
137			37	193			29
138			39	194			31
139			41	195			33
140			43	196		ダック、とこやさんへいく	47
141			45	197			49
142			47	198			51
143		ふる鉄エドワード	49	199			53
144			51	200			55
145			53	201			57
146			55	202			59
147			57	203			61
148			59	204			63
149			61	205	小さなふるい機関車	かえてきたスカーロイ	19
150			63	206			21
151	4だいの小さな機関車	ピーター・サムのしっぱい	35	207			23
152			37	208			25
153			39	209			27
154			41	210			29
155			43	211			31
156			45	212	ふたごの機関車	ふたごの機関車	5
157			47	213			7
158			49	214			9
159	ちびっこ機関車パーシー	パーシーとダック	21	215			11
160			23	216			13
161			25	217		みんなのだいひょう	47
162			27	218			49
163			29	219			51
164			31	220			53

NO.	掲載 シリーズ名	物語 のタイトル	絵本掲載 ページ	NO.	掲載 シリーズ名	物語 のタイトル	絵本掲載 ページ
221			55	277			13
222			57	278			15
223	機関車トーマスのしっばい	トーマスの大しっばい	5	279		みつばちとジェームス	17
224			7	280			19
225			9	281			21
226			11	282			23
227			13	283			25
228	ゆうかなな機関車	とくせいのえんとつ	9	284	小さな機関車たち	やくにたつ鉄道	47
229			13	285			49
230			15	286			51
231		ふへいやダンカン	31	287			53
232			33	288			55
233			35	289			57
234			37	290	機関車のほうげん	小西部鉄道	47
235			39	291			49
236			41	292			51
237	かんぱりやの機関車	ブルーベル鉄道のステップニー	5	293			53
238			7	294			55
239			9	295			57
240			11	296	きえた機関車	ねむれる森の機関車	47
241			13	297			49
242		ステップニー、りんじ列車をひく	15	298			51
243			17	299			53
244			19	300			55
245			21	301			57
246			25	302	わんぱく機関車	ゆうれい列車	5
247		ステップニーとクリケットのしあい	31	303			7
248			33	304			9
249			35	305			11
250			37	306			13
251			39	307			15
252			41	308			17
253	山にのぼる機関車	カルディーのつくりばなし	19	309		ディーゼル機関車メイビス	31
254			21	310			33
255			23	311			35
256			25	312			37
257			27	313			39
258			29	314			41
259	100さいの機関車	100年まえのスカーロイ	5	315			43
260			7	316		トビーのつなわたり	45
261			9	317			47
262			11	318			49
263			13	319			51
264			15	320			53
265			17	321			55
266		ダックと公爵	45	322			57
267			47	323	第27巻(未翻訳)	Stop Thief!	
268			49			Mind that Bike	
269			51			Fish	
270			53	342		Triple-Header	
271			55				
272			57				
273	大きな機関車たち	ビルとベン	5				
274			7				
275			9				
276			11				

模型車両

NO. キャラクター

1	オリバー	Live Action Model
2	メイビス	Live Action Model
3	ヘンリー	Live Action Model
4	ヘンリエッタ	Live Action Model
5	ジェイムス	Live Action Model
6	ハロルド	Live Action Model
7	ゴードン	Live Action Model
8	エドワード	Live Action Model
9	ダンカン	Live Action Model
10	デューク	Live Action Model
11	ダグラス	Live Action Model
12	ドナルド	Live Action Model
13	ビル	Live Action Model
14	ベン	Live Action Model
15	アニー	Live Action Model
16	クララベル	Live Action Model
17	トビー	Live Action Model
18	トーマス	Live Action Model
19	ステップニー	Live Action Model
20	スカーロイ	Live Action Model
21	サー・ハンデル	Live Action Model
22	ラスティ	Live Action Model
23	レニー	Live Action Model
24	バーシー	Live Action Model
25	ピーターサム	Live Action Model
26	ローリング・ストック	Live Action Model
27	ブレイクダウン・クレイン	Live Action Model
28	オイル・タンカー	Live Action Model

大判じ絵展

会 期：平成26年11月1日(土)～12月21日(日)
 主 催：郡山市立美術館
 監 修：岩崎均史氏（練馬区立石神井公園ふるさと文化館長）
 観 覧 料：一般800円(640)円 高校・大学生500(400)円
 （ ）内は20名以上の団体料金

趣 旨

判じ絵は、物の名前や地名、人名などを絵柄のこじつけで表現した、いわばシャレ、ダジャレの絵画である。しかしながらダジャレと言っても、娯楽性ととも知的な要素が組み合わされており、現代のクイズ番組やなぞなぞにも通じるものがある。絵を見ながら、想像をたくましくして答えを考えることによって、柔軟な発想力を培う判じ絵は、老若男女を問わず、楽しむことができる。

本展覧会では 浮世絵はもちろん、それに先駆けて描かれた謎染関連の屏風絵、暦、版本などに見られる様々な判じ絵的表現を紹介した。



ポスター

関連行事

- 講演会
「なぞなぞ絵解き ～判じ絵の世界～」
講師：岩崎均史氏（練馬区立石神井公園ふるさと文化館館長）
日時：平成26年11月2日(日) 午後2時から
場所：多目的スタジオ
- 美術講座
「判じ絵入門編」
講師：鈴木誠一（当館学芸員）
日時：平成26年11月16日(日) 午後2時から
場所：講義室
- 美術講座
「国芳と判じ絵」
講師：富岡進一（当館学芸員）
日時：平成26年12月7日(日) 午後2時から
場所：講義室
- ギャラリートーク
講師：鈴木誠一、新田量子、富岡進一（当館学芸員）
日時：①平成26年11月9日(日) ②11月24日(月・祝)
③12月14日(日) 午後2時から
場所：企画展示室
- ミュージアムシアター
「最後の忠臣蔵」
日時：平成26年12月13日(土) 午後2時から
場所：多目的スタジオ
- HANJI-E. New Wave
協力：国際アート&デザイン専門学校
デザインを志す現代の若者ならどんな判じ絵を作るのか。上記専門学校の協力により、9人の学生が作成した各3点、計27点のオリジナル判じ絵を展示室前のロビーに展示した。



ガイドブック

発行物

『大判じ絵展鑑賞ガイドブック』

210×148mm 16ページ 中綴じ

編集発行:郡山市立美術館

デザイン:デザイナーズメッツ

内容:○ひとつの絵でひとつの音「単音」○判じ絵の定番「固定音」○判じ絵の王道「同音異義語」○ここからちょっぴり上級編「文字抜き」○ひっくり返して判じよう「逆さ読み」○なりきり判じ絵「擬人化」○判じ絵辞典「謎づくし」○生活に根ざした判じ絵「南部絵暦」○カブキ者たちの判じ絵「謎染」

関連記事

- 「ユーモア豊か 判じ絵」、『福島民友新聞』平成26年11月4日付。
- 「江戸時代に流行 判じ絵」、『福島民友新聞』平成26年11月21日付。
- 「大判じ絵展 知識・発想力で解いて」、『河北新報』平成26年11月27日付。



HANJI-E New Wave 展示期間：11月1日～12月21日 会場：企画展示室前ギャラリー

出展目録

NO.	絵師 など	題名	形状	制作年	所蔵者	前期	後期
1	歌川重宣	いろは四十八字はんじもの	大判錦絵	嘉永2~5	蛇足庵	○	
2	歌川芳盛	教訓いろはたとえ	大判錦絵	文久頃	公文教育研究会		○
3	歌川芳藤	東海道五十三次はんじ物	大判錦絵	嘉永元~5	蛇足庵	○	
4	歌川重宣	東海道五十三次はんじもの 上	大判錦絵	嘉永2~5	蛇足庵		○
5	歌川重宣	江戸名所はんじもの	大判錦絵	安政5	公文教育研究会	○	
6	歌川重宣	江戸名所はんじもの	大判錦絵	安政5	公文教育研究会	○	
7	歌川重宣	江戸名所はんじもの	大判錦絵	安政5	蛇足庵		○
8	歌川重宣	江戸名所はんじもの	大判錦絵	安政5	蛇足庵		○
9		はんじもの 東京地名	大判錦絵	明治	蛇足庵	○	
10		焼場方角附	大判錦絵	安政2~3頃	蛇足庵		○
11	不明	無筆重宝 名所案内	大判錦絵		蛇足庵	○	
12	不明	都名所絵方角かんがゑ	大判摺物		蛇足庵		○
13	歌川国輝	大日本六十余州の内 五畿内より中国筋あて物一	大判錦絵	慶応2	蛇足庵	○	
14	歌川国輝	中国すちあて物二	大判錦絵	慶応2	蛇足庵	○	
15	歌川国輝	中ごくすち当て物三	大判錦絵	慶応2	蛇足庵		○
16	二代歌川広重	国尽はんじ物 三	大判錦絵	万延元	蛇足庵		○
17	二代歌川国盛	さかなのはんじもの 上	大判錦絵	弘化4~嘉永2	公文教育研究会	○	
18	二代歌川国盛	さかなのはんじもの 中	大判錦絵	弘化4~嘉永2	公文教育研究会	○	
19	二代歌川国盛	さかなのはんじもの 下	大判錦絵	弘化4~嘉永2	公文教育研究会	○	
20	二代歌川国盛	さかなのはんじもの 上	大判錦絵	弘化4~嘉永2	蛇足庵		○
21	二代歌川国盛	さかなのはんじもの 中	大判錦絵	弘化4~嘉永2	蛇足庵		○
22	二代歌川国盛	さかなのはんじもの 下	大判錦絵	弘化4~嘉永2	蛇足庵		○
23	歌川芳虎	新板はんじ物 虫	大判錦絵	嘉永2~4	公文教育研究会	○	
24	歌川芳虎	新板はんじ物 虫	大判錦絵	嘉永2~4	蛇足庵		○
25	二代歌川国盛	鳥のはんじもの	大判錦絵	弘化4~嘉永3	公文教育研究会	○	
26	二代歌川国盛	鳥のはんじもの	大判錦絵	弘化4~嘉永3	蛇足庵		○
27	二代歌川国盛	けだものはんじもの	大判錦絵	弘化4~嘉永3	公文教育研究会	○	
28	二代歌川国盛	けだものはんじもの	大判錦絵	弘化4~嘉永3	蛇足庵		○
29	歌川芳藤	新板植木のはんじもの	大判錦絵	嘉永元~4	蛇足庵	○	
30	歌川芳藤	新板植木のはんじもの	大判錦絵	嘉永元~4	蛇足庵		○
31	歌川重宣	書物 づくしはんじもの	大判錦絵	嘉永元~4	公文教育研究会	○	
32	歌川重宣	書物 づくしはんじもの	大判錦絵	嘉永元~4	蛇足庵		○
33	歌川芳艶	草花のはんじ物	大判錦絵	嘉永元~4	公文教育研究会	○	
34	歌川芳艶	草花のはんじ物	大判錦絵	嘉永元~4	蛇足庵		○
35	二代歌川国盛	水ぐわしかんがへ	大判錦絵	嘉永4~5	公文教育研究会	○	
36	二代歌川国盛	水ぐわしかんがへ	大判錦絵	嘉永4~5	蛇足庵		○
37	歌川重宣	かん物づくしはんじもの	大判錦絵	嘉永2~4	公文教育研究会	○	
38	歌川重宣	かん物づくしはんじもの	大判錦絵	嘉永2~4	蛇足庵		○
39	歌川重宣	しよく類上戸はんじ物	大判錦絵	嘉永2~4	蛇足庵	○	
40	歌川重宣	しよく類上戸はんじ物	大判錦絵	嘉永2~4	蛇足庵		○
41	歌川重宣	勝手道具はんじもの 上	大判錦絵	嘉永2~4	公文教育研究会	○	
42	歌川重宣	勝手道具はんじもの 下	大判錦絵	嘉永2~4	公文教育研究会	○	
43	歌川重宣	勝手道具はんじもの 上	大判錦絵	嘉永2~4	蛇足庵		○
44	歌川重宣	勝手道具はんじもの 下	大判錦絵	嘉永2~4	蛇足庵		○
45	歌川芳廉	しんはん浄瑠璃はんじもの	大判錦絵	嘉永元~4	蛇足庵	○	
46	歌川芳幾	当世流行端唄はんじもの	大判錦絵	万延元	蛇足庵	○	
47	歌川芳春	義太夫外題考物	大判錦絵	安政6	蛇足庵	○	
48	歌川芳春	常盤津外題考物	大判錦絵	安政6	蛇足庵	○	
49	歌川芳藤	玉晋齋其角并二秋色之両家名吟色紙乃景	大判錦絵		蛇足庵	○	
50	歌川芳春	清元外題考もの	大判錦絵	安政6	蛇足庵		○
51	歌川芳藤	子供手遊	大判藍摺	慶応3	蛇足庵	○	
52	不明	はんじもの 角力の部	大判藍摺	明治	蛇足庵	○	
53	歌川芳藤	東西角力のはんじ物	大判錦絵	嘉永頃	公文教育研究会	○	
54	歌川芳藤	名代 きやうげんづくしはんじもの 上	大判藍摺	慶応3	蛇足庵		○

NO. 絵師 など	題名	形状	制作年	所蔵者	前期	後期	
55	歌川芳藤 名代 きやうげんづくしはんじもの 中	大判藍摺	慶応3	蛇足庵		○	
56	歌川芳藤 名代 きやうげんづくしはんじもの (下)	大判藍摺	慶応3	蛇足庵		○	
57	歌川国芳 武者尽はんじもの	大判錦絵	嘉永元~5	公文教育研究会	○		
58	歌川国芳 武者尽はんじもの	大判錦絵	嘉永元~4	蛇足庵		○	
59	歌川国彦 むしやのはんじもの	大判錦絵	嘉永元~4	蛇足庵	○		
60	賤丸 八けんし当て御覽	大判錦絵	文政頃	蛇足庵		○	
61	歌川芳廉 しん板手 あそびづくし はんじもの	大判錦絵	嘉永頃	公文教育研究会	○		
62	歌川芳艶 十二月月見立	大判錦絵	安政5	公文教育研究会	○		
63	歌川芳藤 奪衣婆	大判錦絵	嘉永2	蛇足庵	○		
64	歌川芳虎 知恵の孝 四方の読込み(三)	大判錦絵	明治32頃	公文教育研究会		○	
65	歌川芳虎 知恵の孝 四方の読込み(四)	大判錦絵	明治32頃	公文教育研究会		○	
66	歌川芳虎 知恵の孝 四方の読込み(五)	大判錦絵	明治32頃	公文教育研究会		○	
67	歌川芳員 幼童遊戯早学問 手紙用文はんじ物	大判錦絵	文久2	公文教育研究会	○		
68	歌川国芳 伊達模様血気競	大判錦絵	弘化頃	大屋書店		○	
69	春さめ絵かながゑ	小版摺物		蛇足庵	○		
70	むひつのねんしえぢやう	小版摺物		蛇足庵		○	
71	おんなへんじ	小版摺物		蛇足庵	○		
72	新板年頭状かながへ	小版摺物		蛇足庵		○	
73	懸賞絵詞(『近事画報』77号付録)	大判石版	明治39	蛇足庵	○		
74	懸賞絵詞(『近事画報』77号付録)	大判石版	明治39	蛇足庵		○	
75	画暦(『近事画報』77号付録)	大判石版	明治39	蛇足庵	○		
76	画暦(『近事画報』77号付録)	大判石版	明治39	蛇足庵		○	
77	慰問玉手箱		昭和18~	蛇足庵	表面 裏面 展示	裏面 展示	
78	慰問玉手箱		昭和18~	蛇足庵	裏面 展示	表面 展示	
79	『謎づくし』	版本	享保頃	蛇足庵	場面替えて対応		
80	『小町 なりひらうたあはせ』	版本	宝暦頃	蛇足庵	場面替えて対応		
81	曲亭馬琴著/北尾重政画 『御慰忠臣蔵之攷』	版本	寛政10	早稲田大学図書館	場面替えて対応		
82	天明三年田山曆(蛇足庵本)		天明3	蛇足庵	○		
83	天明三年田山曆(岩手県博本)	26.4×90.6cm	天明3	岩手県立博物館		○	
84	大小曆八人芸		文政8	蛇足庵	○		
85	大小曆八人芸	37.7×20.6cm	文政8	岩手県立博物館		○	
86	文久二年南部絵曆	30.1×23.2	文久2	蛇足庵	○		
87	天保十三年盛岡曆	33.5×23.0cm	天保13	岩手県立博物館寄託		○	
88	平成二十四年盛岡曆		平成24	蛇足庵	○		
89	平成二十五年盛岡曆		平成25	岩手県立博物館		○	
90	観音盲目和讃	折本	近代	蛇足庵	○		
91	観音めぐら和讃	折本		岩手県立博物館		○	
92	般若心経	19.5×122.3cm	昭和22	岩手県立博物館	○		
93	随求陀羅尼	24.0×34.0cm		岩手県立博物館		○	
94	吉祥陀羅尼	24.2×33.0cm		岩手県立博物館		○	
95	法華経	24.8×33.2cm		岩手県立博物館		○	
96	四条河原遊楽図	各95.5×263.1 六曲一雙屏風		個人蔵(西尾市岩瀬文庫寄託)	○		
97	輪舞遊楽図	各117.0×258.0 四曲一雙屏風		国立歴史民俗博物館		○	
98	中川喜雲 『京童』巻四	版本	明暦4	早稲田大学図書館	○		
99	中川喜雲 『京童』巻五	版本	明暦4	早稲田大学図書館		○	
NO. 絵師 など	題名	形状	制作年	所蔵者	前期	中期	後期
100	豊原国周 江戸の花勇揃(部分)	大判錦絵	慶応元	早稲田大学演劇博物館	○		
101	豊原国周 守田座友松乗込図(部分)	大判錦絵	慶応元	早稲田大学演劇博物館		○	
102	歌川国貞 樋口の次郎	団扇絵	文政4	早稲田大学演劇博物館	○		
103	豊原国周 《群入田鶴やよいの魁菊より》幻長兵衛	大判錦絵	明治7	早稲田大学演劇博物館		○	
104	豊原国周 せんとう	大判錦絵	明治か	早稲田大学演劇博物館			○

NO.	絵師 など	題名	形状	制作年	所蔵者	前 期	中 期	後 期
105	歌川国貞	《隅田川花御所染》より 軍助	大判錦絵	文化11頃	早稲田大学演劇博物館	○		
106	歌川豊国	《増補富士見西行》より 油や九平次	大判錦絵	文化12頃	早稲田大学演劇博物館	○		
107	歌川豊国	《敵討名歌曙》より 奴文字助	大判錦絵	文政5頃	早稲田大学演劇博物館	○		
108	歌川国貞	《大和和大花山樵》より 三田の仕	大判錦絵	文政6頃	早稲田大学演劇博物館		○	
109	歌川国貞	《初冠曾我皐月富士根》より 奴初平	大判錦絵	文政8頃	早稲田大学演劇博物館		○	
110	歌川国貞	《鬼若根元台》より 猿廻し桃太	大判錦絵	文政8頃	早稲田大学演劇博物館		○	
111	歌川国安	《けいせい反魂香》より 浮世又平	大判錦絵	文政10頃	早稲田大学演劇博物館		○	
112	歌川国芳	《独道中五十三駅》より 江戸平実ハ藤川水右衛門	大判錦絵	文政10頃	早稲田大学演劇博物館			○
113	歌川国貞	《隅田川花御所染》より 二役早替り 猿嶋惣太	大判錦絵	天保3頃	早稲田大学演劇博物館			○
114	歌川国芳	《仮名手本忠臣蔵》より なを助	大判錦絵	天保4頃	早稲田大学演劇博物館			○
115	豊原国周	市川团十郎演芸百番より 団七九郎兵衛	大判錦絵	明治31	早稲田大学演劇博物館			○
116	歌川国貞	《梅桜松双紙》より 奴宅内	大判錦絵	文化13頃	早稲田大学演劇博物館	○		
117	歌川豊国	《松梅鶯曾我》より 三浦やのあげ巻	大判錦絵	文政5頃	早稲田大学演劇博物館		○	
118	歌川国芳	《仮名手本忠臣蔵》より 川のや平三 後二天川や義平	大判錦絵	天保4頃	早稲田大学演劇博物館			○
119	歌川国貞	《仮名手本忠臣蔵》より 金神長五郎	大判錦絵		早稲田大学演劇博物館	○		
120	歌川国貞	《御慶曾我扇》より つちや次兵衛	大判錦絵	文政7頃	早稲田大学演劇博物館	○		
121	歌川国貞	《紋尽五人男》より 極印千右衛門	大判錦絵	文政8頃	早稲田大学演劇博物館	○		
122	歌川国貞	《梅初春五十三駅》より 五十三次ノ内 大津 清水の冠者	大判錦絵	天保6頃	早稲田大学演劇博物館		○	
123	歌川国貞	《仮名手本忠臣蔵》より 早の勘平	大判錦絵	天保8頃	早稲田大学演劇博物館		○	
124	歌川国貞	《音菊家怪談》より 木下川与右衛門 二役	大判錦絵	天保9頃	早稲田大学演劇博物館			○
125	豊原国周	吾妻与四郎	大判錦絵	明治20	早稲田大学演劇博物館			○
126	二代歌川国貞	《与話情浮名横櫛》より 源氏店(3枚続)	大判錦絵	明治25	早稲田大学演劇博物館			○
127	(竺仙製作)	かまわぬ文様反物		現代	蛇足庵			全期展示
128	(竺仙製作)	よきこときく文様反物		現代	蛇足庵			全期展示
129	(竺仙製作)	菊五郎格子文様反物		現代	蛇足庵			全期展示
130	(竺仙製作)	市村格子文様反物		現代	蛇足庵			全期展示
131	(竺仙製作)	芝翫篇文様反物		現代	蛇足庵			全期展示

舟越保武彫刻展 まなざしの向こうに

会 期：平成27年1月24日(土)～3月22日(日)
主 催：郡山市立美術館、読売新聞社、美術館連絡
協議会、福島民友新聞社、福島中央テレビ
協 賛：ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャ
パン日本興亜
協 力：ギャラリーせいほう
観 覧 料：一般800(640)円 高校・大学生500(400)円
()内は20名以上の団体料金。

趣 旨

舟越保武は1912(大正元)年に岩手県に生まれ、盛岡中学時代にロダンに憧れて彫刻家を志した。舟越は大理石や砂岩などの石による清楚な女性像で知られているが、1950(昭和25)年以降は自らのカトリック信仰に裏付けられた宗教的テーマの作品で独自のスタイルを確立した。それらは崇高な美しさをたたえており、他の具象彫刻作品とは一線を画するものである。とりわけ、長崎市に設置された《長崎26殉教者記念像》や《原の城》、《ダミアン神父》は、彼の代表作というだけでなく、戦後日本の彫刻を代表する重要な作品の一つといえる。

1987(昭和62)年に病気のために右半身不随となるも、その後10余年にわたり左手で制作を続け、それまでとは異なる迫力を持つ作品を生み出した。

本展は、岩手県立美術館所蔵の舟越保武作品と国内の代表的な作品、および遺族が所有している未公開のものを含む多数のドローイング等によって、舟越保武の生涯にわたる彫刻の仕事を改めて回顧し、新たな視点によってその芸術の本質を捉えなおそうとする試みだった。

関連行事

○講演会

「舟越保武と祖父・萩原朔太郎の像について」
講師：萩原朔美氏(多摩美術大学教授)
日時：平成27年2月1日(日) 午後2時から
場所：多目的スタジオ

○美術講座

「舟越保武と《長崎26殉教者記念像》」
講師：菅野洋人(当館学芸員)
日時：平成27年2月7日(土) 午後2時から
場所：講義室

○美術講座

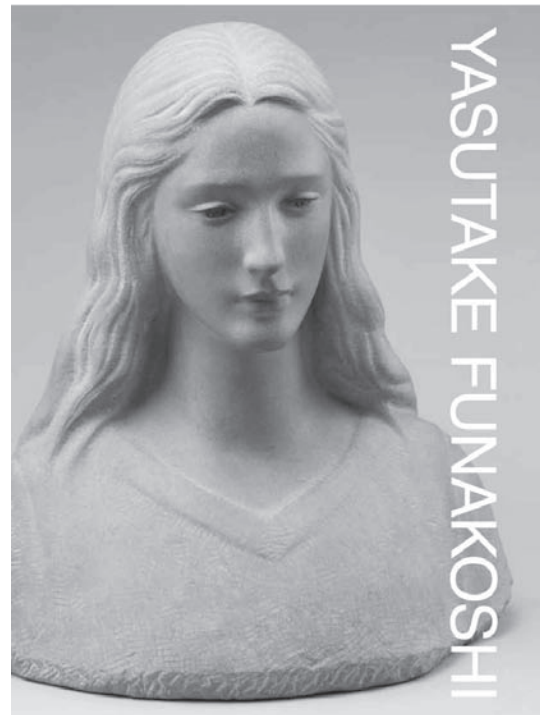
「舟越保武の仕事」
講師：田中有沙子(当館学芸員)
日時：平成27年3月22日(日) 午後2時から
場所：講義室

○ギャラリートーク

講師：菅野洋人、杉原聡、田中有沙子(当館学芸員)
日時：平成27年1月24日(土)、2月11日(水・祝)、2月28日(土) 午後2時から



ポスター



図録

場所:企画展示室
 ○ミュージアム・シアター
 「殉教血史 日本二十六聖人、われ世に勝てり」
 日時:平成27年2月22日(土)、3月15日(日) 午後2時から
 場所:多目的スタジオ

発行物

『舟越保武 まなざしの向こうに』図録
 平成26年10月24日発行
 著者:舟越保武
 編集:岩手県立美術館、郡山市立美術館、練馬区立美術館
 発行:求龍堂
 内容:○エッセイ「光を見る者—舟越保武と芸術の秘儀」(若松英輔)、
 「父のことをすこし」(舟越桂)、「永遠の時を求めて」(大野正勝)、
 「舟越保武、その人」(吉田尊子)○図版○作品解説○目録○年譜
 ○主要参考文献

関連記事

- 「あすから舟越保武彫刻展」、『福島民友新聞』郡山版、平成27年1月23日付。
- 「舟越保武の彫刻並ぶ」、『福島民友新聞』郡山版、平成27年1月

25日付。

- 「宗教テーマの彫刻並ぶ」、『福島民報』郡山版、平成27年1月27日付。
- 杉原聡「舟越保武展 上「聖セシリア」」、『読売新聞』福島県版、平成27年2月2日付。
- 菅野洋人「舟越保武展 中「萩原朔太郎像」」、『読売新聞』福島県版、平成27年2月3日付。
- 田中有沙子「舟越保武展 下「ゴルゴダ」」、『読売新聞』福島県版、平成27年2月4日付。
- 佐治ゆかり「ティータイム206「東北」をみる」、『福島民報』平成27年2月6日付。
- 菅野洋人「異彩放つ 崇高な美しさ」、『福島民友新聞』平成27年2月6日付。
- 「像の優しいまなざし」、『福島民友新聞』平成27年2月16日付。
- 田中有沙子「そこに宿る精神美」、『福島民報』平成27年2月21日付。
- 宮川匡司「普通の心 かたどる情熱」、『日本経済新聞』平成27年2月25日付。

出展目録

彫刻

NO. 作品名	制作年	材質	寸法(高さ×幅×奥行)(cm)	所蔵先
第1章 彫刻への憧れ—東京美術学校受験の頃から 1933年～1943年頃まで				
S1 N君	1933(昭和8)年	ブロンズ	36.0×22.0×27.0	岩手県立美術館
S2 つやこ	1935(昭和10)年	ブロンズ	36.0×18.0×27.2	岩手県立美術館
S5 隕石	1940(昭和15)年	大理石(紅叢)	37.0×24.0×33.0	岩手県立美術館
S6 道子	1940(昭和15)年頃	ブロンズ	29.0×16.5×21.0	岩手県立美術館
S7 婦人胸像	1941(昭和16)年	大理石(紅叢)	52.4×40.6×29.0	岩手県立美術館
S8 小北嬢	1943(昭和18)年	大理石	36.5×28.5×24.0	若山直氏
S9 小北嬢	1943(昭和18)年	ブロンズ	28.0×17.6×20.2	岩手県立美術館
第2章 模索と拡充—戦後 1945年頃～1958年頃まで				
S10 チエコ	1948(昭和23)年	ブロンズ	20.0×15.0×17.0	末盛千枝子氏
S11 白鳥	1948(昭和23)年	大理石	68.0×36.5×37.5	東京国立近代美術館
S12 白鳥	1956(昭和31)年	大理石	30.0×60.0×20.0	JCHO東京新宿メディアセンター
S13 ナルシス	1949(昭和24)年	大理石	27.5×46.0×18.0	個人
S14 夢の女	1949(昭和24)年	大理石	34.0×24.0×26.0	西野利夫氏
S15 アザレア	1950(昭和25)年	大理石(紅叢)	25.0×18.0×22.0	東京国立近代美術館
S16 女性立像	1950(昭和25)年頃	大理石	74.0×25.0×23.0	個人
S17 カンナ	1953(昭和28)年	砂岩(三条目)	31.0×20.0×25.0	岩手県立美術館
S18 ナエコ	1954(昭和29)年	砂岩(三条目)	28.5×15.5×18.5	個人
S19 A嬢	1955(昭和30)年	大理石	30.0×20.0×23.0	(株)IBC岩手放送
S20 少女	1956(昭和31)年	砂岩	27.2×21.0×25.6	郡山市立美術館
S21 魚	1952(昭和27)年頃	大理石	24.0×60.0×5.0	岩手県立美術館
S22 青い魚	1958(昭和33)年	ブロンズ	28.4×166.5×7.9	岩手県立美術館
S23 裸婦立像	1955(昭和30)年	ブロンズ	105.0×32.0×25.0	岩手大学
S24 萩原朔太郎	1955(昭和30)年	ブロンズ	24.0×29.8×33.3	岩手県立美術館

NO. 作品名	制作年	材質	寸法(高さ×幅×奥行)(cm)	所蔵先
S25 カトレア	1960(昭和35)年	大理石	41.0×27.5×22.0	個人
S26 若き石川啄木	1965(昭和40)年	ブロンズ	30.0×18.0×25.0	盛岡市
第3章 《長崎26殉教者記念像》 1958年～1962年まで				
S27 聖ヨアキム榊原(長崎26殉教者記念像のうち)	1962(昭和37)年	FRP(繊維強化プラスチック)	185.7×54.0×41.0	岩手県立美術館
S28 聖フランシスコ・デ・サン・ミゲル(長崎26殉教者記念像のうち)	1962(昭和37)年	FRP(繊維強化プラスチック)	183.4×53.2×40.5	岩手県立美術館
S29 聖フランシスコ・ブランコ(長崎26殉教者記念像のうち)	1962(昭和37)年	FRP(繊維強化プラスチック)	183.2×55.0×38.0	岩手県立美術館
S30 聖フェリッパ・デ・ヘスス(長崎26殉教者記念像のうち)	1962(昭和37)年	FRP(繊維強化プラスチック)	183.7×55.0×37.0	岩手県立美術館
第4章 信仰と彫刻—《原の城》・《ダミアン神父》の頃 1962年～1975年頃まで				
S31 十字架	1962(昭和37)年	ブロンズ	141.0×100.0×25.0	個人
S32 高山右近	1966(昭和41)年	ブロンズ	80.5×33.0×23.0	岩手県立美術館
S33 原の城(頭像)	1963(昭和38)年	ブロンズ	28.5×25.0×26.0	岩手県立美術館
S34 原の城(エスキース)	1971(昭和46)年	ブロンズ	40.2×14.0×12.0	東京オペラシティアートギャラリー
S35 原の城	1971(昭和46)年	ブロンズ	197.0×64.0×53.0	岩手県立美術館
S36 ダミアン神父	1975(昭和50)年	ブロンズ	199.0×65.0×61.0	岩手県立美術館
S37 ダミアンの手	1977(昭和52)年	ブロンズ	26.5×17.0×10.0	個人
S38 笛吹き少年	1967(昭和42)年	ブロンズ	162.0×46.0×50.0	個人
S39 タツコ(試作)	1967(昭和42)年	ブロンズ	97.0×25.0×17.0	個人
S40 道東の四季—春(エスキース)	1976(昭和51)年	ブロンズ	114.0×54.0×35.0	個人
S41 シオン	1978(昭和53)年	ブロンズ	197.0×55.0×56.0	個人
S42 T嬢	1968(昭和43)年	大理石	40.0×31.0×26.0	(株)テレビ岩手
S43 若い女の胸像	1973(昭和48)年	大理石	42.0×41.0×24.0	岩手県立美術館
S44 LOLA	1974(昭和49)年	大理石	40.0×42.0×24.5	岩手県立美術館
S45 T嬢	1974(昭和49)年	大理石	41.5×41.5×28.0	岩手県立美術館
第5章 静謐の美—聖女たち 1975年～1986年頃まで				
S46 聖セシリア	1979(昭和54)年	ブロンズ	190.0×58.0×54.5	岩手県立美術館
S47 聖マリア・マグダレナ	1984(昭和59)年	ブロンズ	177.0×51.0×56.0	岩手県立美術館
S48 聖セシリア	1980(昭和55)年	砂岩(諫早石)	50.0×51.0×30.0	岩手県立美術館
S49 聖クララ	1981(昭和56)年	砂岩(諫早石)	49.5×49.0×30.0	岩手県立美術館
S50 ANNA	1982(昭和57)年	砂岩(諫早石)	41.5×41.0×27.0	岩手県立美術館
S51 ANN	1983(昭和58)年	砂岩(諫早石)	33.0×22.0×27.0	資生堂アートハウス
S52 聖ペロニカ	1986(昭和61)年	砂岩(諫早石)	42.0×28.0×32.5	岩手県立美術館
第6章 左手による彫刻—最後の出品作品まで 1987年～1998年まで				
S53 サルビア	1988(昭和63)年	ブロンズ	20.0×14.0×15.0	岩手県立美術館
S54 ゴルゴダ	1989(平成元年)	ブロンズ	35.5×21.0×34.0	岩手県立美術館
S55 マグダラ	1990(平成2)年	ブロンズ	37.0×29.5×36.5	岩手県立美術館
S56 ゴルゴダII	1993(平成5)年	ブロンズ	35.5×21.0×27.7	岩手県立美術館
S57 その人	1995(平成7)年	ブロンズ	38.5×24.0×26.0	岩手県立美術館
S58 頭部III	1998(平成10)年	ブロンズ	30.0×22.0×23.0	岩手県立美術館

素描

NO. 作品名	制作年	材質	寸法(高さ×幅×奥行)(cm)	所蔵先
第1章 彫刻への憧れ—東京美術学校受験の頃から 1933年～1943年頃まで				
D1 スケッチブック1			30.5×22.6	萬鉄五郎記念美術館
D2 スケッチブック2	1934-36(昭和9-11)年		31.6×24.2	萬鉄五郎記念美術館
D3 スケッチブック3			35.2×24.9	萬鉄五郎記念美術館
D7 女性像習作		鉛筆・紙	25.4×36.2	萬鉄五郎記念美術館
D10 習作・水仙	1933(昭和8)年1月27日	水彩・紙	28.8×37.6	萬鉄五郎記念美術館
D12 習作・キャベツと茄子	1932(昭和7)年9月	水彩・紙	28.8×38.1	萬鉄五郎記念美術館
D13 習作・玉葱	1932(昭和7)年7月16日	水彩・紙	18.8×22.5	萬鉄五郎記念美術館
第2章 模索と拡充—戦後 1945年頃～1958年頃まで				
D14 一馬と水仙	1949(昭和24)年4月1日	パステル・紙	38.0×30.0	個人
D15 十字架の道行のための習作	1950(昭和25)年頃	木炭・紙	46.0×33.0	個人
D16 十字架上のキリストのための習作	1950(昭和25)年頃	鉛筆・紙	35.5×25.0	個人
D17 十字架上のキリストのための習作	1950年代	鉛筆・紙	26.0×22.0	個人
D18 父と子(自我像)	1950年代	鉛筆・紙	37.0×27.0	個人
D19 魚	1955(昭和30)年頃	木炭・紙	34.0×51.0	個人
D20 萩原朔太郎	1955(昭和30)年頃	鉛筆・紙	28.0×24.0	個人
D21 石川啄木	1965(昭和40)年頃	鉛筆・紙	34.0×30.0	個人
第3章 《長崎26殉教者記念像》 1958年～1962年まで				
D22 聖フィリッパ・デ・ヘスス	1958-62(昭和33-37)年頃	木炭・紙	180.0×55.0	長崎県美術館
D23 聖パウロ茨木	1958-62(昭和33-37)年頃	木炭・紙	180.0×55.0	長崎県美術館
D24 聖フランシスコ・デ・サン・ミゲル	1958-62(昭和33-37)年頃	木炭(?)・紙	180.0×55.0	長崎県美術館
D25 聖パウロ三木	1959-60(昭和34-35)年頃	木炭・紙	38.0×28.0	個人
D29 聖トマス小崎	1959-60(昭和34-35)年	鉛筆・紙	45.0×37.0	個人
D31 手の習作	1959-60(昭和34-35)年頃	木炭・紙	38.0×28.0	個人
D32 足の習作	1959-60(昭和34-35)年頃	木炭・紙	56.0×37.5	個人
D36 聖フランシスコ・ブランコ	1959-62(昭和34-37)年	木炭・紙	57.0×38.0	個人
D40 聖ペドロ・バプチスタ	1959-62(昭和34-37)年	墨・紙	46.0×29.0	個人
D45 聖ルドビコ茨木	1960(昭和35)年頃	墨・紙	47.0×29.0	個人
D48 聖フランシスコ吉	1960(昭和35)年頃	鉛筆・紙	54.0×39.0	個人
D49 顔の習作	1960(昭和35)年頃	鉛筆・紙	54.5×40.0	個人
D51 26聖人詩文(左手による書)	1997(平成9)年	墨・紙	40.0×50.0	個人
第4章 信仰と彫刻—《原の城》・《ダミアン神父》の頃 1962年～1975年頃まで				
D52 高山右近	1964(昭和39)年	木炭・紙	54.5×34.5	個人
D53 聖アンナ	1970(昭和45)年頃	木炭・紙	37.0×27.0	個人
D54 キリスト	1970(昭和45)年頃	木炭・紙	40.0×32.0	個人
D55 キリスト	1970(昭和45)年頃	木炭・紙	38.0×28.0	個人
D58 原の城	1964(昭和39)年頃	墨・紙	35.5×25.0	個人
D59 原の城	1964(昭和39)年頃	鉛筆・紙	35.0×28.5	個人
D60 原の城のための習作	1964(昭和39)年頃	鉛筆・紙	35.5×24.5	個人
D61 原の城のためのデッサン	1971(昭和46)年	紙・鉛筆	37.0×25.5	個人
D62 原の城のためのデッサン	1971(昭和46)年	紙・赤コンテ	32.0×22.5	個人

NO. 作品名	制作年	材質	寸法(高さ×幅×奥行)(cm)	所蔵先
D63 ダミアンの若い顔	1965-75(昭和40-50)年	鉛筆・紙	26.5×20.0	個人
D64 ダミアン	1967(昭和42)年	木炭・紙	55.0×36.5	個人
D65 ダミアン	1971(昭和46)年頃	鉛筆・紙	32.5×23.0	個人
D66 ダミアン神父の習作	1974-75(昭和49-50)年	鉛筆、木炭・紙	39×53.5	個人
D67 ダミアン神父	1986(昭和61)年	木炭・紙	180.0×80.0	個人
D68 笛吹き少年(横笛)	1962(昭和37)年	鉛筆・紙	45.0×30.0	個人
D69 ANNA	1964(昭和39)年頃	鉛筆・紙	33.0×25.0	個人
D70 花を持つ少女	1966(昭和41)年	鉛筆・紙	45.0×33.0	個人
D71 たつこ(顔)	1967(昭和42)年	木炭・紙	54.0×37.0	個人
D72 たつこ(全身)	1967(昭和42)年	木炭・紙	56.0×36.0	個人
D73 たつこ(3体)	1967(昭和42)年	木炭・紙	57.0×38.0	個人
D74 LOLA	1980(昭和55)年頃	木炭・紙	39.0×28.0	個人
第5章 静謐の美—聖女たち 1975年～1986年頃まで				
D75 聖クララ	1978(昭和53)年頃	鉛筆・紙	43.5×34.5	個人
D76 聖クララ	1978(昭和53)年頃	木炭・紙	48.5×34.0	個人
D77 聖セシリア	1984(昭和59)年	鉛筆・紙	39.5×29.0	個人
D79 聖セシリア	1986(昭和61)年	木炭・紙	180.0×80.0	個人
D80 聖マリア・マグダレナ	1984(昭和59)年頃	茶コンテ・紙	51.0×37.5	個人
第6章 左手による彫刻—最後の出品作品まで 1987年～1998年まで				
D84 顔	1987(昭和62)年	木炭・紙	60.0×50.0	個人
D85 顔	1987(昭和62)年	鉛筆・紙	60.0×52.0	個人
D86 女の顔	1987(昭和62)年	木炭・紙	65.0×54.0	個人
D87 キリスト	1988(昭和63)年	木炭・紙	60.0×50.0	個人
D88 顔	1990(平成2)年	木炭・紙	55.0×45.0	個人
D89 樹	1991(平成3)年	鉛筆・紙	73.0×57.0	個人
D90 岩手山	1991(平成3)年	鉛筆・紙	54.0×64.0	個人
D91 自画像	1992(平成4)年	鉛筆・紙	61.0×52.0	個人
D92 少女	1994(平成6)年	鉛筆・紙	60.0×51.0	個人
D93 樹	1997(平成9)年	木炭・紙	67.0×60.0	個人
D94 みちこ	1997(平成9)年	木炭・紙	62.0×55.0	個人

Ⅲ 教育普及事業

1) 美術館文化講座「アート・テーク」 6回 参加者数 475名

文化資源としてのアートという視点から独自のテーマを設定し「アートを捉える」、「アートから捉える」ことを目的とした年6回の講座。講師は当館館長、そして当該領域の第一人者および最先端で研究・活動する講師を招聘した。

回	月日	講座名	講師	参加者数
1	平成26年 5月24日	色の命、命の色	志村ふくみ氏(染織家、人間国宝)、 志村洋子氏(染織家)	180名
2	7月26日	想像する力 チンパンジーが教えてくれた人間の心	松沢哲郎氏(京都大学霊長類研究所教授・文化功労者)	74名
3	9月27日	知のかたち—大学博物館編③東北大学	佐治ゆかり(当館館長)	28名
4	11月16日	人形(ひとがた)文楽の魅力	桐竹勘十郎氏、吉田玉誉氏、桐竹勘次郎氏(人形遣い)、豊竹芳穂大夫氏(大夫)、鶴澤清胤氏(三味線)	143名
5	平成27年 1月31日	知のかたち—大学博物館編④北海道大学	佐治ゆかり(当館館長)	25名
6	3月21日	知のかたち—大学博物館編⑤九州大学他	佐治ゆかり(当館館長)	25名



平成26年度第1回アート・テーク「色(いろ)の命(いのち)、命(いのち)の色(いろ)」



平成26年度第2回アート・テーク「想像する力(ちから) チンパンジー(チンパンジー)が教えてくれた人間の心(こころ)」



平成26年度第4回アート・テーク「人形(ひとがた) 文楽(ぶんがく)の魅力(魅力)」

2) 講演会 会場：多目的スタジオ 4回 参加者数 385名

講演会名	日時	講師	関連する展覧会	参加者数
ロベール・ドアノーの世界	平成26年6月1日 14:00～15:30	堀江敏幸氏（仏文学者・作家）	ロベール・ドアノー写真展	107名
キュー王立植物園と植物画の歴史	8月17日 14:00～15:40	大場秀章氏（東京大学名誉教授）	イングリッシュ・ガーデン展	84名
なぞなぞ絵解き 判じ絵の世界	11月2日 14:00～15:45	岩崎均史氏（練馬区立石神井公園ふるさと文化館長）	大判じ絵展	84名
舟越保武と祖父・萩原朔太郎の像について	平成27年2月1日 14:00～15:30	萩原朔美氏（多摩美術大学教授）	舟越保武彫刻展	110名

3) 美術講座 会場：講義室 8回 参加者数 226名

講座名	日時	講師	関連する展覧会	参加者数
ロベール・ドアノーとその時代	平成26年5月18日 14:00～15:25	永山多貴子	ロベール・ドアノー写真展	35名
イングリッシュ・ガーデンに魅せられた人々	8月23日 14:00～15:00	永山多貴子	イングリッシュ・ガーデン展	40名
トーマスとイギリス	10月4日 14:00～14:45	菅野洋人	絵本原画展 きかんしゃトーマスとなかまたち	10名
郡山市立美術館的トーマスの楽しみ方	10月25日 14:00～15:00	中山恵理		6名
判じ絵入門編	11月16日 14:00～14:50	鈴木誠一	大判じ絵展	42名
国芳と判じ絵	12月14日 14:00～15:15	富岡進一		28名
舟越保武と《長崎26殉教者記念像》	平成27年2月7日 14:00～15:10	菅野洋人	舟越保武彫刻展	45名
舟越保武の仕事	3月22日 14:00～14:45	田中有沙子		20名

4) ギャラリートーク 会場：企画展示室 12回 参加者数 362名

日時	講師	関連する展覧会	参加者数	
平成26年5月10日	14:00～14:45	杉原 聡	ロベール・ドアノー写真展	32名
6月14日	14:00～15:00	永山多貴子		35名
7月12日	14:00～15:00	富岡進一	イングリッシュ・ガーデン展	28名
8月16日	14:00～15:20	永山多貴子		38名
9月6日	14:00～14:30	中山恵理	絵本原画展 きかんしゃトーマスとなかまたち	15名
10月18日	14:00～14:35	菅野洋人		4名
11月9日	14:00～14:45	鈴木誠一	大判じ絵展	38名
11月24日	14:00～14:30	新田量子		34名
12月14日	14:00～15:15	富岡進一		26名
平成27年1月24日	14:00～14:35	菅野洋人	舟越保武彫刻展	30名
2月11日	14:00～14:45	杉原 聡		47名
2月28日	14:00～14:30	田中有沙子		35名

5 ワークショップ 会場：多目的スタジオ他 11回 参加者数 384名

公開 ワークショップ

「体験!手作りカメラでフォトモンタージュ」

「ロベール・ドアノー写真展」関連企画。カメラと写真のしくみを学びながら、身近な材料を使った手作りカメラで撮影し、フォトモンタージュ（合成写真）を制作した。

講師：増谷寛氏（植田正治事務所）

日時：平成26年5月31日（土）13:00～16:00

場所：創作スタジオ

参加者：15名



公開 ワークショップ

「ガーデンデザインを楽しむ」

「イングリッシュ・ガーデン」展関連企画。ガーデンデザインの基本を学んだ後、美術館の前庭を使って植物等による景観づくりを体験した。

講師：菊地裕美氏、菊地徹氏（ガーデンデザイナー）

日時：平成26年7月5日（土）10:00～15:00

場所：美術館前庭など

参加者：15名



「風土記の丘発 図工&美術の時間へようこそ パートⅡ」

「第13回風土記の丘の美術展～郡市内の小学生の作品展～」の関連企画。小・中学校で行われている図工と美術の授業内容を紹介するワークショップを自由参加型で実施した。

講師：市内の小中学校の先生

日時：平成26年8月2日（土）

午前の部：11:00～12:00

午後の部：14:00～15:00

場所：多目的スタジオ

参加者：97名



「命を染める～桜～」

桜をテーマにした染色のワークショップ。レクチャーと染めの体験を行った。

講師：佐治ゆかり（当館館長）

日時：平成26年8月9日（土）10:00～16:00

場所：創作スタジオ

参加者：15名



公開 ワークショップ

「ハーブで楽しむイングリッシュ・ガーデン」

「イングリッシュ・ガーデン」展関連企画。ハーブの育て方や利用法、苔玉の作り方など、ハーブについてのレクチャーを行った。

講師：瀧田勉氏（ハーブ研究家）

日時：平成26年8月10日（日）14:00～15:30

場所：階段ホール

参加者：50名



「Nゲージのジオラマをつくろう」(1日講座)

「絵本原画展きかんしゃトーマスとなかまたち」関連企画。
Nゲージのジオラマをつくり、最後は参加者全員のNゲージをつなげて鉄道模型を走らせた。

講師：諸星昭弘氏（ジオラマ作家）

日時：平成 26 年 10 月 4 日（土）、5 日（日）

10：00～16：00

場所：多目的スタジオ

参加者：10月4日21名、5日20名 合計41名



公開ワークショップ

「きかんしゃトーマスパパークラフト講座」 (1日2回講座)

「絵本原画展きかんしゃトーマスとなかまたち」関連企画。
きかんしゃトーマスのペーパークラフトづくりを行った。

講師：中山恵理、菅野洋人（当館学芸員）

日時：平成 26 年 10 月 11 日（土）、12 日（日）

午前の部：11：00～12：00

午後の部：14：00～15：00

場所：講義室

参加者：10月11日 午前18名、午後20名

10月12日 午前15名、午後12名

合計65名



「初心者のための伝統木版画」(連続講座)

「大判じ絵展」関連企画。初心者を対象に伝統木版画の技法を体験するワークショップを実施した。

講師：木下泰嘉氏（版画家）

日時：平成 26 年 12 月 13 日（土）、14 日（日）

20 日（土）、21 日（日）10：00～17：00

場所：創作スタジオ

参加者：15名



「石に刻もう」(連続講座)

「舟越保武彫刻展」関連企画。多胡石（砂岩）を使って、直彫りによる自刻像を制作した。

講師：野地庄一氏（彫刻家）

日時：平成 27 年 3 月 14 日（土）、15 日（日）

10：00～17：00

場所：創作スタジオ

参加者：15名



「絵本と美術の世界を楽しもう」(1日講座)

春休み親子ワークショップ。絵本と美術に関連した鑑賞と創作を行った。完成した作品はロビーに展示した。

講師：藤田百合氏（女子美術大学講師）

日時：平成 27 年 3 月 21 日（土）、22 日（日）

10：00～16：00

場所：多目的スタジオ

参加者：3月21日30名、22日26名 合計56名



6) ミュージアム・シアター 会場：多目的スタジオ 10回 参加者数 1,033名

映画もまた芸術の一表現手段であるという観点から、一般上映館ではあまり上映されない過去の名作や実験映画、美術映画などを上映するとともに、市民に美術館を身近なものとして親んでもらうために、子どもから高齢者まで楽しめる映画を上映する。

平成26年度の上映作品は次のとおり10回9作品で、総参加者数は1,033名である。

上映月日	上映時間	上映作品	監督・出演など	参加者数	関連する展覧会
平成26年 5月5日	13:00～16:00	「サウンド・オブ・ミュージック」	監督：ロバート・ワイズ 出演：ジュリー・アンドリュース ほか	92名	ロバート・ドアノー 写真展
7月6日	14:00～15:45	「ラヴェンダーの咲く庭で」	監督：チャールズ・ダンス 出演：ジュディ・デンチほか	80名	イングリッシュ・ガー デン展
7月20日	14:00～15:45	「秘密の花園」	監督：アニエシカ・ホランド 出演：ケイト・メイパリーほか	165名	イングリッシュ・ガー デン展
8月24日	14:00～15:50	「英国式庭園殺人事件」	監督：ピーター・グリーナウエイ 出演：アンソニー・ヒギンズほか	135名	イングリッシュ・ガー デン展
9月15日	14:00～15:25	「きかんしゃトーマス 魔 法の線路」	監督：ブリット・オールクロフト 声：森本レオほか	174名	絵本原画展 き かんしゃトーマスと なかまたち
9月23日	14:00～15:00	「きかんしゃトーマス み んなあつまれ!しゅっぱつ しんこう」	監督：ステイブ・アスキス 声：ジョン・カビラほか	142名	絵本原画展 き かんしゃトーマスと なかまたち
10月13日	14:00～15:00	「劇場版 トーマスをすく え!ミステリーマウンテン」	監督：ステイブ・アスキス 声：ジョン・カビラほか	70名	絵本原画展 き かんしゃトーマスと なかまたち
12月13日	14:00～16:13	「最後の忠臣蔵」	監督：杉田成道 出演：佐藤浩市ほか	30名	大判じ絵展
平成27年 2月22日	14:00～15:20	「殉教血史 日本二十六 聖人、われ世に勝てり」	監督：池田富保 出演：山本嘉一ほか	70名	舟越保武彫刻展
3月15日	14:00～15:20	「殉教血史 日本二十六 聖人、われ世に勝てり」	監督：池田富保 出演：山本嘉一ほか	75名	舟越保武彫刻展

7) ミュージアム・コンサート 会場：階段ホール 1回 参加者数 174 名

美しきチェロの調べ サマー・ガーデンに寄せて

企画展「郡山市制施行 90 周年・合併 50 年記念事業 キュー王立植物園所蔵 イングリッシュ・ガーデン 英国に集う花々」関連事業として、新進気鋭のチェリスト横坂源氏によるミュージアム・コンサートを開催した。

演 奏

横坂源氏（チェロ） 魚谷絵奈氏（ピアノ）

■日時 平成 26 年 7 月 13 日（日） 午後 6 時から

■会場 郡山市立美術館ロビー

■主催 郡山市立美術館

■企画協力 恩地元子

■参加者数 174 名

■プログラム

1. フランクール：チェロソナタ 1, 3 楽章
2. エルガー：愛のあいさつ
3. フォーレ：夢のあとに
4. ショパン：夜想曲 No.2op9-2（ピアノソロ）
5. ドビュッシー：チェロ・ソナタ
6. サン＝サーンス：白鳥
7. シューマン：アダージョとアレグロ
8. ブラームス：野の寂しさ（歌曲）
9. ショパン：華麗なるポロネーズ



8) 朗読会 会場：多目的スタジオ 1回 参加者数 77 名

演目	日時	講師	関連する展覧会	参加者数
『汽車のえほん』 シリーズから5話	平成 26 年 9 月 28 日 ① 11:00 ~ 12:00 ② 14:00 ~ 15:00	菅佐原隆幸氏 (福島中央テレビアナウンサー)	絵本原画展 きかんしゃトーマス となかまたち	午前 45 名 午後 32 名 合計 77 名



9) 吉永小百合チャリティー朗読会 会場：階段ホール 1回 参加者数 150 名

吉永小百合氏は、ライフワークとして「ヒロシマ」「ナガサキ」の原爆詩の朗読を続けている。今回は郡山市立美術館と郡山市立美術館友の会との共催による。

演目	日時	出演	参加者数
吉永小百合 チャリティー朗読会 祈るように語り続けたい ～ヒロシマ、ナガサキ、そしてフクシマ～	平成 26 年 11 月 20 日	朗読：吉永小百合氏 ギター伴奏：村治香織氏 合唱：郡山市立東芳小学校合唱団	150 名

10) 学校との連携授業

①第13回風土記の丘の美術展 ～郡山市内の小学生による作品展～

主催：郡山市立美術館、郡山市小学校造形教育研究会

郡山市内の小学生が図工教科の授業で制作した造形作品を美術館内に展示した。子どもたちの造形活動を促し、教科研究に役立てるとともに、市民が美術館に身近に接する機会をつくる目的で毎年開催している。

会期：平成26年7月21日（月・祝）～8月24日（日）

1期 南方部（7月21日～7月27日）

2期 北方部（7月29日～8月3日）

3期 中方部（8月5日～8月10日）

4期 東方部（8月12日～8月17日）

5期 中方部（8月19日～8月24日）

参加校：62校

作品点数：384点

会場：美術館ロビー

②第7回風土記の空 ～郡山市内の中学校美術部・選択美術による作品展～

郡山市内の中学校が、美術部活動や選択美術などにおいて制作した作品を美術館内に展示した。この展覧会は、美術館と中学校との連携と美術活動の活性化を目的に実施し、額装や展示等も中学生が行っている。

参加校／明健中学校、郡山第四中学校、郡山第五中学校、緑ヶ丘中学校、西田中学校（計5校）

会期：平成26年11月11日（火）～12月21日（日）

会場：美術館ロビー

③鑑賞学習対応

幼稚園 6園 521名 小学校 26校 1586名 中学校 31校 2826名 高等学校 6校 140名

④講師派遣

- ・平成26年度県中地区社会教育指導員連絡協議会研修会
日時：平成26年4月15日（火） 9：40～14：00
場所：講義室
講師：佐治ゆかり
- ・平成26年度郡山市小学校造形教育研究会「研修会」
日時：5月15日（木）15：00～17：00
場所：多目的スタジオ
講師：永山多貴子
- ・平成26年度郡山市小学校教育研究会教科領域研究部研究協議会「図画工作科研究部研修会」
日時：6月3日（火）15：00～17：00
場所：多目的スタジオ
講師：永山多貴子
- ・平成26年度石川地区小学校教育研究会図画工作科研究部会研修会
日時：7月23日（水）13：00～15：30
場所：石川町立石川小学校
講師：永山多貴子
- ・平成26年度田村地区小学校教育研究会図画工作科研修会
日時：7月24日（木）13：00～15：00
場所：企画展示室等
講師：永山多貴子
- ・平成26年度田村地区高等学校美術部実技講習会
日時：7月30日（水）10：00～16：00
場所：企画展示室等
講師：富岡進一
- ・平成26年度福島県教育センター自主企画「先生のための図画工作・美術鑑賞法指導講座」
日時：9月20日（土）10：00～16：00
場所：企画展示室等
講師：富岡進一、杉原聡



第13回風土記の丘の美術展



第7回風土記の空

11) 対外協力

①博物館実習（1件）

期間：平成26年7月31日（木）～8月10日（日）

受入校及び実習生数：4校4名

武蔵野美術大学（1名）／群馬県立女子大学（1名）／宮城学院女子大学（1名）／中央大学（1名）

実習内容：

作品の取扱（平面・立体）、各概論（収集・保存・展示・普及）、機器取扱（カメラ・温湿度計など）、野外彫刻洗浄、ワークショップ補助、体験学習（ギャラリートーク、企画展立案及びプレゼンテーション）。

②ジュニア・インターンシップ（1件）

期間：平成26年11月12日（水）～14日（金）

受入校及び実習生数：清陵情報高校 3名

実習内容：

概論（美術館に係る職業について）、作業補助（広報作業、図書整理など）、体験実習（教材使用、監視業務）。

③職場体験学習（1件）

期間：平成26年7月2日（水）

受入校及び実習生数：郡山市立小原田中学校 3名

実習内容：館内見学、概論（美術館及びその仕事について）、展示器具や計器類の取扱体験。

12) 図書資料・視聴覚資料

調査研究及び教育普及を目的とし、昭和63年から図書、ビデオ、レーザーディスク、CD-ROM、DVD、ブルーレイディスクなどの二次資料を収集し、一部は開架式図書コーナーにおいて公開している。

この二次資料は、平成26年度末現在23,000件を超えているが、専門職員（司書）の配置がなされていないために、慢性的な未整理状態が続いている。早急な司書の配置が望まれる。

13) 刊行物

美術館ニュース「ザ・ルーフ」 A2判カラー四つ折り

Vol.44 (平成 26 年 5 月 30 日発行)

記事

菅野洋人「平成 25 年度新収蔵作品紹介 小林万吾『朽葉の袖』」	表紙
永山多貴子「ロベール・ドアノー写真展 パリ・アルプス・幸せな時間」	p.2
富岡進一「郡山市制施行 90 周年・合併 50 年記念 キュー王立植物園所蔵 イングリッシュ・ガーデン 英国に集う花々」	p.2
菅野洋人「絵本原画展 きかんしゃトーマスとなかまたち」	p.3
安藤真司「美術館での出会い」	p.3
INFORMATION、TOPICS	p.4

※裏面：「私のお気に入り、ベスト展—みなさんの投票で、展示作品が選ばれます—」

Report (ワークショップ等)

美術館ニュース「ザ・ルーフ」 A4判カラー 8 ページ

Vol.45 (平成 26 年 12 月 9 日発行)

記事

「私のお気に入りベスト展」	表紙
田中有沙子「報告 『私のお気に入りベスト展』」	p.2
新田量子「大判じ絵展」	p.3
田中有沙子「舟越保武彫刻展—まなざしの向こうに—」	p.4
永山多貴子「ワークショップ報告『ガーデン・デザインを楽しむ』」、「ワークショップ報告」	p.5
諸星昭弘「神様になって遊ぶ、ジオラマづくり」	p.6
Report (コンサート、ワークショップ等)	p.7
INFORMATION、TOPICS	p.8

郡山市立美術館年報 平成 25 年度

A4判 84 ページ (平成 26 年 9 月 2 日発行)

ザ・ルーフ・ミュージアム・カレンダー

A4 片面カラー三ツ折

常設展示目録

「常設展示目録 第1期 平成 26 年 4 月 23 日～7 月 13 日」

B4 両面モノクロ 4 ページ

「常設展示目録 第2期 平成 26 年 7 月 16 日～10 月 19 日」

B4 両面モノクロ 4 ページ

「常設展示目録 第3期 平成 26 年 10 月 22 日～平成 27 年 2 月 1 日」

B4 両面モノクロ 4 ページ

「常設展示目録 第4期 平成 27 年 2 月 4 日～4 月 26 日」

B4 両面モノクロ 4 ページ

ポスター・チラシ・パンフレット

ロベール・ドアノー写真展

ポスター B2 カラー、チラシ A4 両面カラー

イングリッシュ・ガーデン

ポスター B2 カラー、チラシ A4 両面カラー

サマープログラム

B4 変形両面カラー

絵本原画展 きかんしゃトーマスとなかまたち

ポスター B2 カラー、チラシ A4 両面カラー

大判じ絵展

ポスター B2 カラー、チラシ A4 両面カラー、鑑賞ガイド A5 カラー 16 ページ

舟越保武彫刻展

ポスター B2 カラー、チラシ A4 両面カラー

郡山市立美術館文化講座「アート・テーク」

チラシ A4片 面2色、片 面1色

ミュージアム・コンサート 横坂源 美しきチェロの調べ〜サマー・ガーデンに寄せて〜

チラシ A4片 面2色、片 面1色



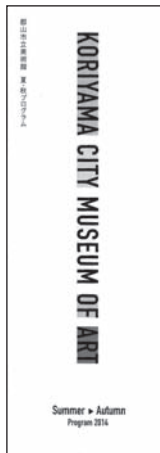
『ザ・ルーフ』 Vol.44



『ザ・ルーフ』 Vol.45



『ザ・ルーフ・ミュージアム・カレンダー』



『サマープログラム』



『郡山市立美術館文化講座「アート・テーク」』 チラシ



『ミュージアム・コンサート』 チラシ

研究紀要

『郡山市立美術館研究紀要 第8号』 A4判 72ページ（平成27年3月31日発行）

菅野洋人「舟越保武作《長崎26殉教者記念像》について」、佐藤秀彦（監修・解題・註釈）／岸田陽子（翻訳）
「クリストファー・ドレッサー著『日本-その建築、美術、工芸』第1章～第2章」

14) 寄稿及び関連記事・報道

編著

- ・佐治ゆかり「背守り—子どもの魔よけ」、LIXIL BOOKLET 単行本（ソフトカバー）平成26年3月15日。
- ・富岡進一「J.M.W.ターナーと光学—ニュートン、ハリス、ブリュースター、ゲーテ」、山口恵里子編『ロンドン—アートとテクノロジー』〈西洋近代の都市と芸術8〉、竹林舎、平成26年12月1日、82-106頁。
- ・永山多貴子「林俊衛」他、酒井忠康監修『日本の20世紀芸術』、平凡社、平成26年12月25日、184-186頁。

講演

- ・佐治ゆかり「端縫い—境界を接ぐ」、鹿児島大学総合研究博物館第14回公開講座、平成26年6月7日。
- ・佐治ゆかり「背守り—子どもの魔よけ」、LIXIL「背守り 子どもの魔よけ」展講演会、平成26年7月29日。
- ・佐治ゆかり「よみがえる布」、国際基督教大学湯浅八郎記念館「よみがえる布 寄裂・裂織」展公開講座、平成26年10月4日。
- ・佐治ゆかり「黒森歌舞伎から描く近世の芸能構造」、昭和女子大学人間文化部歴史文化学科 第2回特殊研究講座、平成26年10月15日。
- ・佐治ゆかり「京都賞 志村ふくみの思想 作品解説」、第30回京都賞記念ワークショップ 思想・芸術部門講演会、平成26年11月12日。

市政きらめき出前講座

- ・菅野洋人「郡山ゆかりの美術講座」開成地域公民館、平成 26 年6月5日。
- ・菅野洋人「郡山ゆかりの美術講座」赤木地域公民館、平成 26 年7月 25 日。
- ・菅野洋人「郡山ゆかりの美術講座」緑ヶ丘地域公民館、平成 26 年8月 27 日。
- ・菅野洋人「郡山ゆかりの美術講座」ビッグアイ7階（郡山市あさかの学園大学 09 研修クラブ2年次）、平成 26 年9月2日。
- ・菅野洋人「郡山ゆかりの美術講座」ビッグアイ7階（郡山市あさかの学園大学研修クラブ1年次）、平成 26 年 10 月7日。
- ・鈴木誠一「美術に関する教養講座」ビッグアイ7階（郡山市あさかの学園大学）、平成 26 年 11 月 21 日。
- ・永山多貴子「美術に関する教養講座」郡山市立鬼生田小学校理科室（郡山市立鬼生田小学校家庭教育学級）、平成 26 年 12 月 4 日。

寄稿

- ・鈴木誠一「ふくしま人 104 ガラス工芸家 佐藤潤四郎 3」、『福島民報』平成 26 年 4 月 5 日付。
- ・佐治ゆかり「ティータイム 188 『もの』が語る、『もの』を語る」、『福島民報』平成 26 年 4 月 11 日付。
- ・鈴木誠一「ふくしま人 105 ガラス工芸家 佐藤潤四郎 4」、『福島民報』平成 26 年 4 月 12 日付。
- ・鈴木誠一「ふくしま人 106 ガラス工芸家 佐藤潤四郎 5」、『福島民報』平成 26 年 4 月 19 日付。
- ・佐治ゆかり「ティータイム 193 雑草」、『福島民報』平成 26 年 7 月 4 日付。
- ・佐治ゆかり「ティータイム 198 『色』の時間」、『福島民報』平成 26 年 9 月 12 日付。
- ・佐治ゆかり「ティータイム 203 人生の目印」、『福島民報』平成 26 年 12 月 5 日付。
- ・佐治ゆかり「道標 ふるさと～違和感の原点」『愛媛新聞』平成 27 年 1 月 11 日付。
- ・鈴木誠一「佐藤潤四郎（郡山市出身）デザイン マッサン『最高の器』」、『福島民報』平成 27 年 1 月 23 日付。
- ・佐治ゆかり「ティータイム 206 『東北』をみる」、『福島民報』平成 27 年 2 月 6 日付。
- ・佐治ゆかり「道標 想像力の原点」、『愛媛新聞』平成 27 年 2 月 15 日付。
- ・佐治ゆかり「道標 東日本大震災その後～福島で生きる」『愛媛新聞』平成 27 年 3 月 22 日付。

関連記事

新聞

- ・「市内出身彫刻家を集集 郡山市立美術館が展示企画」、『福島民報』平成 26 年 4 月 1 日付。
- ・「車窓に浮かぶ“親子愛”」、『福島民報』平成 26 年 4 月 1 日付。
- ・「マッサンのボトル展示 郡山市立美術館」、『福島民報』平成 27 年 3 月 1 日付。

雑誌その他

- ・佐藤昭一「昭ちゃんの時評 常設展（4/23～）」、『街こおりやま』平成 26 年 5 月号、第 469 号、街こおりやま社。
- ・佐藤昭一「昭ちゃんの時評 常設展・その2（～7/13）」、『街こおりやま』平成 26 年 6 月号、第 470 号、街こおりやま社。
- ・佐藤昭一「昭ちゃんの時評 個展を終えて」、『街こおりやま』平成 26 年 7 月号、第 471 号、街こおりやま社。
- ・佐藤昭一「昭ちゃんの時評 私のお気に入りベスト展（7/16～）」、『街こおりやま』平成 26 年 8 月号、第 472 号、街こおりやま社。
- ・佐藤昭一「昭ちゃんの時評 常設展（10/22～2/1）」、『街こおりやま』平成 26 年 10 月号、第 474 号、街こおりやま社。
- ・佐藤昭一「昭ちゃんの時評 常設展と県南美協展」、『街こおりやま』平成 26 年 11 月号、第 475 号、街こおりやま社。
- ・佐治ゆかり「作品解説」、「志村ふくみ つむぎの思想—志村ふくみの世界」、第 30 回京都賞記念ワークショップ 思想・芸術部門講演会解説書、平成 26 年 11 月 12 日。
- ・中山恵理「街なかのアート 新商工会議所会館1階に佐藤静司作『風』」、『街こおりやま』平成 26 年 12 月号、第 476 号、街こおりやま社。
- ・「街なかのアート 佐藤静司『青い時』ブロンズ 1991 年設置」、『街こおりやま』平成 27 年 1 月号、第 477 号、街こおりやま社。
- ・新田量子「街なかのアート 『スーパーニッカ』手吹きボトル」、『街こおりやま』平成 27 年 2 月号、第 478 号、街こおりやま社。
- ・「街なかのアート 『水の都 街こおりやま』1991 年設置」、『街こおりやま』平成 27 年 3 月号、第 479 号、街こおりやま社。

IV 作品収集・保存管理事業

1) 収蔵作品・美術資料・寄託作品一覧

美術品の収集は、(1)イギリスの近代美術、(2)日本の近代美術、(3)郡山ゆかりの美術、(4)本(版)の美術、の4つの柱を基本方針として行っている。

平成26年度の収集状況は、購入7件、寄贈27件で、内訳は下表のとおりである。

	油 彩	水彩、素描	日本画	版 画	彫刻	工芸	計	美術資料
平成12年度まで	231	353	28	1,198	24	166	2,000	103
平成13年度	2	0	2	21	1	2	28	0
平成14年度	16	27	0	29	6	16	94	0
平成15年度	2	0	2	0	0	0	4	0
平成16年度	9	1	1	0	0	0	11	0
平成19年度	0	0	17	0	8	5	30	0
平成20年度	13	16	0	1	1	0	31	0
平成24年度	4	0	0	2	0	0	6	2
平成25年度	2	0	0	0	0	1	3	0
平成26年度	1	0	0	3	1	22	27	7
合計	280	397	50	1,254	41	212	2,234	112

■平成26年度新収蔵作品

No.	作者名	タイトル	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	取得形態
1	佐藤潤四郎	水指(カットグラス)	1986(昭和61)	ガラス/型吹き・カット	h18.4×w15.5	購入
2	佐藤潤四郎	ボウル(グリーン)		ガラス/宙吹き	h8.6×w21.5	購入
3	佐藤潤四郎	皿(グリーン)		ガラス/宙吹き	h6.0×w29.2	購入
4	佐藤潤四郎	三角一輪挿し(グリーン)		ガラス/宙吹き	h24.0×w6.0	購入
5	佐藤潤四郎	四角一輪挿し(グリーン)		ガラス/宙吹き	h22.7×w6.0	購入
6	佐藤潤四郎	タンブラー(スモークグラス)(2点組)		ガラス/宙吹き	各 h10.8×w6.0	購入
7	佐藤潤四郎	シュガーポット		ガラス/型吹き・金属	h11.6×w10.4	購入
8	佐藤潤四郎	アイスクリーム皿		ガラス/宙吹き	h8.3×w10.4	大方竜子氏寄贈
9	佐藤潤四郎	オブジェ・羊車(鍛鉄)		金工(鍛鉄)	h20.9×w17.2×d29.7	大方竜子氏寄贈
10	佐藤潤四郎	オブジェ・ガラスを吹く人(2点組)		金工(鍛鉄)	h15.0×w5.0×d11.1, h13.0×w4.1×d9.5	大方竜子氏寄贈
11	佐藤潤四郎	植物文花器		金工	h14.2×w12.5	大方竜子氏寄贈
12	佐藤潤四郎	陶皿に描く1		陶器	h6.8×w27.0	大方竜子氏寄贈
13	佐藤潤四郎	陶皿に描く2		陶器	h6.8×w27.0	大方竜子氏寄贈
14	佐藤潤四郎	陶皿に描く3		陶器	h6.8×w27.0	大方竜子氏寄贈
15	佐藤潤四郎	陶皿に描く4		陶器	h6.8×w27.0	大方竜子氏寄贈
16	佐藤潤四郎	陶器で仏足跡1		陶器	h16.5×w41.5	大方竜子氏寄贈
17	佐藤潤四郎	陶器で仏足跡2		陶器	h19.2×w41.5	大方竜子氏寄贈
18	佐藤潤四郎	石で仏足跡		石彫	h18.3×w39.7	大方竜子氏寄贈
19	佐藤潤四郎	陶板・仏足跡1		陶器	h22.0×w39.4×d1.9	大方竜子氏寄贈
20	佐藤潤四郎	陶板・仏足跡2		陶器	h37.2×w20.7×d2.3	大方竜子氏寄贈
21	佐藤潤四郎	陶板・仏足跡、五輪塔		陶器	h36.3×w21.2×d1.8	大方竜子氏寄贈
22	佐藤潤四郎	陶板・天使		陶器	h13.8×w21.5×d1.7	大方竜子氏寄贈
23	佐藤潤四郎	窯場の朝(ルツボの中)		淡彩・紙	42.7×27.7	大方竜子氏寄贈 美術資料
24	佐藤潤四郎	ガラスで作ろう		淡彩・紙	14.3×23.0	大方竜子氏寄贈 美術資料
25	佐藤潤四郎	タンブラーを吹く人の足元		淡彩・紙	25.8×39.3	大方竜子氏寄贈 美術資料
26	佐藤潤四郎	白鳥とレダ		淡彩・紙	47.1×34.6	大方竜子氏寄贈 美術資料
27	佐藤潤四郎	ロンドンの屋根		淡彩・紙	10.0×17.3	大方竜子氏寄贈 美術資料
28	佐藤潤四郎	インド・一本の道		淡彩・紙	9.9×18.8	大方竜子氏寄贈 美術資料
29	佐藤潤四郎	インド・サリーの女		淡彩・紙	24.5×18.0	大方竜子氏寄贈 美術資料
30	高山良策	こども	1954(昭和29)	油彩・キャンバス	91.5×73.9	西村祐次氏寄贈
31	杉原正巳	暑中見舞	1937(昭和12)	木版・紙	14.0×9.0	吉留直輝氏寄贈
32	杉原正巳	愛書票	1943(昭和18)	木版・紙	7.8×5.7	吉留直輝氏寄贈
33	杉原正巳	チャンドラ・ポーズ	1943(昭和18)	木版・紙	42.0×35.0	吉留直輝氏寄贈
34	佐藤静司	十二支(12点)	1993-97(平成5-9)	木彫	h11.0×w10.4×d21.3 他	小針健司氏寄贈

■平成 26 年度新収蔵作品図版



1 佐藤潤四郎 水指 (カットグラス)



2 佐藤潤四郎 ボウル (グリーン)



3 佐藤潤四郎 皿 (グリーン)



4 佐藤潤四郎 三角一輪挿し (グリーン)



5 佐藤潤四郎 四角一輪挿し (グリーン)



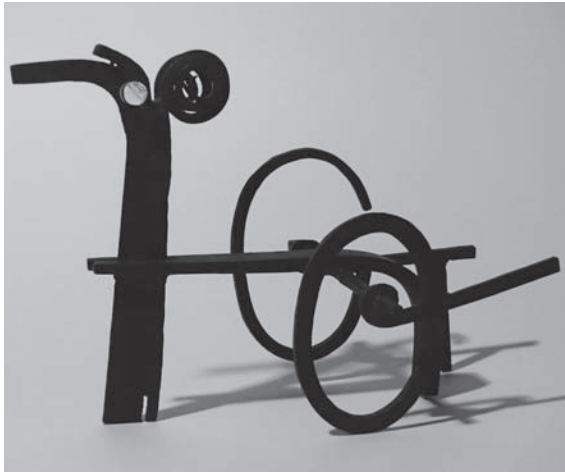
6 佐藤潤四郎 タンブラー (スモークグラス) (2点組)



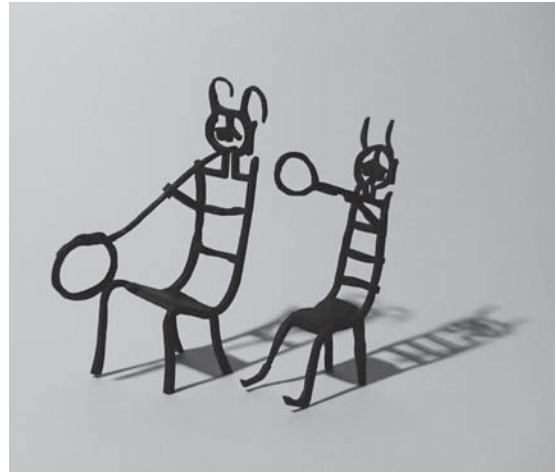
7 佐藤潤四郎 シュガーポット



8 佐藤潤四郎 アイスクリーム皿



9 佐藤潤四郎 オブジェ・羊車（鍛鉄）



10 佐藤潤四郎 オブジェ・ガラスを吹く人（2点組）



11 佐藤潤四郎 植物文花器



12 佐藤潤四郎 陶皿に描く1



13 佐藤潤四郎 陶皿に描く2



14 佐藤潤四郎 陶皿に描く3



15 佐藤潤四郎 陶皿に描く4



16 佐藤潤四郎 陶器で仏足跡1



17 佐藤潤四郎 陶器で仏足跡2



18 佐藤潤四郎 石で仏足跡



19 佐藤潤四郎 陶板・仏足跡1



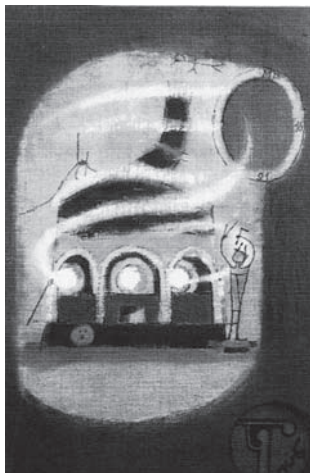
20 佐藤潤四郎 陶板・仏足跡2



21 佐藤潤四郎 陶板・仏足跡、五輪塔



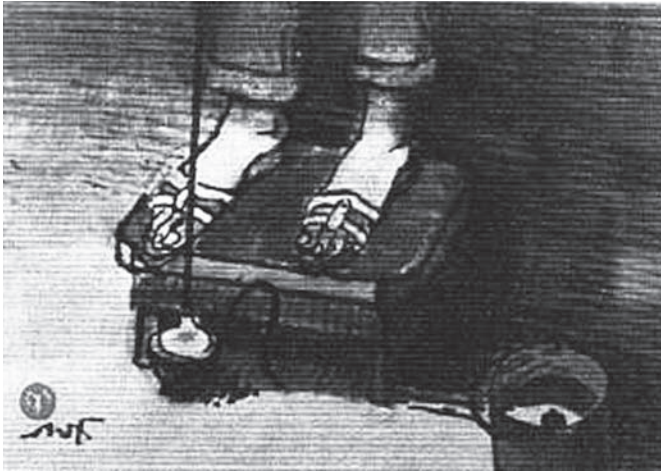
22 佐藤潤四郎 陶板・天使



23 佐藤潤四郎 窯場の朝 (ルツボの中)



24 佐藤潤四郎 ガラスで作ろう



25 佐藤潤四郎 タンブラーを吹く人の足元



26 佐藤潤四郎 白鳥とレダ



27 佐藤潤四郎 ロンドンの屋根



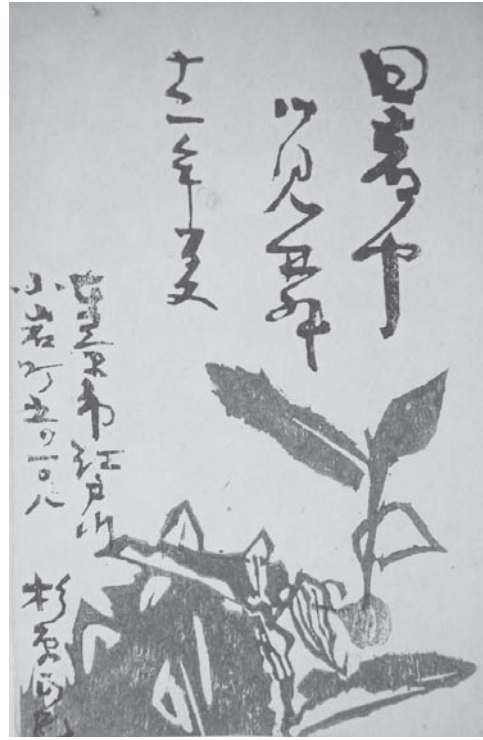
28 佐藤潤四郎 インド・一本の道



29 佐藤潤四郎 インド・サリーの女



30 高山良策 こども



31 杉原正巳 暑中見舞



32 杉原正巳 愛書票



33 杉原正巳 チャンドラ・ボース



「子」



「丑」



「寅」



「卯」



「辰」



「巳」

作品収集・
保存管理事業



「午」



「未」



「申」



「酉」



「戌」



「亥」

2) 収蔵作品貸出状況

作者名	作品名	展覧会名	会場	会期
アルバート・ジョセフ・ムーア	黄色 いマーガレット	「ザ・ビューティフルー英国の唯美主義 1860 - 1900」展	三菱一号館美術館	平成26年1月30日(木)～5月6日(火・祝)
岸田劉生	銀座数寄屋橋	「岸田吟香・劉生・麗子ー知られざる精神の系譜」展	世田谷美術館	平成26年2月8日(土)～4月6日(日)
	銀座と数寄屋橋畔 秦の像		岡山県立美術館	平成26年4月18日(金)～5月25日(日)
亀井至一	『玄々堂人物写生帳』			
岸田劉生	照子像	描かれたチャイナドレスー藤島武二から梅原龍三郎まで	ブリヂストン美術館	平成26年4月26日(土)～7月21日(月・祝)
尾藤豊	川口鋳物	われわれは〈リアル〉である 1920s - 1950s プロレタリア美術運動からルポルタージュ絵画運動まで: 記録された民衆と労働	武蔵野市立吉祥寺美術館	平成26年5月17日(土)～6月29日(日)
	川口鋳物工場A			
	川口鋳物工場B			
高山良策	漁夫			
浜田知明	初年兵哀歌 (山を行く砲兵隊)			
中村宏	射殺 Aching			
フランク・ブランギン	花園	西洋近代美術の潮流	鹿児島市立美術館	平成26年7月18日(金)～8月31日(日)
ウォルター・シッカート	カフェの中			
サー・エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ	『フラワー・ブック』より 「ヴァイナスの鏡」 「魔法使いの木」 「誤ったマーキュリー」			
白瀧幾之助	編物をする少女		青森県美術館	平成26年7月12日(土)～9月7日(日)
岡村政子	仙女伏姫幽洞窟	「美少女の美術史」展	静岡県立美術館	平成26年9月20日(土)～11月16日(日)
	みなつる姫		島根県立石見美術館	平成26年12月13日(土)～2015年2月16日(月)
岡村政子 (推定)	愛犬と少女			
浅井忠	少女の顔	佐倉学ー浅井忠展	佐倉市立美術館	平成26年8月2日(土)～9月7日(日)
中川八郎	早春	「太平洋に馳せる夢ー水彩画家たちの浪漫と冒険」展	丸山晚霞記念館	平成26年9月13日(土)～11月3日(月・祝)
	おぼろ月夜			
	秋の河辺			
安井曾太郎	初秋の北京	安井曾太郎の世界ー人物画を中心にー	ふくやま美術館	平成26年9月20日(土)～11月16日(日)
			佐倉市立美術館	平成26年11月22日(土)～12月25日(木)
ウィリアム・ブレイク	眠るダンカン王に近づくマクベス夫人	「見つめて、シェイクスピア!」展	練馬区立美術館	平成26年9月28日(日)～11月30日(日)
			滋賀県立近代美術館	平成27年2月7日(土)～4月5日(日)
三宅克己	渋谷村天現寺附近の茶店	生誕140年・没後60年記念 水彩表現の開拓者 三宅克己回顧展	徳島県立近代美術館	平成26年10月11日(土)～12月7日(日)
	箱根			
	ブルージュ			
	セース河畔サンジェルマンを望む			
舟越保武	少女像	舟越保武彫刻展ーまなざしの向こうにー	岩手県立美術館	平成26年10月25日(土)～12月7日(日)
			練馬区立美術館	平成27年7月12日(日)～9月6日(日)
佐藤静司	獺	佐藤静司彫刻展	郡山市民プラザ (郡山市文化協会)	平成26年11月11日(火)～11月13日(木)
	やすを持つ少年			
	風紋			
	春の音			
	閑 合掌			

3) 収蔵作品修復状況

紙作品マット装作業

郡山市立美術館では多数の紙を支持体とする作品を収蔵しているが、そのなかに額装やマット装されていない作品も多数含まれている。それらは、常設展示などへの出し入れの際に、破損や折れなどが生じやすい状態のため、平成25年度から必要に応じて物理的、化学的な修復もいれながら、順次マット装化を進めていくことになった。マットへの固定は、原則として和紙によるヒンジ固定を行った。

今年度は下記作品のマット装を行った。

作者名	タイトル	制作年	技法	寸法 (cm)
鎌田正蔵	「遁走」素描1	1947年	墨・紙	16.5×23.5
鎌田正蔵	結婚の前夜祭	1948年	インク・印画紙	19.9×23.6
鎌田正蔵	化粧する女たち	1948年	インク・紙	20.2×28.5
鎌田正蔵	婚礼の夜	1948年	鉛筆、インク・紙	20.3×28.6
鎌田正蔵	遁走する花嫁	1948年	鉛筆、インク・紙	28.6×22.7
鎌田正蔵	あらい	1948年	水彩、インク、鉛筆・印画紙	21.5×26.5
鎌田正蔵	対話	1949年	水彩・印画紙	20.2×31.4
鎌田正蔵	「飢える人」素描1	1952年	鉛筆・紙	17.9×25.8
鎌田正蔵	「飢える人」素描2	1952年	鉛筆・紙	17.9×25.8
鎌田正蔵	「飢える人」素描3	1952年	鉛筆・紙	17.9×25.8
鎌田正蔵	スケッチ(若松光一郎)	1946年	鉛筆・紙	31.3×24.0
鎌田正蔵	無題	1949年頃	鉛筆、フロッタージュ・紙	27.7×21.2
鎌田正蔵	無題	1949年頃	鉛筆、フロッタージュ・紙	24.4×34.0
鎌田正蔵	作品	1961年	水彩・紙	25.7×35.9
鎌田正蔵	私のロマネスク A	1977年	アクリル・紙	41.0×30.9
鎌田正蔵	私のロマネスク B	1977年	アクリル・紙	40.8×30.9
鎌田正蔵	独身者	1980年	アクリル・紙	46.8×34.0
鎌田正蔵	象男	1981年	アクリル・紙	55.0×37.2
鎌田正蔵	作品 926	1992年	アクリル、パステル、修正液・紙	76.8×55.9
鎌田正蔵	黒い絵	1993年	アクリル、パステル・紙	53.0×55.9

4) その他の保存管理事業

◆燻蒸

作業日時：平成27年1月8日～14日

燻蒸箇所：企画展示室（容積合計 6,790m³）

使用薬剤：エキヒュームS

施工業者：関東港業（株）

効果判定：殺虫、殺卵、殺カビすべて100%

（公益財団法人文化財虫害研究所による判定）

V 利用者数

美術館総利用者数 89,694 人

1) 展覧会 66,669 人

展覧会観覧者数

(人)

展 覧 会	期 間	日 数	観 覧 者 数
ロベール・ドアノー写真展	平成 26 年 4 月 19 日～ 6 月 15 日	50	4,904
イングリッシュ・ガーデン	平成 26 年 6 月 28 日～ 8 月 24 日	50	13,785
絵本原画展 きかんしゃトーマスとなかまたち	平成 26 年 9 月 6 日～ 10 月 26 日	44	11,486
大判じ絵展	平成 26 年 11 月 1 日～ 12 月 21 日	44	6,328
舟越保武彫刻展	平成 27 年 1 月 24 日～ 3 月 22 日	50	6,809
企画展小計			43,312
常設展	平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日	290	3,091
企画展観覧券で常設展も観覧した人数	平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日	238	20,266
合計			66,669

(内訳)

(人)

		企画展計	ロベール・ドアノー写真展	イングリッシュ・ガーデン	絵本原画展 きかんしゃトーマス となかまたち	大判じ絵展	舟越保武 彫刻展	常設展	企画展観覧券 で常設展も観覧 した人数	
有 料	個 人	一 般	16,444	2,438	5,107	4,045	2,395	2,459	1,082	8,063
		高・大	840	144	296	169	101	130	105	523
		計	17,284	2,582	5,403	4,214	2,496	2,589	1,187	8,586
	団 体	一 般	181	27	75	77	2	0	120	188
		高・大	110	77	33	0	0	0	2	110
		計	291	104	108	77	2	0	122	298
	友 の 会	一 般	461	95	102	42	87	135	45	161
		高・大	17	4	6	1	2	4	0	6
		計	478	99	108	43	89	139	45	167
小計		18,053	2,785	5,619	4,334	2,587	2,728	1,354	9,051	
無 料	高 齢 者	10,162	994	3,625	1,023	1,804	2,716	417	4,721	
	シ ル バ ー	191	31	66	9	26	59	11	72	
	一 般	0	0	0	0	0	0	113	0	
	高 ・ 大	0	0	0	0	0	0	1	0	
	中学生以下(個人)	4,926	153	1,033	3,173	373	194	159	1,022	
	中学生以下(団体)	4,193	53	1,858	1,519	688	75	843	3,420	
	減 免	104	60	35	9	0	0	18	104	
	ピ ラ 下 券	2,302	431	663	503	322	383	0	756	
	招 待 券	505	61	126	123	77	118	0	194	
	関 係 者	1,101	121	323	280	174	203	96	579	
	障 が い 者	884	117	257	158	159	193	44	121	
	療 育 / 精 神	381	36	67	182	38	58	15	110	
	同 伴 者	510	62	113	173	80	82	20	116	
	小 計	25,259	2,119	8,166	7,152	3,741	4,081	1,737	11,215	
合 計		43,312	4,904	13,785	11,486	6,328	6,809	3,091	20,266	

2) 教育普及事業 23,025人

(人)			
事業名	回数	人数	備考
アート・テーク	6	475	
講演会	4	385	
美術講座	8	226	
ギャラリートーク	12	362	
ワークショップ	11	384	
ミュージアム・シアター	10	1,033	
ミュージアム・コンサート	1	174	
朗読会	2	77	
吉永小百合 チャリティ朗読会	1	150	郡山市立美術館友の会との共催
風土記の丘の美術展	1	10,205	各期6日×5期開催
風土記の空	1	4,429	平成26年11月11日～12月21日開催
鑑賞学習対応	-	5,115	幼稚園6園・小学校26校・ 中学校31校・高校6校
博物館実習	1	4	平成26年7月31日～8月10日
ジュニア・インターンシップ	1	3	平成26年11月12日～14日
職場体験学習	1	3	平成26年7月2日
合計	59	23,025	

利用者数

3) 過去5年間の利用者数推移状況

年 度	平成 21 (2009)	平成 22 (2010)	平成 23 (2011)	平成 24 (2012)	平成 25 (2013)	
総利用者数(人)	106,373	95,156	78,341	92,641	91,175	
展覧会	展覧会観覧者数(人)	87,575	72,676	56,414	76,192	68,351
	企画展本数(本)	6	6	4	6	5
普及事業	普及事業参加者数(人)	18,798	22,480	21,927	16,449	22,824
	普及事業回数(回)	55	51	40	56	52
備 考		平成 23 年 3 月 11 日東日本大震災 同年 7 月 15 日まで休館 平成 23 年度企画展 2 本中止				

4) 教育普及事業別参加者数推移状況

年 度		平成 21 (2009)	平成 22 (2010)	平成 23 (2011)	平成 24 (2012)	平成 25 (2013)	主な使用場所
アート・トーク	参加者数(人)	—	—	—	113	618	多目的スタジオ、講義室等
	回数	—	—	—	5	6	
講演会	参加者数(人)	597	615	325	584	373	多目的スタジオ
	回数	4	3	4	6	5	
美術講座	参加者数(人)	233	229	198	154	146	講義室、多目的スタジオ
	回数	9	9	7	9	7	
ギャラリートーク	参加者数(人)	533	442	228	423	336	企画展示室
	回数	16	15	8	14	10	
ワークショップ	参加者数(人)	571	740	788	280	594	多目的スタジオ、講義室、階段ホール等
	回数	9	9	8	6	10	
ミュージアムシアター	参加者数(人)	780	629	487	813	534	多目的スタジオ
	回数	11	9	7	12	8	
ミュージアムコンサート	参加者数(人)	300	213	288	180	170	多目的スタジオ、階段ホール等
	回数	2	2	2	1	1	
朗読会	参加者数(人)	0	320	0	0	272	多目的スタジオ、階段ホール
	回数	0	2	0	0	2	
風土記の丘の美術展	参加者数(人)	5,188	11,324	11,967	6,682	11,584	ロビー
	回数	1	1	1	1	1	
風土記の空	参加者数(人)	6,421	4,625	6,201	3,611	3,491	ロビー
	回数	1	1	1	1	1	
鑑賞学習対応	参加者数(人)	4,168	3,653	3,011	3,602	4,700	企画展示室、常設展示室、多目的スタジオ等
	受入れ校数	39	39	28	37	75	
博物館実習	参加者数(人)	5	8	9	7	6	講義室等
	受入れ校数	4	6	7	4	6	
ジュニア・インターンシップ	参加者数(人)	2	2	0	3	4	講義室等
	受入れ校数	1	1	0	1	2	
職場体験	参加者数(人)	2	3	2	0	0	講義室等
	回数	1	1	1	0	0	

VI 管理運営

1) 関係法規・組織

郡山市立美術館条例

【設置】

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条第1項及び博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)第18条の規定に基づき、市民の美術に関する知識と教養の向上を図り、文化の発展に寄与するため、美術館を設置する。

【名称及び位置】

第2条 美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
郡山市立美術館	郡山市安原町字大谷地130番地の2

【管理】

第3条 郡山市立美術館(以下「美術館」という。)は、郡山市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が、これを管理する。

【事業】

第4条 美術館の事業は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 美術品その他美術に関する資料(以下「美術品等」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 美術に関する調査及び研究を行うこと。
- (3) 美術に関する展覧会、講演会、講習会及び映写会等を開催すること。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、目的を達成するために必要な事業を行うこと。

【観覧料】

第5条 美術館の常設展(美術品等の常設展示をいう。以下同じ。)を観覧しようとする者は、別表第1に定める常設展観覧料を納入しなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、常設展観覧料を無料とする。

- (1) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律178号)に規定する休日に観覧する場合
 - (2) 次項に定める企画展を観覧する場合
- 2** 美術館の企画展(常設展以外の展示をいう。以下同じ。)を観覧しようとする者は、別表第2に定める企画展観覧料を納入しなければならない。
- (平10条例35・一部改正)

【撮影等の許可及び特別観覧料】

第6条 学術研究等のため、美術館に展示され、又は保管されている美術品等の撮影、模写又は模造等(以下「撮影等」という。)をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第3に定める特別観覧料を納入しなければならない。

【観覧料等の不返還】

第7条 既納の常設展観覧料、企画展観覧料及び特別観覧料(以下「観覧料等」という。)は、これを返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を返還することができる。

- (1) 観覧又は撮影等をしようとする者の責めによらない理由により、観覧又は撮影等ができなかったとき。
- (2) その他教育委員会が特別の理由があると認めたとき。

【観覧料等の免除】

第8条 市長は、公用又は公益上特に必要があると認めるときは、観覧料等の全部又は一部を免除することができる。

【入館の制限等】

第9条 次の各号のいずれかに該当するときは、教育委員会は、美術館への入館を拒み、又は退館させることができる。

- (1) 公益を害し、又は風俗を乱すおそれがあると認めるとき。
- (2) 施設、設備又は美術品等をき損又は汚損するおそれがあると認めるとき。
- (3) この条例及びこれに基づく規則に違反し、又はそのおそれがあると認めるとき。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、管理運営上適当でないとき。

【賠償責任】

第10条 施設、設備又は美術品等をき損、汚損、又は滅失した者は、教育委員会の指示に従い、その損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会がやむを得ない理由があると認めるときは、その額を減額し又は免除することができる。

【美術館協議会】

第11条 法第20条第1項の規定に基づき、美術館に郡山市立美術館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員(以下「委員」という。)は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が任命する。

3 委員の定数は、10名以内とし、その任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

【職員】

第12条 美術館に館長その他必要な職員を置く。

【委任】

第13条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

附 則

この条例は、平成4年7月1日から施行する。ただし、第5条から第9条の規定は、平成4年11月21日から施行する。

附 則(平成10年郡山市条例第35号)

この条例は、平成10年10月1日から施行する。ただし、第5条第1号の改正規定は、公布の日から施行する。

附 則(平成13年郡山市条例第31号)

この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附 則(平成15年郡山市条例第25号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成22年郡山市条例第78号)

(施行期日)

1 この条例は、平成23年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日前に撮影等の許可を受けた者に係る特別観覧料の額については、なお従前の例による。

別表第1 【第5条関係】

(平10条例35・平13条例31・平22条例78・一部改正)

常設展観覧料

区 分	観 覧 料	
	個人	団体
高校生、大学生及びこれらに準ずる者	1人1回につき 100円	1人1回につき 70円
一 般	1人1回につき 200円	1人1回につき 150円

備考

- 1 「団体」とは、20名以上をいう。
- 2 65歳以上の者は、無料とする。

別表第2 【第5条関係】

(平13条例31・平15条例25・一部改正)

企画展観覧料

区 分	観 覧 料	
	個人	団体
高校生、大学生及びこれらに準ずる者	1人1回につき1,500円の範囲内 でそのつと市長が定める額	
一 般		

備考

- 1 「団体」とは、20名以上をいう。
- 2 団体観覧料は、個人観覧料の10分の8に相当する額とし、10円未満の端数が生じた場合は、これを10円に切り上げる。
- 3 65歳以上の者は、無料とする。

別表第3 【第6条関係】(平22条例78・一部改正)

特別観覧料

区 分	観 覧 料	
撮影	モノクローム	1点1回につき 1,600円
	カラー	1点1回につき 3,100円
模 写 模 造	1点1日につき	2,100円
熟 覧	1点1回につき	200円

備考

- 1 一双屏風は、一双以内を1点とする。
- 2 一揃えの卷子(巻物をいう。)は、一揃え以内を1点とする。
- 3 対幅は、対幅以内を1点とする。
- 4 写真撮影は、同一作品について原板3枚以内を1回とする。

郡山市立美術館条例施行規則

【趣旨】

第1条 この規則は、郡山市立美術館条例(平成4年郡山市条例第29号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

【観覧券の交付】

第2条 郡山市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、常設展観覧料を納入した者に対して郡山市立美術館常設展観覧券(第1号様式)を、企画展観覧料を納入した者に対してそのつど定める郡山市立美術館企画展観覧券を交付する。

【撮影等の許可】

第3条 美術品その他美術に関する資料の撮影、模写又は模造等(以下「撮影等」という。)をしようとする者は、郡山市立美術館撮影等許可申請書(第2号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項に規定する撮影等を許可したときは、郡山市立美術館撮影等許可書(第3号様式)を申請人に交付する。

【観覧料等の返還】

第4条 条例第7条ただし書の規定により返還する観覧料等の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

(1) 観覧又は撮影等をしようとする者の責めによらない理由により、観覧又は撮影等ができなくなった場合
当該観覧料等の全額

(2) その他教育委員会が特別の理由があると認めた場合
教育委員会が認める額

2 前項に規定する観覧料等の返還を受けようとする者は、郡山市立美術館観覧料等返還請求書(第4号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

【観覧料等の免除】

第5条 条例第8条に規定する観覧料等の免除は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

(1) 市(市の機関を含む。)が主催する事業の活動として常設展を観覧する場合常設展観覧料を全部免除

(2) その他教育委員会が観覧料等を免除することが適当と認める場合教育委員会が認める額

2 前項の規定により観覧料等の免除を受けようとする者は、あらかじめ郡山市立美術館観覧料等免除申請書(第5号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

3 教育委員会は、前項の規定による申請に基づき観覧料等の免除を決定したときは、郡山市立美術館観覧料等免除決定通知書(第6号様式)を申請人に交付する。

【開館時間】

第6条 郡山市立美術館(以下「美術館」という。)の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、入館は午後4時30分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めたときは、これを変更することができる。

【休館日】

第7条 美術館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日当たるときは、その翌日とする。)

(2) 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで

【遵守事項】

第8条 美術館の入館者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 施設、設備、美術品等をき損若しくは汚損し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。

(2) 所定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。

(3) 他人に危害又は迷惑をおよぼすおそれのある物品又は動物を持ち込まないこと。

(4) 風紀及び秩序を乱さないこと。

(5) その他職員の指示に従うこと。

【委任】

第9条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、平成4年11月21日から施行する。

附 則(平成6年教委規則第3号)

(施行期日)

1 この規則は、平成6年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の際、現に様式の規定に基づいて作成されている用紙は、この規則の規定にかかわらず、当分の間、使用することができる。

附 則(平成15年教委規則第4号)

1 この規則は、平成15年4月1日から施行する。

2 この規則の施行の際現に改正前の様式の規定により作成されている用紙は、改正後の規則の様式の規定にかかわらず、当分の間、所要の調整をして使用することができる。

郡山市立美術館協議会規則

【趣旨】

第1条 この規則は、郡山市立美術館協議会(以下「協議会」という。)の会議運営について必要な事項を定めるものとする。

【招集】

第2条 協議会は、郡山市立美術館長(以下「館長」という。)が招集する。

2 会議開催の場所及び日時は、付議すべき事項とともに、あらかじめ委員に通知しなければならない。

【定例会及び臨時会】

第3条 協議会は、定例会及び臨時会とする。

2 定例会は年2回とし、臨時会は必要があるときに招集する。

【会長及び副会長】

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長及び副会長の任期は、2年とする。ただし、再選を妨げない。

【職務】

第5条 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は

会長が欠けたときは、その職務を代理する。

【会議】

第6条 協議会は、委員の過半数で成立する。

2 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長が決する。

【庶務】

第7条 協議会の庶務は、郡山市立美術館において処理する。

【委任】

第8条 この規則に定めるもののほか、協議会の会議に必要な事項は、会長が定める。

附 則

この規則は、平成4年7月1日から施行する。

郡山市美術品収集評価選定委員会設置要綱

【設置】

第1条 郡山市が収集する美術品を選定するにあたり、その適正な評価等を行うため、郡山市美術品収集評価選定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

【組織】

第2条 委員会は、委員8名以内で組織し、委員は、美術に関する専門的知識を有する者のうちから、教育長が委嘱する。

2 委員の任期は、2年とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

【委員長及び副委員長】

第3条 委員会に委員長及び副委員長1名を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は、委員長が欠けたときはその職務を代理する。

【会議】

第4条 委員会の会議は、教育長が招集し、委員長が会議の議長となる。

2 会議は次の事項について審議する。

(1)美術品の選定評価に関すること。

(2)美術品の寄託又は、寄贈に関すること。

(3)美術品選定のための資料の収集その他専門的な事項に関すること。

【庶務】

第5条 委員会の庶務は、郡山市立美術館において処理する。

【委任】

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この要綱は、昭和63年6月8日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

2) 名簿(平成26年度)

郡山市立美術館協議会

◎会長 ○副会長
(任期:平成24年6月1日～平成26年5月31日)

本名 恵子	郡山市立小泉小学校長
柳沼 正志	郡山市立小原田中学校長
阿部 正春	福島県立あさか開成高等学校長
片桐 栄子	郡山市社会教育委員
折笠 光助	郡山市文化団体連絡協議会副理事
○渋谷 洋吾	福島県南美術協会会長
◎中村 亜都子	学校法人尚志学園高等学校講師
伊藤 匡	福島県立美術館学芸課長
酒井 則江	一般公募
成田 敦子	一般公募
(任期:平成26年6月1日～平成28年5月31日)	
齋藤 和代	郡山市立御代田小学校長
佐藤 俊彦	郡山市立熱海中学校長
○刈屋 俊樹	福島県立あさか開成高等学校長
馬場 典枝	FMいわきパーソナリティ
宗像 利訓	本郷焼・宗像窯九代目
◎中村 亜都子	学校法人尚志学園高等学校講師
伊藤 匡	福島県立美術館学芸課長
瀬谷 賢次	福島交通郡山支社長
橋本 彰一	一般公募
三輪 万里子	一般公募

郡山市美術品収集評価選定委員会

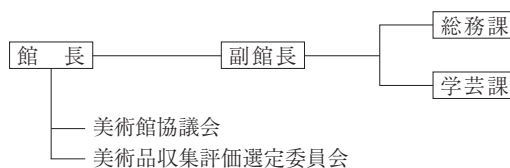
◎会長 ○副会長
(任期:平成25年7月1日～平成27年6月30日)

◎金子 賢治	茨城県陶芸美術館長
○佐々木吉晴	いわき市立美術館長
西村 勇晴	北九州市立美術館長
齋藤美保子	郡山女子大学短期大学部教授
古田 亮	東京芸術大学大学美術館准教授
早川 博明	福島県立美術館長
猿渡紀代子	横浜美術館特任学芸員

郡山市立美術館職員

館長	佐治ゆかり
主幹兼副館長	佐藤 秀彦
主幹兼総務課長	斎藤 勝男
総務課主査	内島久美子
総務課主任用務員	柳沼 浩一
学芸課長	鈴木 誠一
学芸課主任主査	菅野 洋人
学芸課主任主査	中山 恵理
学芸課主任学芸員	杉原 聡
学芸課主任学芸員	永山多貴子
学芸課主査	富岡 進一
学芸員	田中有沙子
学芸員	新田 量子

■組織図



3) 建築設備概要・平面図・面積表

■敷地面積	38,420.24 m ²
[建築概要]	
■建築面積	4,322 m ²
■建築床面積	6,848 m ²
■駐車場面積	3,300 m ² 収容台数 乗用車 126 台 バス 10 台
■構造及び規模	鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造 地上2階地下1階
■仕上	
外壁	杉小幅板本実化粧型枠ホワイトコンクリート打放し
屋根	ステンレス鋼板フッ素樹脂加工
サッシ	アルミ電解二次着色
展示室壁	カーテンウォール爪かけバックマリオン方式ペアガラス(二面サンドブラスト加工)
展示室床	不燃クロス貼ペンキ拭取仕上げ 襷 フローリング(ホワイトオーク)
■設計	(株)TAK 建築・都市計画研究所
■設計協力	
基本計画・ガラスデザイン	川上喜三郎
木製家具デザイン	(株)方圓館 坂本和正
サインデザイン	永原浄デザイン研究所 永原浄
造園	(株)和泉屋・石のアトリエ 和泉正敏
■施工	
主体工事	大林・東洋特定建設工事共同企業体
電気工事	(株)ユアテック郡山営業所
空調和建設工事	高砂・菱和特定建設工事共同企業体
情報防火設備工事	(株)ニノテック
給排水設備工事	東北設備工業(株)
昇降機設置工事	フジテック(株)仙台営業所
■工期	着工：1990(平成2)年12月18日 竣工：1992(平成4)年6月30日
■建築費	40 億円
[設備概要]	
■電気設備	
受電	3相3線、6KV、50Hz
変圧器	電灯：単相3線、210/15V、100KVA×3 動力：3相3線、210V、500KVA×2、300KVA×2
蓄電池	シール形鉛蓄電池 100AH/10HR
非常用発電機	ディーゼルエンジン 228PS、出力 3相 200V、180KVA
照明設備	白熱灯、高輝度放電灯、蛍光灯、紫外線防止型蛍光灯(演色 AAA 電球色、色温度 3000K)
■情報防災設備	
防災設備	自動火災報知機、防排煙、非常放送、誘導灯
防犯設備	ITV 監視装置(監視カメラ、14型カラーモニター・四分型)
その他	視聴覚設備、放送設備、中央監視設備

■空気調和設備

熱源設備

空冷ヒートポンプチラー(圧縮機 90KW)2台
暖房能力：220,000Kcal/h、冷房能力：283,700Kcal/h
水冷チラー(圧縮機 45KW)
暖房能力：185,000Kcal/h、冷房能力：141,000Kcal/h

空調設備

4管式恒温恒湿制御方式(収蔵庫系統)、4管式再熱制御方式(展示室系統)
VAV方式(普及部門諸室系統)
外調機+ファンコイルユニット方式(事務管理諸室系統)
空調機+ファンコイルユニット方式(エントランスホール・ロビー系統)

その他

自動制御設備、換気設備、機械排煙設備

■給排水設備

給水設備

圧力給水方式 受水槽 10 m³、副受水槽 1.5 m³

給湯設備

電気温水器(貯湯量 224ℓ、10KW)電気湯沸器(貯湯量 40ℓ、4KW)

消火設備

屋内消火栓、連結散水設備、ハロンガス消化設備(収蔵庫)

■くん蒸設備

常圧・減圧兼用式 4.0 m³、ミニガスベンベ脱着方式

■昇降機設備

乗用

750Kg、11人乗り(車椅子対応)

荷物用

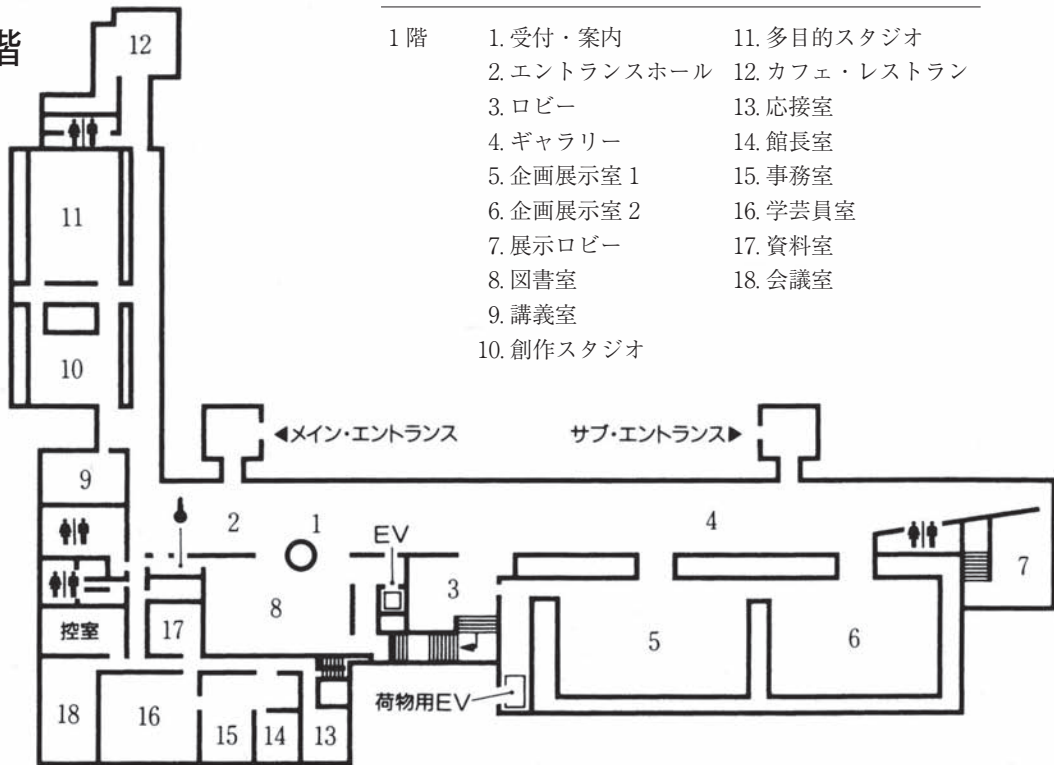
3,000 Kg、油圧加速制御

テーブルリフター

2,000 Kg

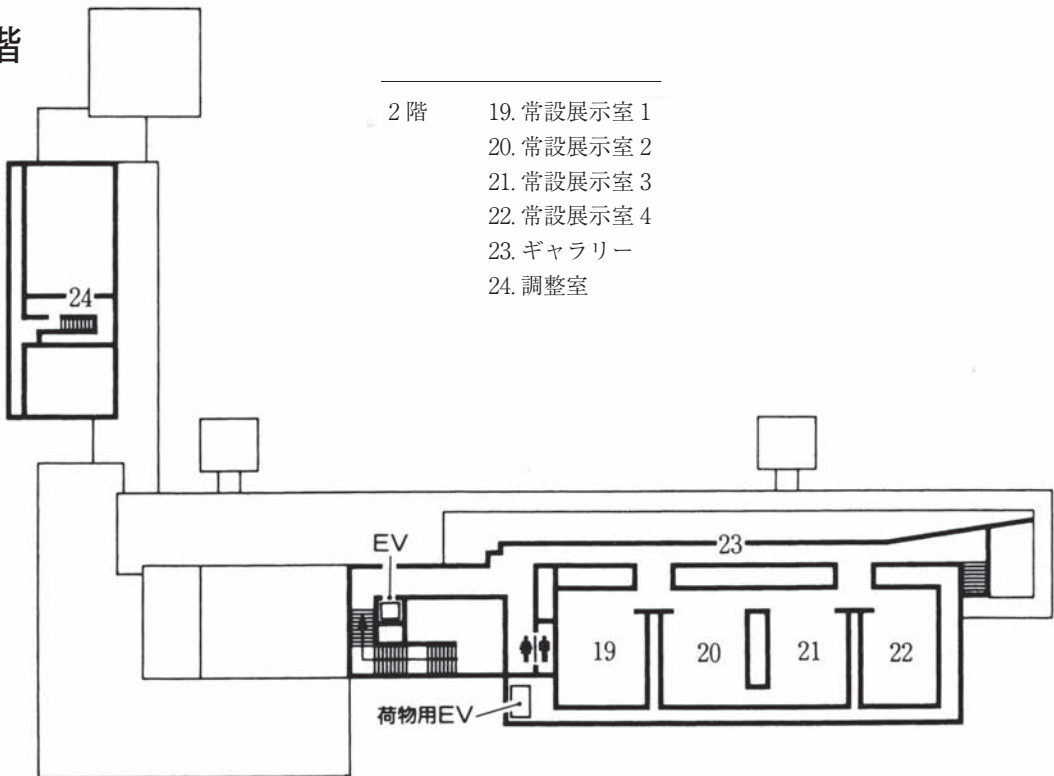
■平面図・面積表

1階



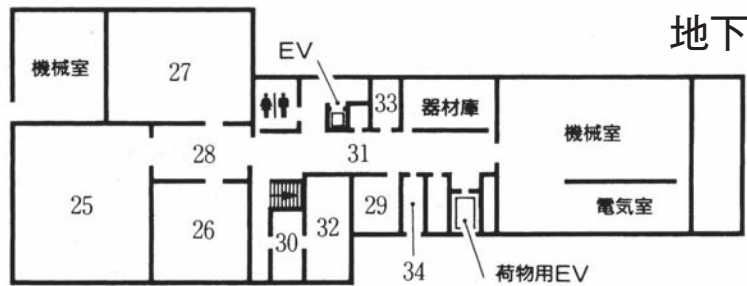
- | | | |
|----|--------------|---------------|
| 1階 | 1. 受付・案内 | 11. 多目的スタジオ |
| | 2. エントランスホール | 12. カフェ・レストラン |
| | 3. ロビー | 13. 応接室 |
| | 4. ギャラリー | 14. 館長室 |
| | 5. 企画展示室 1 | 15. 事務室 |
| | 6. 企画展示室 2 | 16. 学芸員室 |
| | 7. 展示ロビー | 17. 資料室 |
| | 8. 図書室 | 18. 会議室 |
| | 9. 講義室 | |
| | 10. 創作スタジオ | |

2階



- | | |
|----|-------------|
| 2階 | 19. 常設展示室 1 |
| | 20. 常設展示室 2 |
| | 21. 常設展示室 3 |
| | 22. 常設展示室 4 |
| | 23. ギャラリー |
| | 24. 調整室 |

- 地下
- 25. 収蔵庫 1
 - 26. 収蔵庫 2
 - 27. 収蔵庫 3
 - 28. 収蔵庫前室
 - 29. 修復室
 - 30. 中央監視室
 - 31. 荷解場
 - 32. トラックヤード
 - 33. くん蒸室
 - 34. 清掃員室



部門名	面積	階	室名	面積
展示部門	2,330.38 m ²	2	常設展示室 1~4	932.51 m ²
		1	企画展示室 1~2、展示ロビー	1,333.24 m ²
		B1・1	器材庫、エレベーター前室	64.63 m ²
収蔵部門	1,040.28 m ²	B1	収蔵庫 1~3	618.35 m ²
		B1	収蔵庫前室	61.48 m ²
		B1	器材庫	69.25 m ²
		B1	荷解場	238.71 m ²
		B1	くん蒸室	19.10 m ²
		B1	修復室	33.39 m ²
教育普及部門	570.34 m ²	1	多目的スタジオ	196.42 m ²
		1	創作スタジオ	122.40 m ²
		1	講義室	56.87 m ²
		1	図書室（ビデオコーナーを含む）	194.65 m ²
研究研修部門	117.45 m ²	1	学芸員室	117.45 m ²
管理部門	852.19 m ²	B1	中央監視室	24.22 m ²
		B1	機械室	520.43 m ²
		1	事務室	79.85 m ²
		1	館長室	32.48 m ²
		1	会議室	73.92 m ²
		1	応接室	38.10 m ²
		B1・1	控室	54.52 m ²
		1	資料室	28.67 m ²
サービス部門	702.62 m ²	1	エントランスホール	222.77 m ²
		1	ギャラリー	344.72 m ²
		1	ロッカールーム	16.69 m ²
		1	カフェ・レストラン	118.44 m ²
その他	1,235.11 m ²	B1・1・2	廊下、階段、便所、その他	1,235.11 m ²
計	6,848.37 m ²			6,848.37 m ²

4) 利用案内

■所在地

〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地 130-2
 Tel : 024-956-2200 Fax : 024-956-2350
 E-mail : bijutsukan@city.koriyama.fukushima.jp
 ホームページ
<http://www.city.koriyama.fukushima.jp/bijutsukan/>

■開館時間

午前9時30分～午後5時
 (入館は午後4時30分まで)

■休館日

毎週月曜日(祝日又は振替休日の場合は開館し、翌平日休館)
 年末年始(12月28日～1月4日)

■交通案内

- 郡山駅から美術館まで約4Km
- 乗用車 駐車場(約130台収容・料金は無料)
- バス
 郡山駅前5番のりばから『美術館経由東部ニュータウン』行きに乗車。(所要時間10分)

■観覧料

	常設展		企画展	
	個人	団体 (20名以上)	個人	団体 (20名以上)
一般	200円	150円	規模・内容等に応じて、 その都度定めた額	
高大生	100円	70円		
65歳以上	無料			
中学生以下				
障害者手帳をお持ちの方	無料(手帳を提示)			

